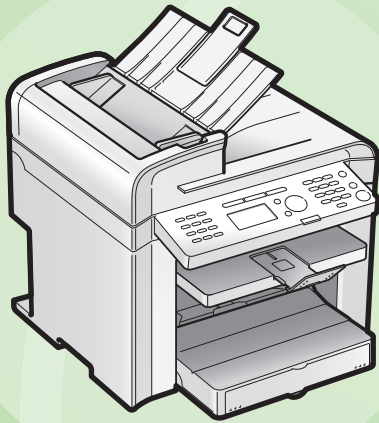
Canon

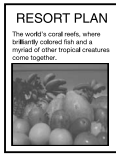
Satera
MF4580dn / MF4570dn / MF4550d / MF4450 /
MF4430 / MF4420n / MF4410

基本操作ガイド

- ネットワークの設定方法
  （MF4580dn/MF4570dn/MF4420nのみ）
- セキュリティー機能
- もっと詳しく調べたい

➔ e-マニュアルをご覧ください。
User Software CD-ROM

- 設置や接続方法が知りたい

➔ スタートアップガイドをご覧ください。

➔ ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

さまざまなコピー機能が本書の以降のページやe-マニュアルをお読みになることで利用できます。コピーを拡大／縮小したり、一枚の用紙に複数の原稿をコピーすることができます。さらに、コピーする前に濃度や画質を調整することができます。
以下は、日常的に利用することのできる、おもなコピー機能の概略です。

原稿に応じて画質を調整する

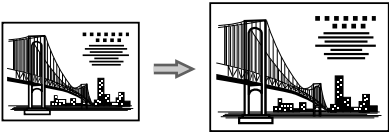
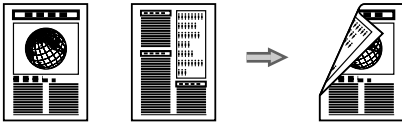
詳細は▶（P.3-1〜）「コピーする」

●画質調整

原稿の種類に応じて、画質を調整できます。
適切な種類を選択することで、原稿の再現性が向上します。

＜文字/写真＞　＜写真＞　＜文字＞

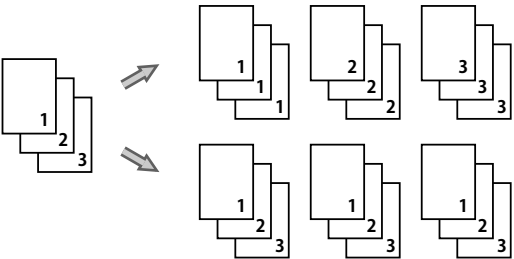
●シャープネス

原稿の画像のエッジをくっきりさせる、またはコントラストを弱めることができます。

●濃度調整

原稿に応じて、コピーの濃度を調整できます。

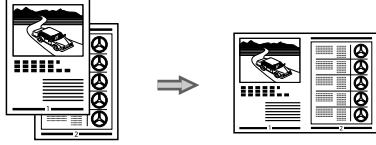
＜薄く＞　＜濃く＞

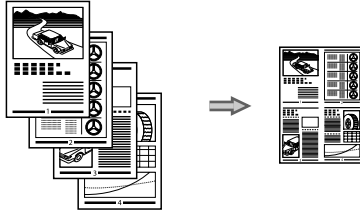
さまざまなコピー機能

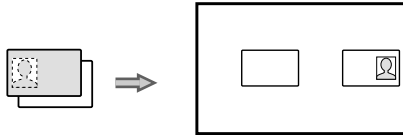
詳細は▶（P.3-1〜）「コピーする」

●拡大／縮小コピー

定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に自動的に拡大／縮小したり、％で倍率を指定することができます。

●両面コピー（MF4580dn/MF4570dn/MF4550dのみ）

原稿を両面の用紙にコピーできます。

●ソート

コピーされた用紙を排紙するとき、ページ順に一部ずつ排出できます。

●縮小レイアウト

複数枚の原稿を縮小し、1枚の用紙におさめてコピーできます。

2 in 1

4 in 1

●IDカードコピー

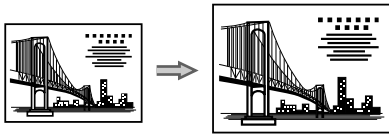
カードの両面を用紙の片面にコピーできます。

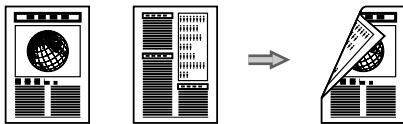
さまざまなプリント機能が本書の以降のページやe-マニュアルをお読みになることで利用できます。原稿を拡大／縮小したり、一枚の用紙に複数ページのデータをプリントすることができます。MF4580dn/MF4570dn/MF4550dをご使用の場合は、両面プリントすることもできます。
以下は、日常的に利用することのできる、おもなプリント機能の概略です。

● さまざまなプリント機能

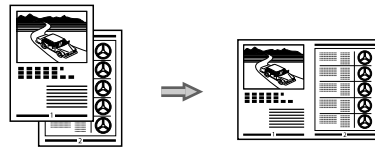
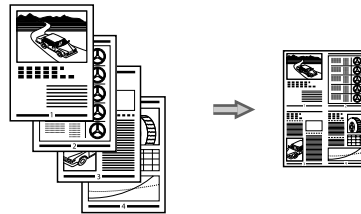
・・・・・・・・詳細は▶（P.4-1〜）「コンピューターからプリントする」

●拡大／縮小プリント

定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に自動的に拡大／縮小したり、%で倍率を指定することができます。

●両面プリント（MF4580dn/MF4570dn/MF4550dのみ）

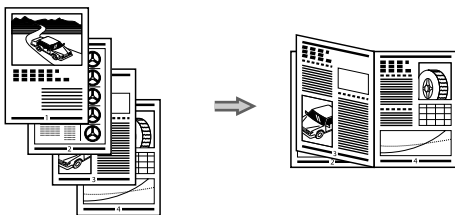
用紙の両面にプリントできます。

●縮小レイアウト

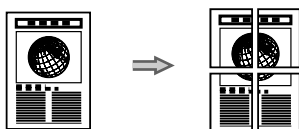
複数枚の原稿を縮小し、1枚の用紙におさめてプリントできます。

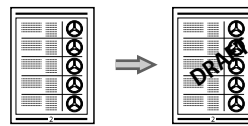
2 in 1

4 in 1

● その他のプリント機能

・・・・・・・・・ 詳細は▶ （e-マニュアル）「プリントする」

●製本印刷（MF4580dn/MF4570dn/MF4550dのみ）

製本印刷を行うと、プリントした用紙を2つ折りにするだけで、本のようにすることができます。

●ポスター印刷

1ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙に分割してプリントします。このプリントした複数枚の用紙を貼り合わせると、ポスターのような大きなプリントを作成することができます。

●スタンプ印刷

アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（［COPY］や［DRAFT］などの透かし文字）を重ね合わせてプリントします。

●プリント前にプレビューを表示する

プリント結果の確認をコンピューターの画面上で行うことができます。

●「お気に入り」を選択する

プリンタードライバーの設定が「お気に入り」としてあらかじめ用意されています。
「お気に入り」を選択するだけで、目的にあったプリントができます。

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450は、ファクス機能を搭載しています。
さまざまなファクス機能が本書の以降のページやe-マニュアルをお読みになることで利用できます。本機は通信速度が高速な、スーパーG3ファクスに対応しております。また、コンピューターから直接原稿を送信することのできるPCファクス機能も搭載しており、用紙コストを抑えることができます。
以下は、日常的に利用することのできる、おもなファクス機能の概略です。

● コンピューターから直接送信する（PCファクス）

詳細は▶ （e-マニュアル）「ファクスを使う」

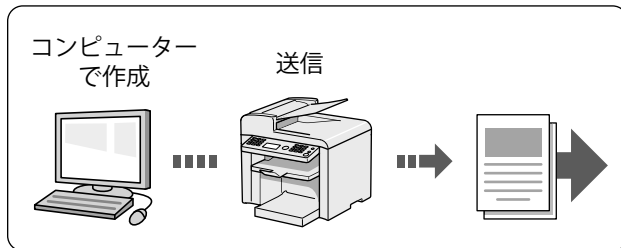
ネットワーク上のコンピューターから、アプリケーションで作成した文書や画像をファクスドライバーを使用して直接ファクス送信できます。送信原稿を紙にプリントする必要がないため、用紙のコストを削減するとともに汚れやかすれが少ない鮮明な送信が可能です。

※コンピューターにファクスドライバーをインストールする必要があります。

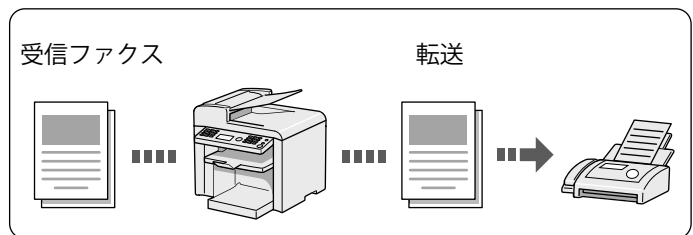
※ Macintoshをお使いの方は、以下を参照してください。
- ・ファクスドライバーのインストール
  →スタートアップガイドまたはファクスドライバーガイド
- ・各機能の使用方法
  →ファクスドライバーのヘルプ

ファクスドライバーガイドやファクスドライバーのヘルプの表示方法については、「Macintoshをお使いのお客様へ」（→P.11-4）を参照してください。

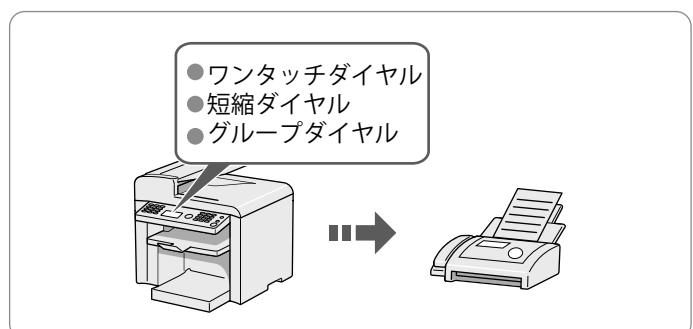
ファクスドライバーでは、アドレス帳を読み込むことができるため、手軽に、間違うことなく相手に送信することができます。
また、ファクスを送付するときの表紙（カバーシート）を作成することも可能です。

▲ファクスドライバー画面

● 受信したファクスを転送する（手動転送）

詳細は ▶（P.6-1～）「ファクス機能を使う」

メモリーに保存されている文書を、宛先を指定して転送することができます。

● アドレス帳に宛先を登録する

詳細は ▶（P.5-1～）「アドレス帳に宛先を登録する」

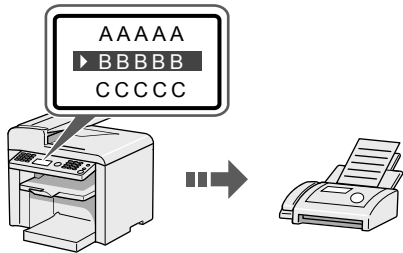
ファクスの送信先（宛先）をあらかじめ登録しておくことで、原稿送信時に宛先を入力する手間を省くことができます。

さまざまな送受信機能

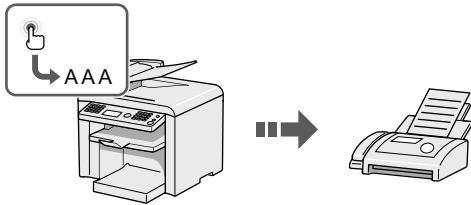
詳細は▶（P.6-1〜）「ファクス機能を使う」

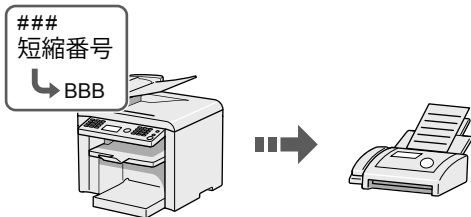
さまざまな送信機能

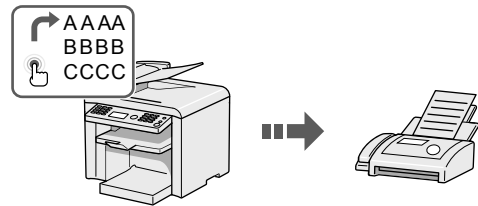
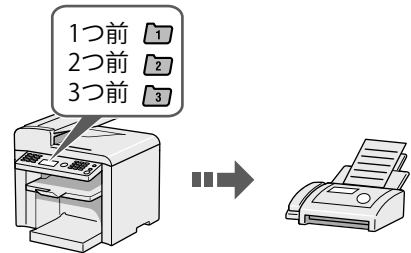
さまざまな宛先の指定方法

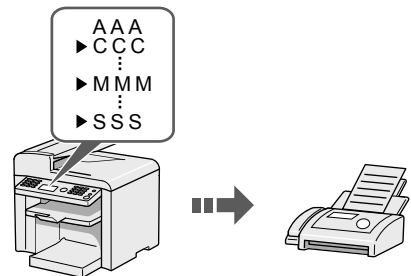
ファクスの送信先を登録しておくことができるアドレス帳。その宛先をさまざまな方法で指定することにより、手早くかんたんに送信することができます。

●宛先検索

●ワンタッチダイヤル

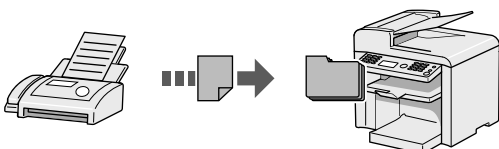
ワンタッチダイヤルに送信先を登録しておくことで、宛先をワンタッチで指定することができます。
ワンタッチダイヤルには4件の宛先を登録できます。

●短縮ダイヤル

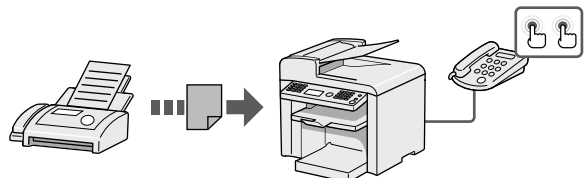
短縮ダイヤルには100件までの宛先が登録できるため、ワンタッチダイヤルに登録しきれない送信先を登録しておくことができます。
短縮番号を忘れてしまった場合でも、アドレス帳を絞り込み検索して指定できます。

●グループ宛先

複数の宛先を1つにまとめてグループ宛先として登録することができます。
最大50件を1つにまとめることができます。

●送信履歴から指定

●同報送信

1度のスキャンで複数の宛先に同じ原稿を送信できます。

さまざまな受信機能

●メモリー受信

受信した文書は通常すぐにプリントされますが、プリントしないでいったんメモリーに保存しておくことができます。
保存した文書はいつでも好きなときにプリントしたり、不要な場合は消去して使用する用紙を節約することができます。

●リモート受信

外付けの電話機を接続している場合、通話中に電話機のダイヤルボタンでファクス受信用のID　番号をダイヤルすると、その場でファクス受信動作に切り替えることができます。

さまざまなスキャン機能が本書の以降のページやe-マニュアルをお読みになることで利用できます。スキャンした原稿をお使いのコンピューターに簡単に保存することができます。
以下は、日常的に利用することのできる、おもなスキャン機能の概略です。

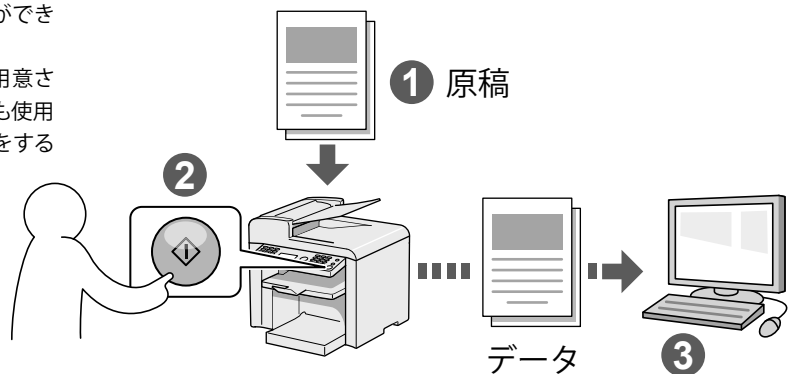
● コンピューターに保存する

読み込んだ原稿をコンピューターに保存する方法は、2種類あります。

本製品の操作パネルを使って保存する

詳細は ▶ (P.7-1〜)「スキャン機能を使う」

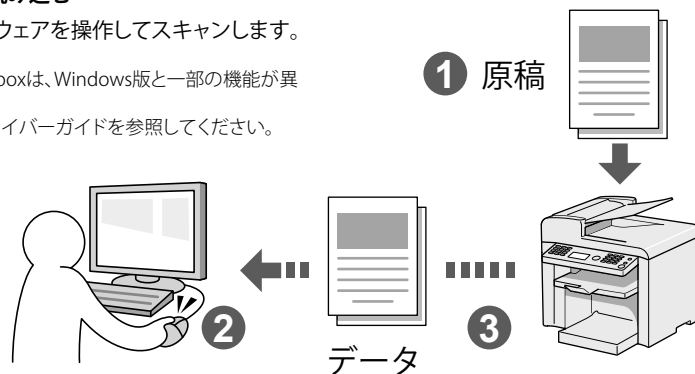
本製品のパネル操作のみで、読み込んだ原稿を、かんたんにコンピューターに保存することができます。
あらかじめ用途に応じた読み込み設定が用意されており、文字検索やテキストデータとしても使用可能な「サーチャブルPDF*」を特別な設定をすることなく作成することもできます。

* Macintoshをお使いの場合、「サーチャブルPDF」は作成できません。

コンピューターからの操作で保存する

詳細は ▶ (e-マニュアル)「スキャンする」

●MF Toolbox*を使って読み込む

本製品に付属のソフトウェアを操作してスキャンします。

* Macintosh版のMF Toolboxは、Windows版と一部の機能が異なります。
  詳しくは、スキャナードライバーガイドを参照してください。

●アプリケーションから読み込む

お使いのアプリケーションからスキャンします。
スキャンしたデータをアプリケーションにそのまま取り込むことができます。

●WIAドライバーで読み込む（Windows XP/Vista/7のみ）

Windows OS標準のドライバーシステムを使ってスキャンします。
さまざまなスキャン方法があります。

- ・［スキャナとカメラ］画面から読み込む
- ・［Windows FAXとスキャン］画面から読み込む
- ・Windowsフォトギャラリーから読み込む
- ・アプリケーションから読み込む

MF4580dn/MF4570dn/MF4420nは、ネットワーク機能を搭載しています。
さまざまなネットワーク設定がe-マニュアルをお読みになることで利用できます。本機にはネットワークボードが内蔵されており、コンピューターからネットワーク経由でプリント、ファクス、スキャンを行うことができます。また、リモートUIを使用して本機を設定することで効率的な管理を行うこともできます。以下は、日常的に利用することのできる、おもなネットワーク設定の概略です。

● さまざまなネットワーク設定

詳細は▶ (e-マニュアル)「ネットワーク設定」

基本的なネットワーク設定

- IPアドレス(IPv4)の設定
  - IPアドレス
  - サブネットマスク
  - ゲートウェイアドレス

▼ 必要に応じて

- IPアドレス(IPv6)の設定

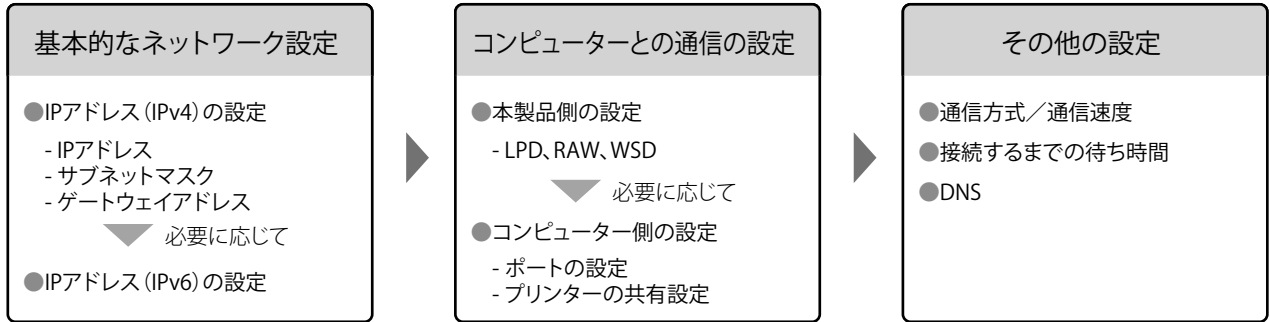
コンピューターとの通信の設定

- 本製品側の設定
  - LPD、RAW、WSD

▼ 必要に応じて

- コンピューター側の設定
  - ポートの設定
  - プリンターの共有設定

その他の設定

- 通信方式／通信速度
- 接続するまでの待ち時間
- DNS

● セキュリティー設定

詳細は▶ (e-マニュアル)「セキュリティー」

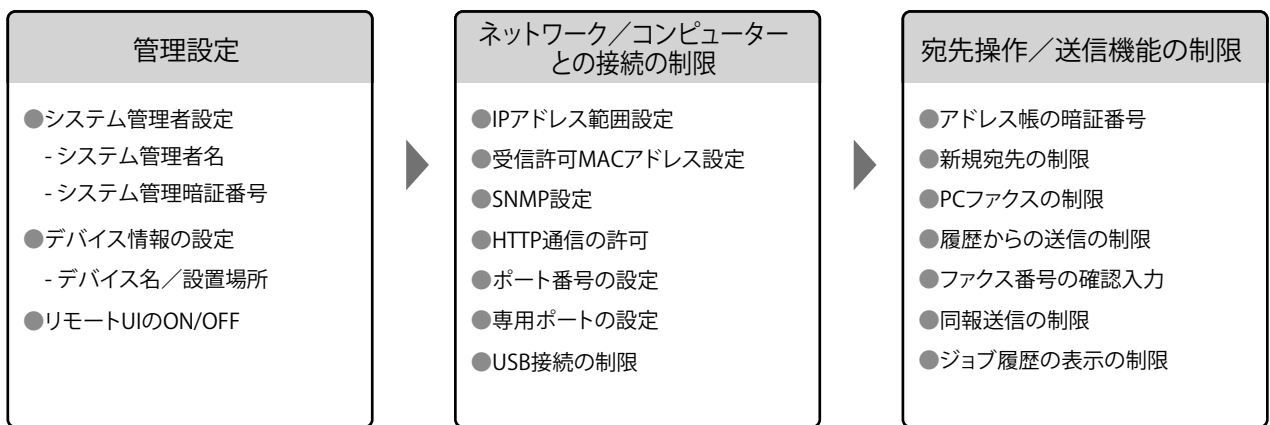
管理設定

- システム管理者設定
  - システム管理者名
  - システム管理暗証番号
- デバイス情報の設定
  - デバイス名／設置場所
- リモートUIのON/OFF

ネットワーク／コンピューターとの接続の制限

- IPアドレス範囲設定
- 受信許可MACアドレス設定
- SNMP設定
- HTTP通信の許可
- ポート番号の設定
- 専用ポートの設定
- USB接続の制限

宛先操作／送信機能の制限

- アドレス帳の暗証番号
- 新規宛先の制限
- PCファクスの制限
- 履歴からの送信の制限
- ファクス番号の確認入力
- 同報送信の制限
- ジョブ履歴の表示の制限

● リモートUIで設定する

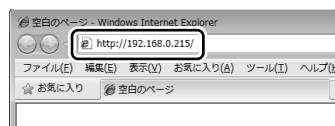
詳細は▶ (e-マニュアル)「コンピューターからの設定や管理」

リモートUIでできること

- 本製品の状態と情報の確認
- ジョブの管理
- システム管理の設定
- アドレス帳の管理
  (MF4580dn/MF4570dnのみ)
- デバイスの仕様設定

リモートUIの起動方法

詳細は、☞ e-マニュアル→「リモートUIを起動する」

1. Webブラウザーを起動します。
2. アドレス入力欄に「http://<本製品のIPアドレス>/」を入力して、キーボードの[ENTER]キーを押します。

3. リモートUIにログオンします。
   (1) [管理者モード]または[一般ユーザーモード]を選択します。
   (2) [管理者モード]の場合は、[システム管理暗証番号]を入力します。
   [一般ユーザーモード]の場合は、[ユーザー名]を入力します。
   (3) [OK]をクリックします。

目次

5. アドレス帳に宛先を登録する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ） 5-1

6. ファクス機能を使う（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ） 6-1

7. スキャン機能を使う 7-1

8. 日常のメンテナンス 8-1

9. 困ったときには 9-1

10. 各種機能を登録／設定する 10-1

11. 付録 11-1

取扱説明書の分冊構成について

最初にお読みください。

本製品の設定およびソフトウェアのインストールについて説明しています。ご使用前に必ず本書をお読みください。

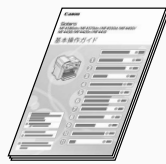
スタートアップガイド

- はじめに
- 設置する
- ファクスの設定と接続をする *
- コンピューターと接続し、ソフトウェアをインストールする
- 付録

* MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ利用できます。

次にお読みください。

本製品の基本的な操作について説明しています。

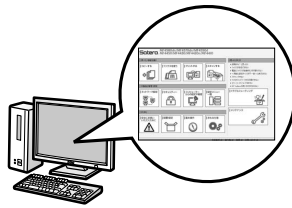
基本操作ガイド　本書

- お使いになる前に
- 原稿と用紙の取り扱い
- コピーする
- コンピューターからプリントする
- アドレス帳に宛先を登録する *
- ファクス機能を使う *
- スキャン機能を使う
- 日常のメンテナンス
- 困ったときには
- 各種機能を登録／設定する
- 付録

* MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ利用できます。

目的にあわせて必要な章をお読みください。

e- マニュアルは、目的別にカテゴリーが分かれており、必要な情報が探しやすくなっています。

e- マニュアル

* User Software CD-ROM に収められています。

- 基本操作
- コピーする
- ファクスを使う *1*3
- プリントする *3
- スキャンする *3
- ネットワーク設定 *2
- セキュリティー
- コンピューターからの設定や管理 *2
- トラブルシューティング
- メンテナンス
- 設定メニュー一覧
- おもな仕様

*1 MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ利用できます。
*2 MF4580dn/MF4570dn/MF4420n のみ利用できます。
*3 Macintosh をお使いの場合、これらの機能の詳細については、ドライバーガイドやヘルプを参照してください。
ドライバーガイドは、User Software CD-ROM の以下の場所に収められています。
ファクス：User Software CD-ROM →［Manuals］→［GUIDE-FAX_JP.pdf］
プリント：User Software CD-ROM →［Manuals］→［GUIDE-CARPS2-JP.pdf］
スキャン：User Software CD-ROM →［Manuals］→［GUIDE-SCAN-JP.pdf］

お使いになれる機能

お使いになれる機能を製品別に紹介します。
○：使用できる機能　　―：使用できない機能

	コピー	プリント	両面プリント	ファクス (PC ファクス)	スキャン（USB）	スキャン（ネットワーク）*	リモート UI	片面 ADF	両面 ADF
MF4580dn	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MF4570dn	○	○	○	○	○	○	○	○	―
MF4550d	○	○	○	○	○	―	―	○	―
MF4450	○	○	―	○	○	―	―	○	―
MF4430	○	○	―	―	○	―	―	○	―
MF4420n	○	○	―	―	○	○	○	―	―
MF4410	○	○	―	―	○	―	―	―	―

* ネットワークスキャン機能は、Windows のみ使用できます。

本書の読みかた

マークについて

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

キーについて

本マニュアルでは、操作するキー、ディスプレーに表示されるメッセージ、コンピューター画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- 操作パネル上のキー：[キーアイコン] ＋（キー名称）

  例：[ ] （ストップ）
- ディスプレー：<宛先を指定してください>
- コンピューター画面上のボタンおよび選択項目：[詳細設定]

略称について

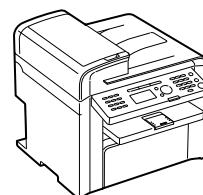
本マニュアルでは、郵便事業株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

イラストについて

本マニュアルで使われているイラスト

特にお断りがない限り、MF4570dn のものです。製品間に違いがあるときは、「MF4580dn の場合」のように明示しています。

各製品に搭載されている機能については、以下を参照してください。

「お使いになれる機能」（→ P.x）

本マニュアルで使われている画面

MF4570dn のもので、製品購入時の画面内容を掲載しています。お使いになる製品によっては掲載している画面内容と一部異なる場合があります。

安全にお使いいただくために

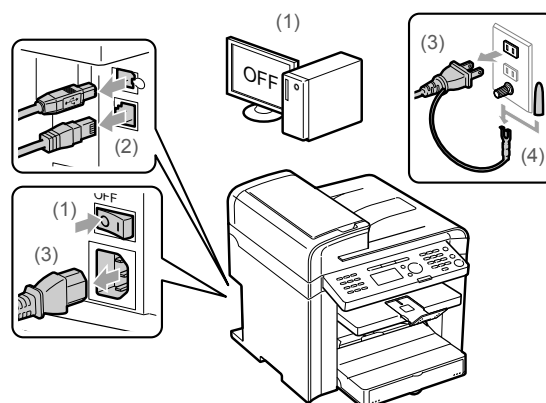
本製品をお使いになる前に、「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
ここに書かれている警告や注意、重要事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。
また、取扱説明書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- **アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。**
- **製品の上に次のような物を置かないでください。**
  - アクセサリーなどの金属物
  - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

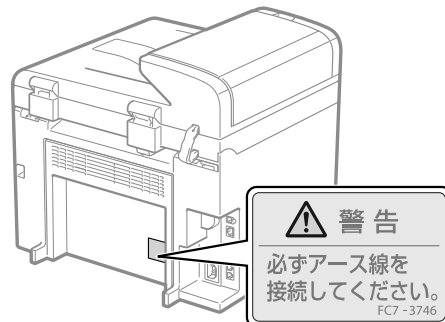
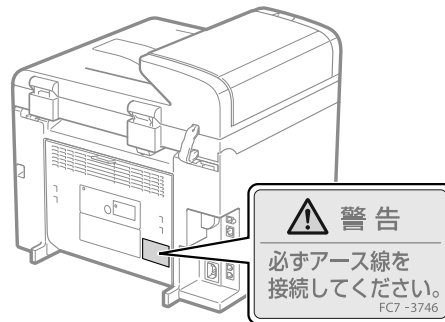
製品内部に入った場合は、直ちに本製品とコンピューターの電源をオフにし（1）、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください（2）。そのあと、電源プラグを抜いて（3）、アース線を取り外し（4）、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - 雨や雪が降りかかるような場所
  - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インターフェイスケーブルを接続する場合は、取扱説明書の指示にしたがって正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、取扱説明書の指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

「本製品を移動するとき」(→ P.8-15)

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強くかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のような取り扱いは避けてください。
  - 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
  - 電源コードに足を引っ掛ける
  - 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
  - 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]
  - 電源コンセントのアース線端子
  - 接地工事(D 種)が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  - 水道管・・・配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  - ガス管・・・ガス爆発や火災の原因になります。
  - 電話線のアースや避雷針・・・落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

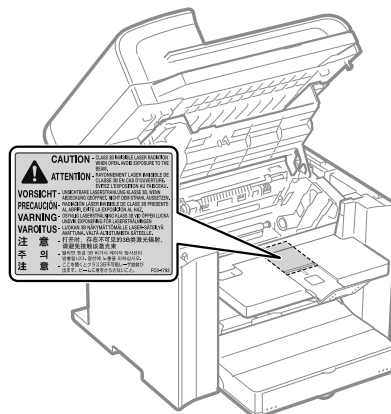
取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに本製品とコンピューターの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず本製品とコンピューターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させたあとは、電源プラグや電源コネクタが奥までしっかり差し込まれているか確認してください。緩んだ状態で使用すると発熱し、火災の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに本製品とコンピューターの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態でUSB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態でUSB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- カバーやカセットなどの開閉を行うときは、ゆっくりと慎重に行ってください。指などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーには衣服や手などを近づけないでください。プリント中でなくてもローラーが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 製品の使用中や使用直後は、排紙口が高温になります。排紙口周辺に触れないように気を付けてください。やけどの原因になることがあります。
- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続プリントした場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- 原稿台ガラスに辞書などの重いものを落とさないように十分注意してください。原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。
- フィーダーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナーユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - 取扱説明書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - レーザースキャナーユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  - 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。
- 取扱説明書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。

- この製品はIEC60825-1:2007においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。

保守／点検について

警告

- 清掃のときは、本製品とコンピューターの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリ、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったホコリが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 清掃のあとは、電源プラグや電源コネクタが奥までしっかり差し込まれているか確認してください。緩んだ状態で使用すると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コード・電源プラグを定期的に点検してください。以下の状態がある場合は、火災の原因になりますので、お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにご連絡ください。
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの被覆に傷、亀裂、へこみがある
  - 電源コードの一部が熱くなる
- 電源コード、電源プラグが以下のように取り扱われていないか、定期的に点検してください。火災や感電の原因になります。
  - 電源コネクタが緩んでいる
  - 電源コードが重い物の下敷きになっていたりステイプルで固定されるなど、ストレスを与えられている
  - 電源プラグが緩んでいる
  - 電源コードが束ねられている
  - 電源コードが通路にはみ出している
  - 電源コードが暖房器具の前にある

注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理など内部を点検するとき、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。
- 紙づまり時には、画面に表示されているメッセージにしたがって、つまっている用紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所には無理に手を入れないでください。けがややけどの原因になることがあります。
- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- 用紙を補給するとき、原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- トナーカートリッジを取り出すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジを廃棄する場合は、トナーカートリッジを袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示にしたがって処理してください。

注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

その他

警告

- 心臓ペースメーカーをご使用の方へ
  本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

設置条件と取り扱いについて

本製品を安全かつ快適にご使用いただくために、次の条件を満たした場所に設置してください。また、注意事項についてもよくお読みください。

温度／湿度条件

- 温度範囲：10 ～ 30 ℃
- 湿度範囲：20 ～ 80 %RH（相対湿度・結露しないこと）

重要

本製品の結露の防止

- 次のようなときは 2 時間以上放置して、周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。
  - 部屋を急に暖めた
  - 温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた
- 本製品内部に水滴（結露）が生じると、紙づまりや印字不良の原因になることがあります。

超音波加湿器を使用するとき

超音波加湿器をご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。
水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、製品の内部に付着して画像不良の原因になります。

電源条件

- AC 100 V ± 10 %、15 A 以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

重要

電源を接続するときの注意

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。
- 本製品専用の電源コンセントを使用してください。同一電源コンセントの他の差し込み口は、使用しないでください。
- コンピューター本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
  次のような機器と同じコンセントに接続しないでください。
  - 複写機
  - エアコン
  - シュレッダー
  - 消費電力の大きな機器
  - 電気的ノイズを発生する機器
- 屋内漏電ブレーカを介して配線されている電源コンセントの使用を推奨します。
  本製品のアース線を接続すると、感電のみならず、特異な条件が重なることにより発生する火災を防止することができます。
- 電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 秒以上間隔をおいてください。

その他の注意事項

- 本製品の最大消費電力は、890W 以下です。
- 電気的なノイズ、許容範囲を超える電源電圧の降下は、本製品やコンピューターの誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。

- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

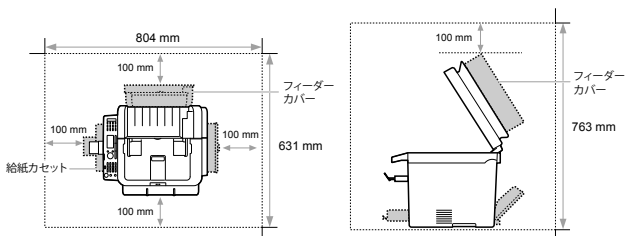
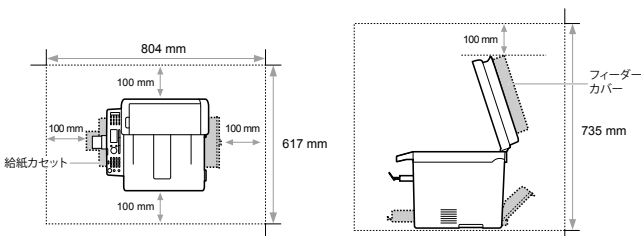
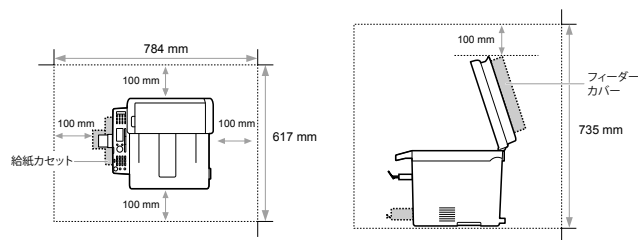
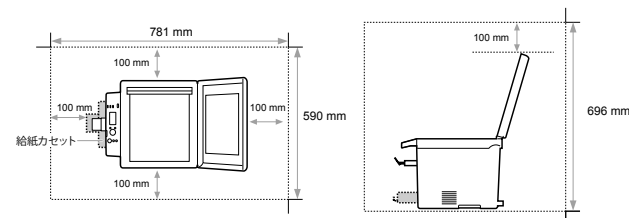
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本製品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

重要

故障の原因になる可能性がある場所には設置しない

- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 結露の発生する場所
- 風通しの悪い場所
（使用中の製品からは、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。）
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応を起こすような場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 機器の質量でゆがみや沈みが起きる可能性のある場所（じゅうたん／畳の上など）

設置スペース

周囲に必要なスペース
MF4580dn

MF4570dn/MF4550d

MF4430/MF4450

MF4410/MF4420n

取り扱いと保守／点検について

重要

- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示にしたがってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源のオフ / オン、操作パネルやカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 移転や引っ越しなどで本製品を輸送するときは、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ホコリなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- モジュラーケーブルには、3m 以内の長さのものを使用してください。
- 電話回線の抵抗値と本製品の抵抗値の合計が 1700 Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お買い上げの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「困ったときには」（→ P.9-1）を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みトナーカートリッジなどの回収について

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制にしたがって、以下の（）内の名称で登録されている場合があります。
Satera MF4580dn (F159302)
Satera MF4570dn (F159302)
Satera MF4550d (F159302)
Satera MF4450 (F159502)
Satera MF4430 (F159500)
Satera MF4420n (F159500)
Satera MF4410 (F159500)

電波障害規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

高調波の抑制について

本機器は JIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレー、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

IPv6 Ready Logo について

本製品搭載のプロトコルスタックは､IPv6 Forum が定める IPv6 Ready LogoPhase-1 を取得しています｡

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵､オゾン､スチレン､ベンゼンおよび TVOC の放散については､エコマーク No117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております Cartridge 328 を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ 122: 2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

- **著作物など**

  他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

- **通貨、有価証券など**

  以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

  - 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
  - 国債証券、地方債証券
  - 郵便為替証書
  - 郵便切手、印紙
  - 株券、社債券
  - 手形、小切手
  - 定期券、回数券、乗車券
  - その他の有価証券

- **公文書など**

  以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

  - 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
  - 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
  - 役所または公務員の印影、署名または記号
  - 私人の印影または署名

［関係法律］

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
- 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Satera はキヤノン株式会社の商標です。
Apple、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
ファイル管理革命 Lite、読取革命 Lite は、パナソニックソリューションテクノロジー（株）の登録商標、または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

第三者のソフトウェアについて

A. お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下 1 ～ 8 の条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
   - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
   - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

B. 上記 A の条件にかかわらず、別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェアについては、別途の許諾条件が適用されるものとします。

別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

詳細およびライセンス条件につきましては、本製品に同梱されている CD-ROM 内の e マニュアルをご参照ください。

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

Chapter 1

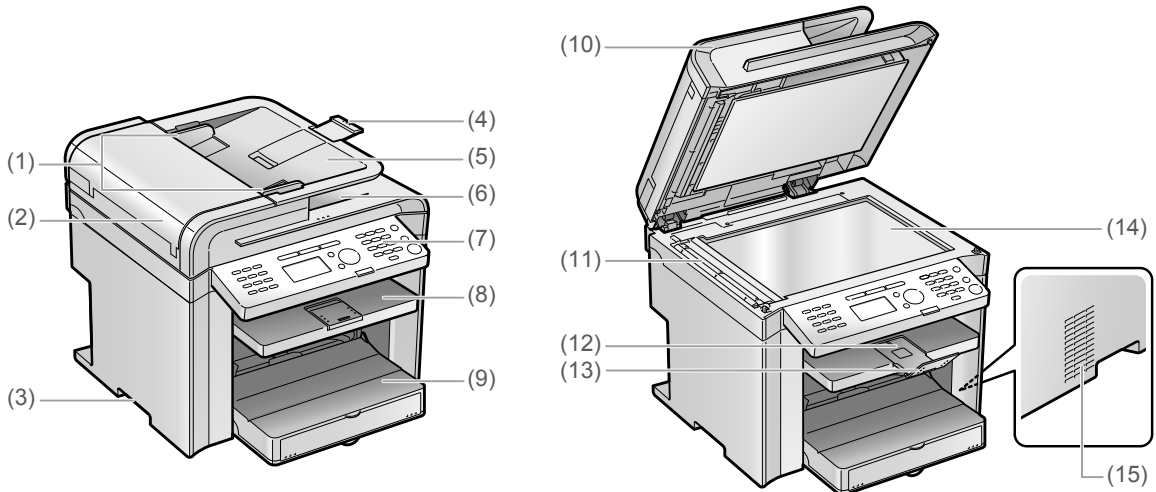
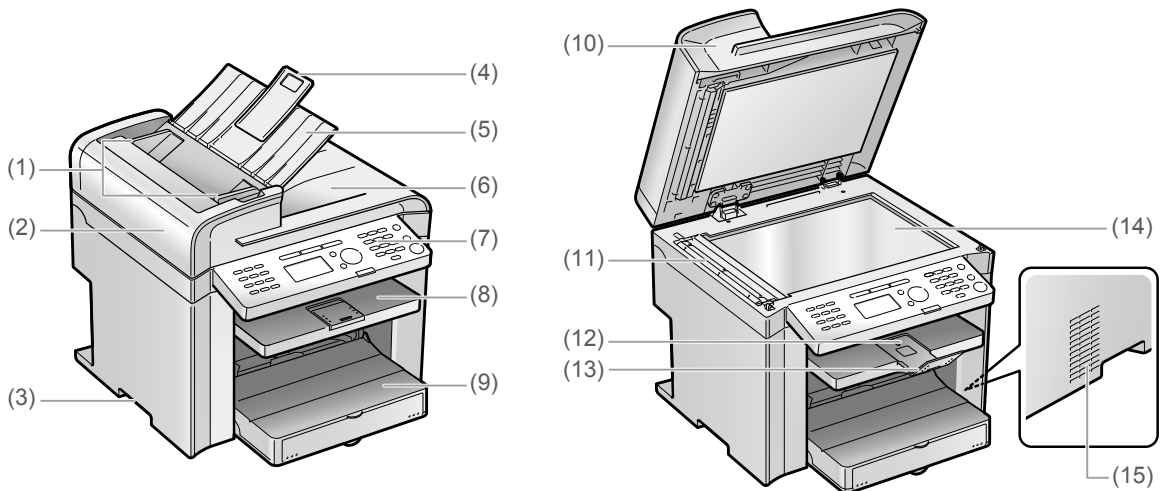
お使いになる前に

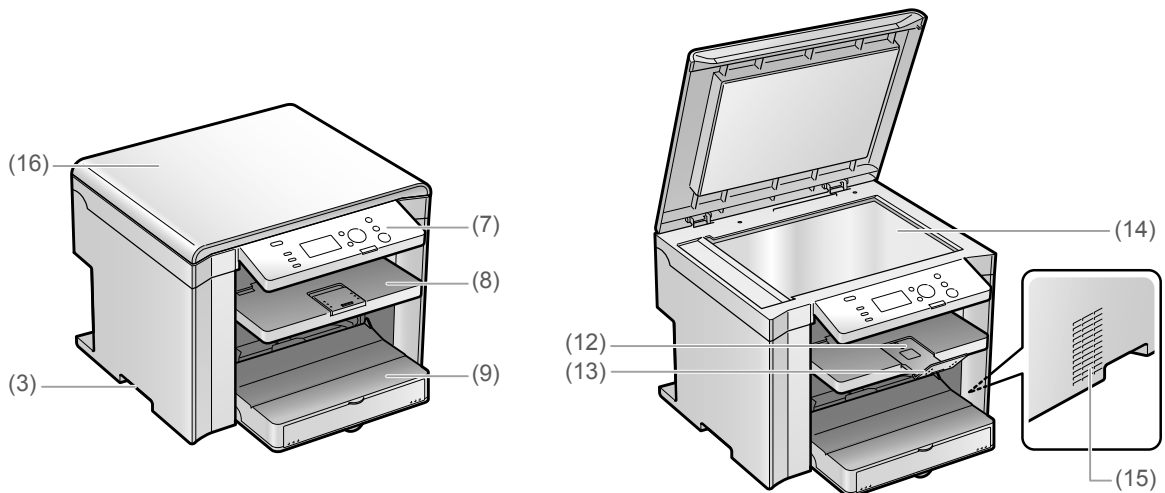
本製品をお使いになる前に知っておいてほしいことを説明しています。

本体の各部の名称と働き

各部の名称とはたらきを説明します。

本体前面

● **MF4580dn**

● **MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430**

* MF4430 は操作パネルの形状が異なります。

● **MF4420n/MF4410**

(1)　原稿ガイド（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）
原稿の幅に合わせて調節します。

(2)　フィーダーカバー（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）
つまった用紙を取り除くときに開きます。

(3)　取っ手
本製品を移動するときには、取っ手に手を掛けて運びます。

(4)　延長トレイ（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）
リーガルサイズなど、原稿が垂れ下がる場合に引き出します。

(5)　原稿給紙トレイ（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）
原稿をセットします。

(6)　原稿排紙トレイ（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）
原稿が排出されます。

(7)　操作パネル
本製品を操作します。
「操作パネル」（→ P.1-5）

(8)　排紙トレイ
コピー、プリント、ファクス（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）などの出力紙を排出します。

(9)　給紙カセット
用紙をセットします。
「給紙カセット」（→ P.1-4）

(10)　フィーダー（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）
自動的に原稿の連続読み込みを行うことができます。

(11)　フィーダー読み取りエリア（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）
フィーダーにセットされた原稿を読み取ります。

(12)　排紙延長トレイ
用紙が垂れ下がらないように引き出します。

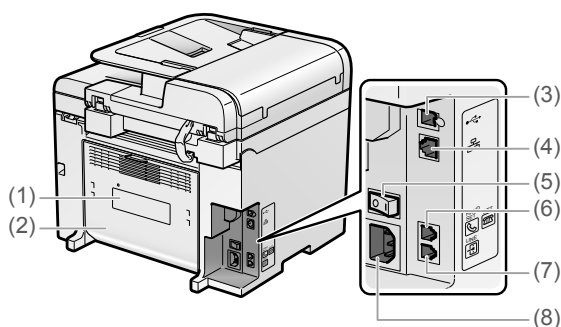
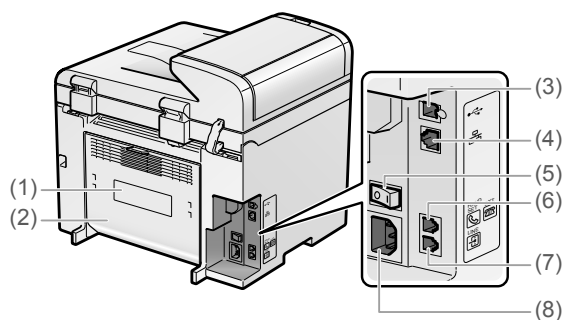
(13)　排紙ストッパー
排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。

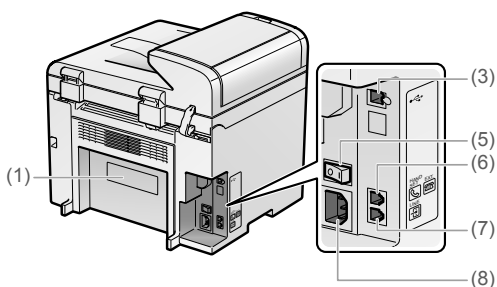
(14)　原稿台ガラス
原稿をセットします。

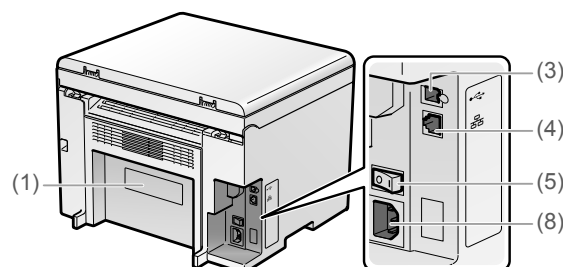
(15)　通気口（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）
本製品の内部を冷却するための通気口です。
熱を十分に逃せるよう、通気口の周囲を広く開けてください。

(16)　原稿台ガラスカバー（MF4420n/MF4410 のみ）
原稿台ガラスを保護します。

本体背面

● **MF4580dn**

● **MF4570dn/MF4550d**

* MF4550d に LAN ポートはありません。

● **MF4450/MF4430**

* MF4430 に電話回線端子、外付け電話機用端子はありません。

● **MF4420n/MF4410**

* MF4410 に LAN ポートはありません。

(1)　定格銘板ラベル
明示されている電流値は、平均消費電流です。

(2)　後ろカバー（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）
つまった用紙を取り除くときに開きます。

(3)　USB ポート
USB ケーブルを接続します。

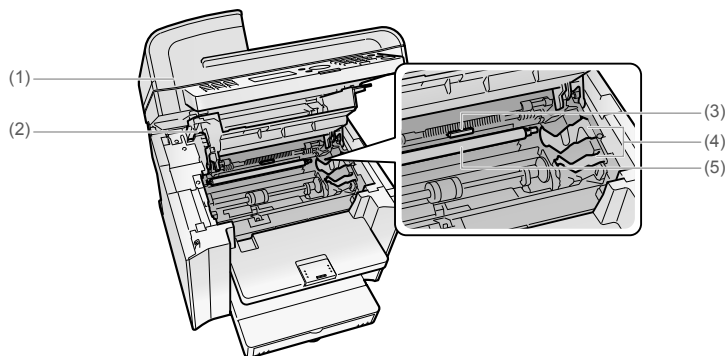
(4)　LAN ポート（MF4580dn/MF4570dn/MF4420n のみ）
ネットワークケーブルを接続します。

(5)　電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。

(6)　外付け電話機用端子（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）
外付け電話機またはオプションのハンドセットを接続します。

(7)　電話回線端子（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）
電話線コードを接続します。

(8)　電源ソケット
電源コードを接続します。

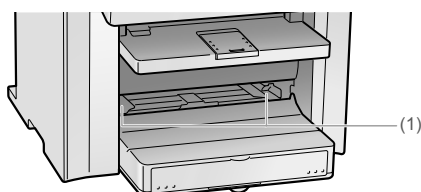
本体内部

(1)　操作パネル部
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

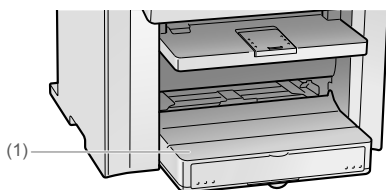
(2)　トナーカバー
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

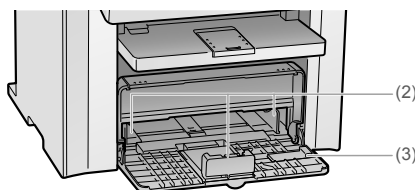
(3)　排紙ガイド
つまった用紙を取り除くときに開きます。

(4)　トナーカートリッジガイド
トナーカートリッジをセットするときは、左右の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。

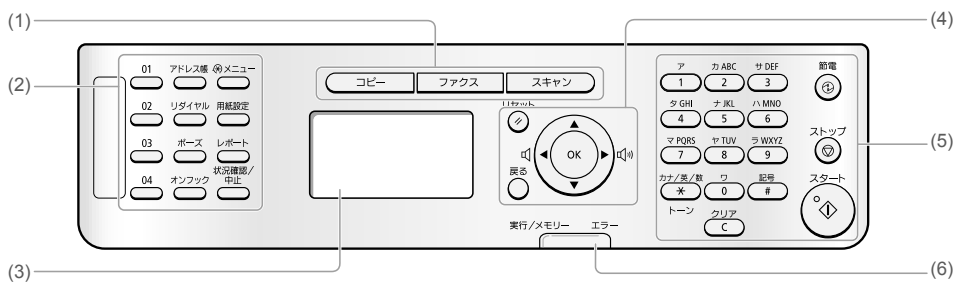
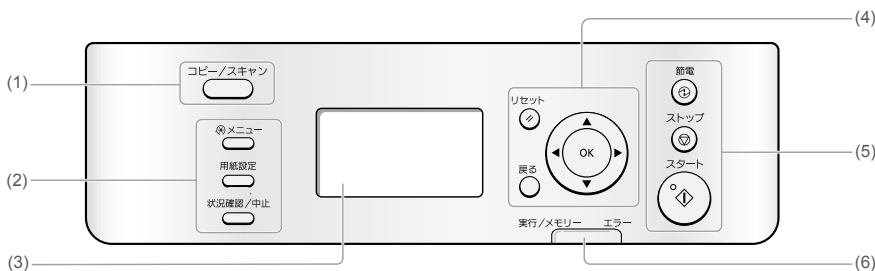
(5)　転写ローラー
トナーを用紙に転写させる部品です。

手差しトレイ

(1)　用紙ガイド
用紙の幅に合わせて調節します。

給紙カセット

(1)　用紙カバー
給紙カセット内の用紙をほこりやチリから保護します。

(2)　用紙ガイド
用紙に合わせてガイドの位置を調整します。

(3)　小サイズ用紙ガイド
はがきをセットする場合、後端の用紙ガイドに取り付けて使用します。

操作パネル

● **MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450**

● **MF4430/MF4420n/MF4410**

(1)	モード切り替えキー	コピー、ファクス *[1]、スキャンにモードを切り替えます。
(2)	［ワンタッチ］キー *[1] （［01］/［02］/［03］/［04］キー）	ワンタッチダイヤルに登録した宛先を指定します。
	［アドレス帳］キー *[1]	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛先を名前で検索します。
	［リダイヤル］キー *[1]	最後にテンキーでダイヤルした宛先を呼び出します。
	［ポーズ］キー *[1]	ファクス番号にポーズを挿入します。
	［オンフック］キー *[1]	外付け電話機またはハンドセット（オプション）の受話器を置いたまま、ダイヤルするときに押します。
	［メニュー］キー	各種の設定や登録をします。
	［用紙設定］キー	給紙カセットと手差しトレイにセットする用紙のサイズや種類を登録します。
	［レポート］キー *[1]	レポートやリストをプリントします。また、自動的にレポートをプリントするかどうかの設定も行うことができます。
	［状況確認 / 中止］キー	ジョブの確認や中止を行います。また、ネットワーク *[2] や本製品の状態の確認も行うことができます。
(3)	ディスプレー	メッセージや動作状況を表示します。設定中は、設定項目、文字、数字などを表示します。
(4)	［リセット］キー	設定をリセット（コピー／スキャン／ファクス *[1] モードをデフォルトに戻す）します。
	［戻る］キー	1 階層前の画面に戻ります。
	［▲］キー	上の設定項目を選択、または設定値を増やします。
	［▼］キー	下の設定項目を選択、または設定値を減らします。
	［◀］キー	1 階層前の画面に戻る、またはカーソルを移動します。 ファクスの通信音が鳴っているときに押すと、音量を下げます。
	［▶］キー	1 階層次の画面に進む、またはカーソルを移動します。 ファクスの通信音が鳴っているときに押すと、音量を上げます。
	［OK］キー	設定、登録した内容を確定します。
(5)	テンキー *[1]（［0］〜［9］キー）	文字や数字を入力します。
	［＊］キー *[1]	文字の入力モードを切り替えます。ファクス送信時は、ダイヤル回線からトーン信号を発信するのに使用します。
	［#］キー *[1]	記号を入力する時に押します。
	［クリア］キー *[1]	文字や数字を削除します。
	［節電］キー	手動で節電状態に設定／解除します。節電状態のときはグリーンに点灯します。
	［ストップ］キー	ジョブを中止します。
	［スタート］キー	コピー／スキャン／ファクス *[1] 操作を開始します。
(6)	［実行 / メモリー］ランプ	通信中に点滅、待機中のジョブがあるときに点灯します。
	［エラー］ランプ	エラーが発生したときに点滅します。

*[1] このキーまたは機能は、MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ使用できます。
*[2] この機能は、MF4580dn/MF4570dn/MF4420n のみ使用できます。

ディスプレー（基本画面）

以下の画面について、説明します。

- コピーモード
- ファクスモード
（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）
- スキャンモード

メモ

基本画面の表示

- 電源スイッチを入れたときに表示される基本画面を変更することができます。
<デフォルト画面の変更>の表示方法
☞［ ］（メニュー）→<環境設定>→<表示設定>→<デフォルト画面の変更>
※ 設定方法については、e- マニュアルを参照してください。（☞e- マニュアル→基本操作→表示設定を変更する→起動直後の画面（デフォルト画面）を設定する）
- 2 分間何も操作をしないと、基本画面に戻ります。
<オートクリアタイム>の表示方法
☞［ ］（メニュー）→<タイマー設定>→<オートクリアタイム>
※ 設定方法については、e- マニュアルを参照してください。（☞e- マニュアル→基本操作→タイマー設定を変更する→オートクリアタイムを設定する）

コピーモード

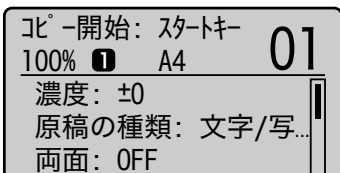
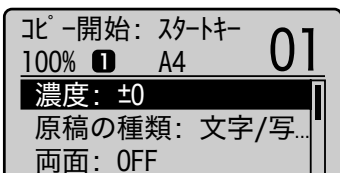
コピー機能を使うときは、次のようにして基本画面に切り替えます。

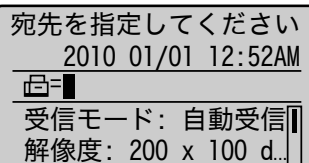
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450	［コピー］を押します。
MF4430/MF4420n/MF4410	コピー基本画面が表示されるまで、［ ］（コピー / スキャン）を押します。

```
ｺﾋﾟｰ開始：ｽﾀｰﾄｷｰ    01
100% 1   A4
 濃度：±0
 原稿の種類：文字/写…
 両面：OFF
```

コピー基本画面が表示されているときに、［▲］または［▼］を押すと項目を選択することができます。

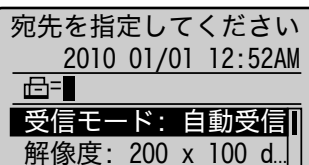
現在選択されている項目は、反転して表示され、［OK］を押すと階層を進むことができます。

```
ｺﾋﾟｰ開始：ｽﾀｰﾄｷｰ    01
100% 1   A4
 濃度：±0
 原稿の種類：文字/写…
 両面：OFF
```

ファクスモード（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

ファクス機能を使うときは、［ファクス］を押して基本画面に切り替えます。

```
宛先を指定してください
   2010 01/01 12:52AM
 =
 受信モード：自動受信
 解像度：200 x 100 d…
```

ファクス基本画面が表示されているときに、［▲］または［▼］を押すと項目を選択することができます。

現在選択されている項目は、反転して表示され、［OK］を押すと階層を進むことができます。

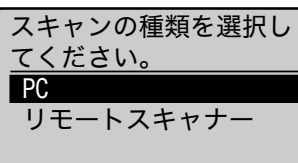
```
宛先を指定してください
   2010 01/01 12:52AM
 =
 受信モード：自動受信
 解像度：200 x 100 d…
```

スキャンモード

スキャン機能を使うときは、次のようにして基本画面に切り替えます。

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450	［スキャン］を押します。
MF4430/MF4420n/MF4410	スキャン基本画面が表示されるまで、［ ］（コピー / スキャン）を押します。

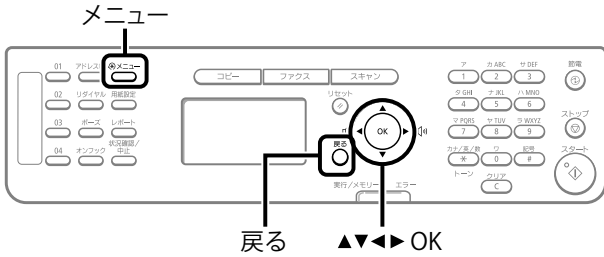
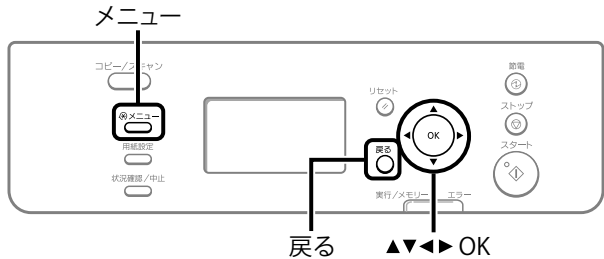
［▲］または［▼］を押すと項目を選択することができます。

現在選択されている項目は、反転して表示され、［OK］を押すと階層を進むことができます。

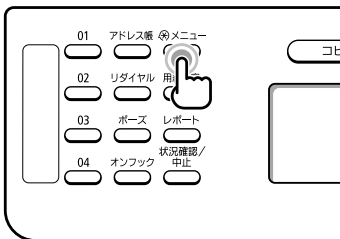
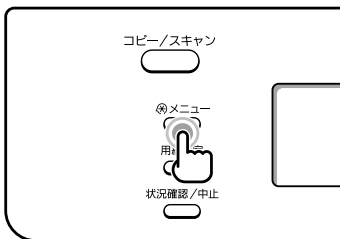
```
スキャンの種類を選択し
てください。
PC
 リモートスキャナー
```

メニューの操作方法

次のキーを使用して、メニュー画面を操作します。

この操作で使用するキー

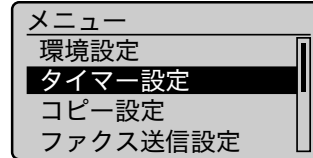
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

メニュー画面を表示する

［ ］（メニュー）を押してメニュー画面を表示します。

● MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合

● MF4430/MF4420n/MF4410 の場合

画面をスクロールして項目を表示する

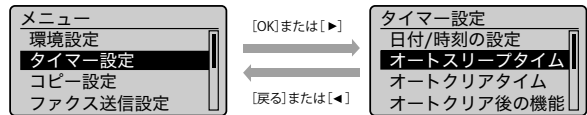
画面右側のスクロールバーは、画面に表示されていない項目があることを示しています。

表示されていない項目を選択したい場合は、［▲］［▼］で画面をスクロールしてください。

現在選択されている項目は、反転して表示されます。

メニューの項目を選択する

［OK］を押して、反転している項目を選択します。

サブメニューがある場合は、［▶］を押して、次の画面へ進むことができます。

［◯］（戻る）や［◀］を押すと前の画面に戻ることができます。

メニューの項目を設定する

設定方法

状況	画面例	手順
濃度の調節など、画面に表示されている目盛りを左右に動かすとき	濃度補正 −□□□□■□□□□+	［◀］［▶］で調整します。
タイマー設定など、数値を選択するとき	テンキー オートスリープタイム ▲ 10 分 (10～240)	［▲］［▼］で数値を選択します。 メモ **入力できる数値について** 入力欄の下にある（　）内の数値を入力することができます。 **画面にテンキーアイコンが表示されているとき** MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合は、テンキーで入力することができます。 「文字の入力方法」(→ P.1-9)
暗証番号入力など、数値を続けて入力するとき	システム管理暗証番号 ******* <確定> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 <BS>	［◀］［▶］［▲］［▼］で数字や文字を選択して、[OK] を押して入力します。数字や文字を消去するには＜ BS ＞を選択して、［OK］を押します。 メモ **テンキーでも入力できます** MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合は、テンキーで入力することができます。 「文字の入力方法」(→ P.1-9)

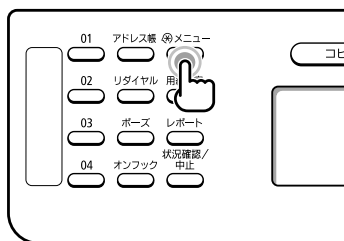
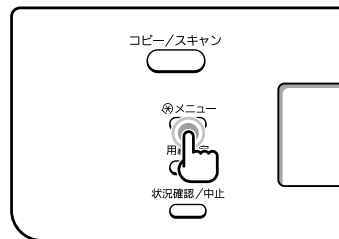
入力内容を確定する

入力内容を確定するには、次の操作を行います。

- ［OK］を押します。
- ＜確定＞が画面に表示されているときは、［▲］［▼］で＜確定＞を選択してから、［OK］を押します。

基本画面に戻る

［　　］（メニュー）を押すとメニュー画面が閉じて、基本画面に戻ります。

● **MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合**

● **MF4430/MF4420n/MF4410 の場合**

メモ

［OK］を押す前に［　　］（メニュー）を押した場合

設定内容は保存されません。

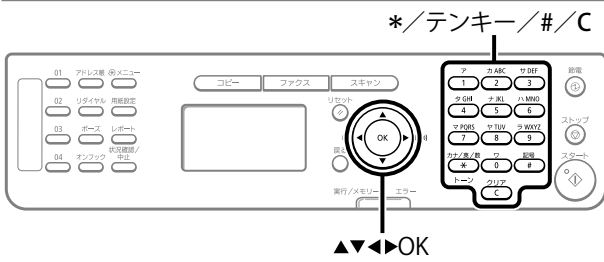
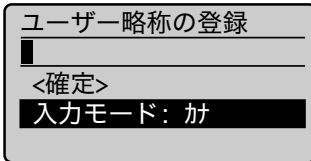
文字の入力方法

※次の文字の入力方法は、「IP アドレスの入力方法」（→ P.1-10）を参照してください。
- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- DNS サーバーアドレス

IP アドレス以外の入力方法

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合

次のキーを使用して、本体に情報（文字、記号、数字）を入力します。

この操作で使用するキー

入力モードを変更する

［▼］で＜入力モード＞を選択して、［OK］を押します。

［＊］（トーン）を押しても切り替えることができます。

入力モード	入力できる文字
＜カナ＞	カタカナ
＜ aA ＞	アルファベットと記号
＜ 12 ＞	数字

文字や記号、数字を入力する

テンキーや［#］（記号）で入力します。

使用するキー	入力モード：＜カナ＞	入力モード：＜ aA ＞	入力モード：＜ 12 ＞
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	@.-_/	1
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0	ﾜｦﾝ	（入力不可）	0
#	ﾞ（濁音） ﾟ（半濁音） -（ハイフン）	@./-_!?&$% #()[]{}<>*+ =",;:'^`|¥	（入力不可）

カーソルを移動する（スペースを入力する）

［◀］または［▶］で移動します。

文字の最後にカーソルを合わせて［▶］を押すと、スペースが入力されます。

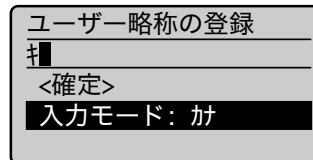
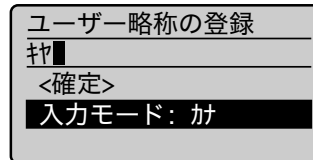
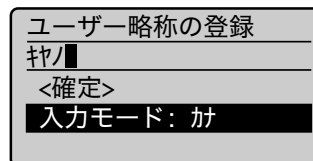
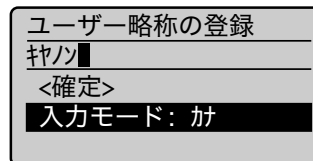
文字や記号、数字を削除する

［C］（クリア）で削除します。

［C］（クリア）を長押しすると、すべての文字が削除されます。

● **例：「キヤノン」を入力してみます。**

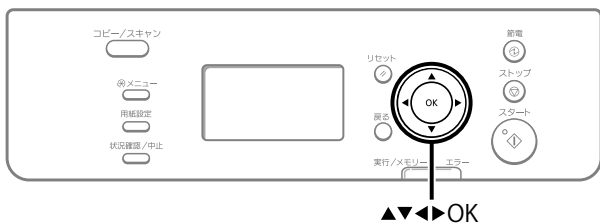
1 画面入力モードが＜カナ＞になっていることを確認します。

2 ［2］を繰り返し押して、「キ」を入力します。

3 ［8］を繰り返し押して、「ヤ」を入力します。

4 ［5］を繰り返し押して、「ノ」を入力します。

5 ［0］繰り返し押して、「ン」を入力します。

6 ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

入力が確定します。

MF4430/MF4420n/MF4410 の場合

次のキーを使用して、本体に数字を入力します。

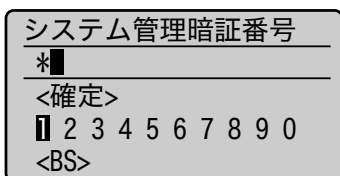
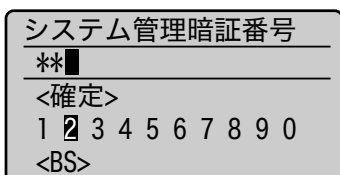
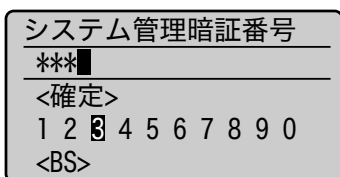
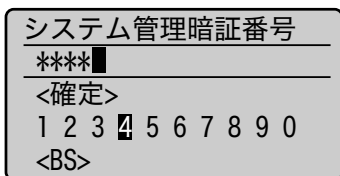
この操作で使用するキー

数字を入力する

［◀］［▶］で数字を選択し、［OK］を押します。

数字を削除する

［▼］を押して＜ BS ＞を選択し、［OK］を押してください。

● **例：「1234」を入力してみます。**

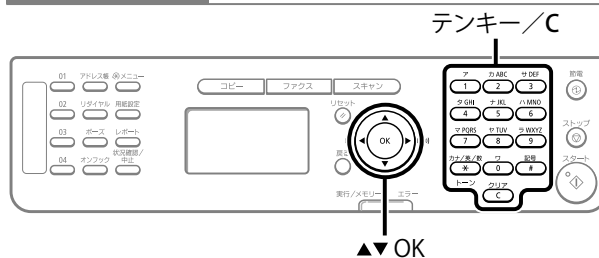
1 ［◀］［▶］で「1」を選択し、［OK］を押します。

2 ［◀］［▶］で「2」を選択し、［OK］を押します。

3 ［◀］［▶］で「3」を選択し、［OK］を押します。

4 ［◀］［▶］で「4」を選択し、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

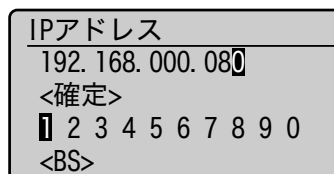
入力が確定します。

IP アドレスの入力方法（MF4580dn/MF4570dn/MF4420n のみ）

MF4580dn/MF4570dn の場合

次のキーを使用して、数字を入力します。

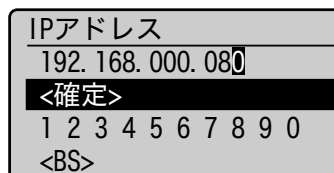
この操作で使用するキー

1 テンキーを使って、数字を入力します。

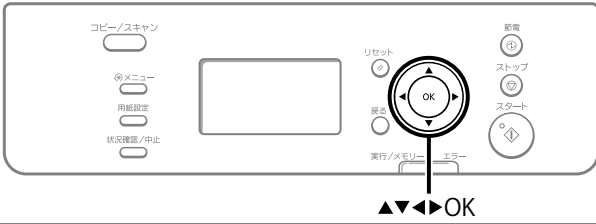
※ 数字は、3 桁ずつ入力します。
「192.168.0.80」に設定したいときは、「192.168.000.080」と入力します。
（3 桁に満たない数字は、先頭に「0」を付けて 3 桁にします。）

数字を削除する

［ C ］（クリア）で削除します。

［ C ］（クリア）を長押しすると、すべての文字が削除されます。

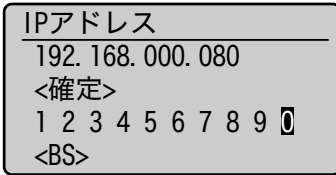
※［▲］［▼］で＜ BS ＞を選択して［OK］を押しても、数字を削除することができます。

2 入力が終わったら、［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

MF4420n の場合

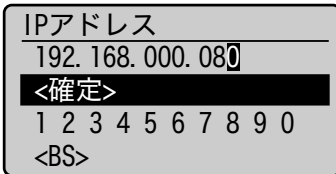
次のキーを使用して、数字を入力します。

この操作で使用するキー

1 ［◀］［▶］で数字を選択し、［OK］を押します。

※ 数字は、3 桁ずつ入力します。
「192.168.0.80」に設定したいときは、「192.168.000.080」と入力します。
（3 桁に満たない数字は、先頭に「0」を付けて 3 桁にします。）

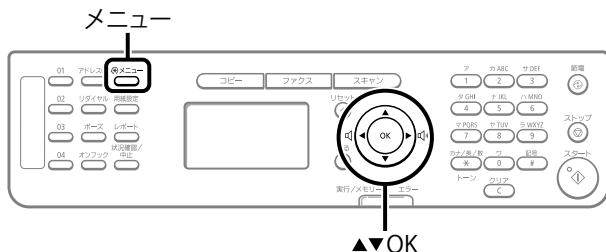
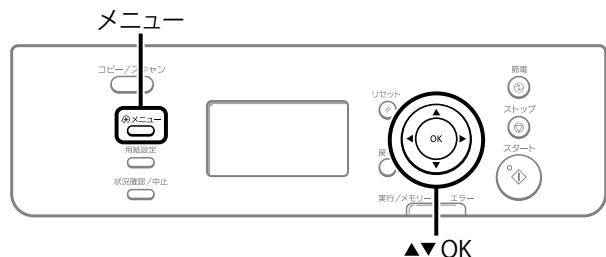
IPアドレス
192. 168. 000. 080
<確定>
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
<BS>

数字を削除する

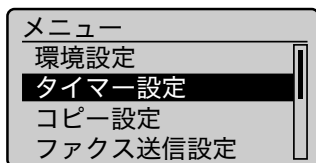
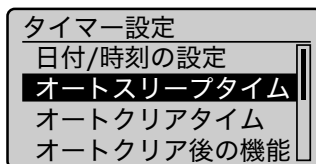
［▼］で＜ BS ＞を選択し、［OK］を押します。

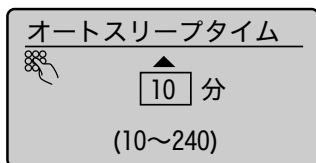
2 入力が終わったら、［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

オートスリープタイムを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 ［　　］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜タイマー設定＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜オートスリープタイム＞を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で時間を設定して、［OK］を押します。

※ MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合は、テンキーを使って数値を入力することもできます。
※ 本項目は、工場出荷時の設定でお使いになることをおすすめします。

メモ

スリープモードの移行時間の設定について

スリープモードの移行時間は、＜ 10 ＞分から＜ 240 ＞分の範囲で 1 分刻みで設定できます。また、工場出荷時は＜ 10 ＞分に設定されています。

5 ［］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

メモ

スリープモードに移行すると

［　］（節電）がグリーンに点灯します。

手動でスリープモードにするには

［　］（節電）を押してください。
※スリープモードから復帰後、10 秒間は［　］（節電）を押しても、スリープモードに移行しません。

スリープモードに移行しない状態

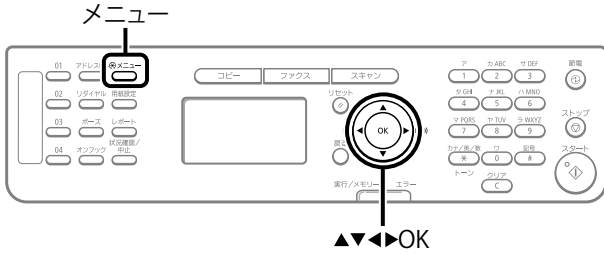
- 本製品が操作中の場合
- 実行／メモリーランプが点灯または点滅している場合
- エラーメッセージがディスプレーに表示され、エラーランプが点滅している場合（ただし、＜トナーカートリッジを準備してください。＞ が表示されている場合を除く（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ））
- 調整中やクリーニング中など、本製品が動作中の場合
- 本体内で紙づまりが発生している場合
- 外付け電話機またはハンドセット（オプション）の受話器が外れている場合
- フィーダーに原稿がセットされている場合

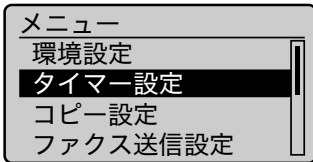
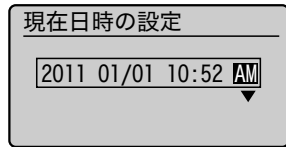
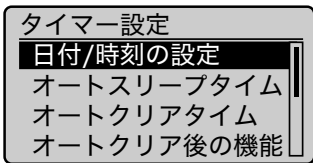
スリープモードから復帰するとき

- ［　］（節電）が押されたとき
- ファクスや電話に着信があったとき
- 外付け電話機またはハンドセット（オプション）の受話器が外されたとき
- コンピューターからプリントジョブが送信され、プリントが開始されたとき
- フィーダーに原稿がセットされたとき
- コンピューターと本製品が USB ケーブルで接続されたとき

日付と時刻を設定する

日付時刻の表示方法と現在の日付と時刻を設定します。
ここで設定した日付と時刻は、一部のファクス機能や各種レポートで使用されます。

この操作で使用するキー

1 ［ ］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で<タイマー設定>を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で<日付 / 時刻の設定>を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で設定項目を選択して、［OK］を押します。

設定項目	概要	操作
<日付表示タイプ切替>	日付の表示形式を設定します。	［▲］［▼］で表示形式を選択して、［OK］を押します。 表示形式は次の 3 つから選択できます。 • 年 月 / 日 • 月 / 日 / 年 • 日 / 月 年
< 12/24 時間表示切替>	時刻の表示形式を設定します。	［▲］［▼］で表示形式を選択して、［OK］を押します。 表示形式は次の 2 つから選択できます。 • 12 時間表示（AM/PM） • 24 時間表示
<現在日時の設定>	現在の日付と時刻を設定します。	日付と時刻を入力して、［OK］を押します。 「文字の入力方法」（→ P.1-9） < AM >と< PM >の切り替えは、一番右にカーソルを合わせて、［▲］［▼］で行います。 現在日時の設定 2011 01/01 10:52 AM

5 ［ ］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

Chapter 2

原稿と用紙の取り扱い

使用できる原稿について

	原稿台ガラス	フィーダー
原稿の種類	・普通紙　・小型原稿（名刺サイズなど） ・厚紙　・特殊紙（トレーシングペーパー、OHP フィルムなど）＊1 ・写真　・本（厚さ 20 mm までのもの）	普通紙 （同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿）
サイズ（幅×長さ）	最大 215.9 mm x 297 mm	• MF4580dn 最大 216 mm × 356 mm、最小 140 mm × 127 mm • MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 最大 216 mm × 356 mm、最小 148 mm × 105 mm
質量／坪量	最大 2 kg	• 片面原稿：50 〜 105 g/m^2 • 両面原稿：60 〜 105 g/m^2
積載枚数	1 枚	• MF4580dn：最大 50 枚 *2 • MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430：最大 35 枚 *2

*1 トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿台ガラスに原稿を下向きにしてセットし、白紙を原稿の上に重ねて置いてください。

*2 80 g/m^2 の用紙

重要

原稿をセットするときは

のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。

フィーダー内で原稿がつまるのを防ぐために

以下のものは使用しないでください。

- しわや折り目のある原稿
- カーボン紙やカーボンバック紙
- カールした、または巻いた紙
- コート紙
- 破れた原稿
- 薄質半透明紙や薄紙
- ステイプルの針またはクリップが付いた紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙
- OHP フィルム

読み取り範囲

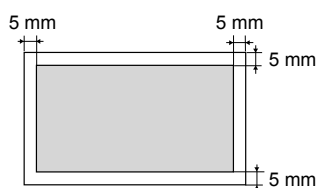
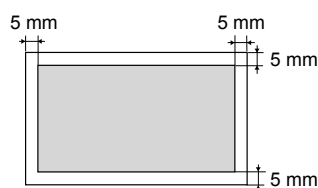
原稿の文字や画像が、以下の図に示す範囲に収まっていることを確認してください。

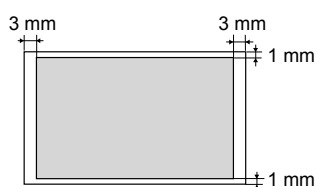
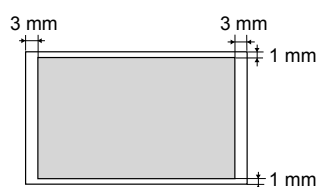
※ 下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。

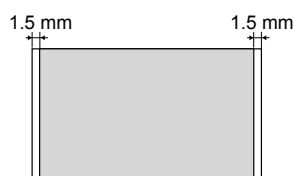
※ 原稿の置く向きは以下の通りです。

- 原稿台ガラス：原稿を伏せて置いた状態
- フィーダー：原稿給紙トレイに置いた状態

コピー

原稿台ガラス

フィーダー

ファクス

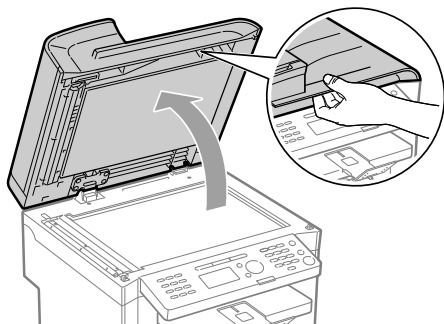
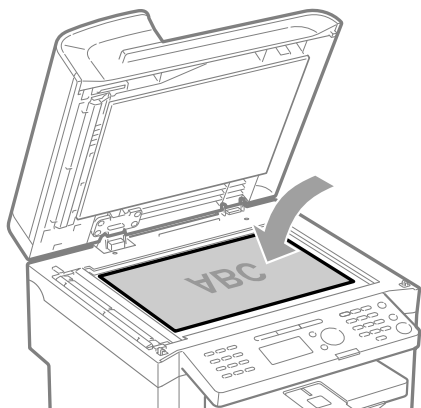
原稿台ガラス

フィーダー

スキャン

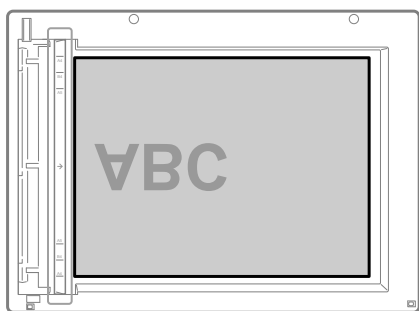
原稿台ガラス

フィーダー

原稿をセットする

原稿台ガラスやフィーダーに原稿をセットする方法について説明します。

原稿台ガラスにセットする

1 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを開けます。

2 読み取る面を下にして、原稿を置きます。

3 原稿を用紙サイズマークに合わせます。

原稿が用紙サイズマークに合わないときは、原稿の中心を矢印（→）に合わせてください。

4 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを静かに閉めます。

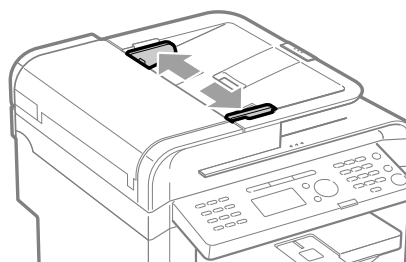
原稿を読み込む準備ができました。

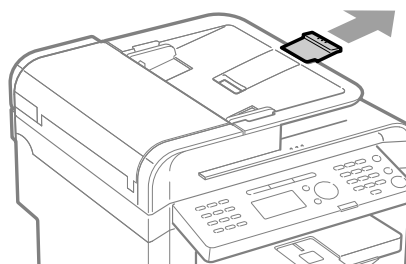
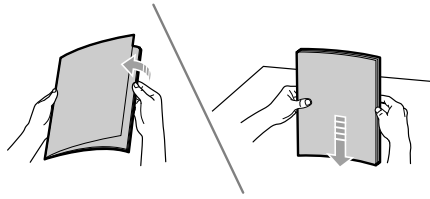
読み込みが完了したら、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

> **注意**
>
> **フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを閉めるときの注意**
>
> - 指を挟まないよう注意してください。けがをする恐れがあります。
> - 無理に閉めないでください。原稿台ガラスが破損してけがをする恐れがあります。

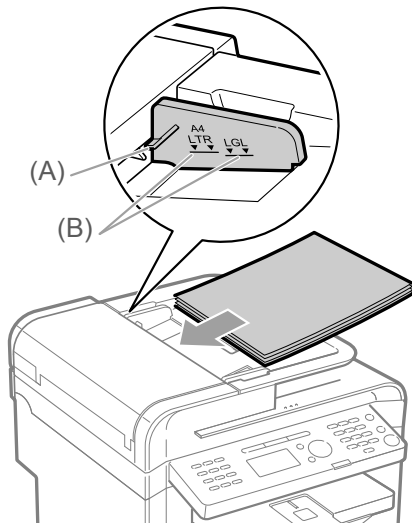
フィーダーにセットする

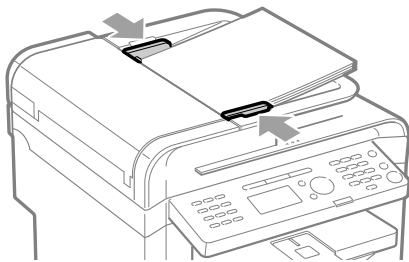
MF4580dn の場合

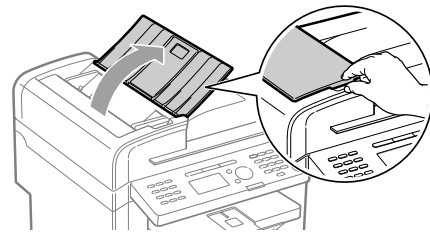
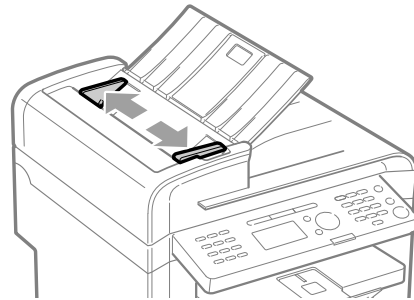
1 原稿ガイドの幅を原稿の幅より少し広めにセットします。

2 大きいサイズの原稿をセットするときは、延長トレイを引き出します。

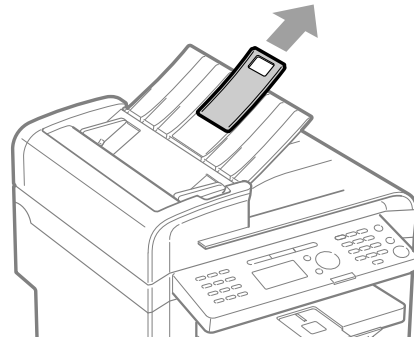
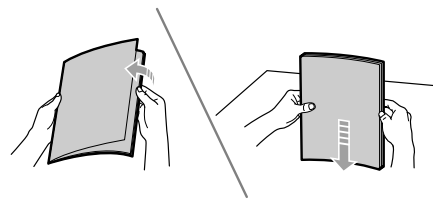
原稿が垂れ下がる場合に引き出してください。

3 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の端を揃えます。

4 読み取る面を上にして、原稿をセットします。

積載制限ガイド（A）の下を通します。

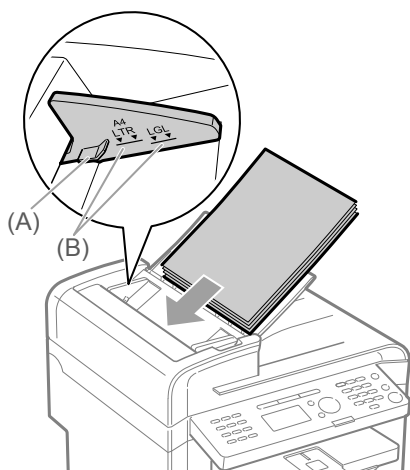
積載制限マーク（B）を超えていないことを確認してください。

5 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

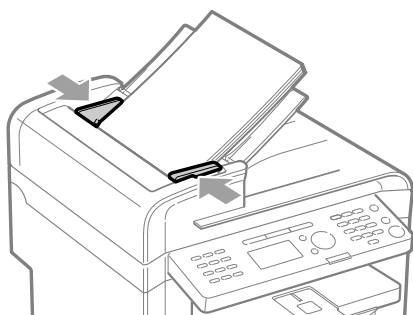
原稿を読み込む準備ができました。

MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 の場合

1 原稿給紙トレイを開けます。

2 原稿ガイドの幅を原稿の幅より少し広めにセットします。

3 大きいサイズの原稿をセットするときは、延長トレイを引き出します。

原稿が垂れ下がる場合に引き出してください。

4 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の端を揃えます。

5 読み取る面を上にして、原稿をセットします。

積載制限ガイド（A）の下を通します。

積載制限マーク（B）を超えていないことを確認してください。

6 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

原稿を読み込む準備ができました。

重要

原稿は 35 枚（MF4580dn は 50 枚）までセットできます

35 枚（MF4580dn は 50 枚）を超える原稿をセットすると、紙づまりが発生したり、原稿が読み込まれない場合があります。

原稿を読み込んでいるとき

原稿を追加したり、抜いたりしないでください。

原稿を読み込み終わったら

紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。

同じ原稿を 30 回以上読み込まない

繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。

必ず原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

- ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- 本製品のプリント結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.3 %ずれる（斜めになる）場合があります。プリント結果のずれは、原稿を正しくセットすることで、軽減されることがあります。

使用できる用紙について

用紙サイズ

使用できる用紙サイズは以下のとおりです。

○：給紙可能

用紙サイズ	給紙部	
	給紙カセット	手差しトレイ
A4（210 mm × 297 mm）*1 *2	○	○
B5（182 mm × 257 mm）	○	○
A5（148 mm × 210 mm）	○	○
リーガル（LGL）（216 mm × 356 mm）*1	○	○
レター（LTR）（216 mm × 279 mm）*1 *2	○	○
ステートメント（STMT）（140 mm × 216 mm）	○	○
エグゼクティブ（EXEC）（184 mm × 267 mm）	○	○
オフィシオ（216 mm × 318 mm）*1	○	○
ブラジルーオフィシオ（216 mm × 355 mm）*1	○	○
メキシコーオフィシオ（216 mm × 341 mm）*1	○	○
ガヴァメントーレター（203 mm × 267 mm）	○	○
ガヴァメントーリーガル（203 mm × 330 mm）	○	○
FOOLSCAP（216 mm × 330 mm）*1	○	○
Australian-FOOLSCAP（206 mm × 338 mm）	○	○
はがき（100 mm × 148 mm）	○	○
往復はがき（148 mm × 200 mm）	○	○
4 面はがき（200 mm × 296 mm）	○	○
封筒長形 3 号（120 mm × 235 mm）*3	○	○
封筒洋形長 3 号（235 mm × 120 mm）*3	○	○
ユーザー設定用紙	○ *4	○ *5

*1 MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ、自動両面プリントが可能です。
*2 受信文書およびレポートやリストのプリントが可能です。
*3 封筒はふたを閉じて使用してください。
*4 以下のサイズのユーザー設定用紙をセットすることができます。
- 幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 148 ～ 356 mm

*5 以下のサイズのユーザー設定用紙をセットすることができます。
- 幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 127 ～ 356 mm

メモ

用紙サイズの初期値

初期値は、A4 です。別の用紙サイズを使用する場合、用紙サイズの設定を変更してください。
「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-16）

用紙の種類

使用できる用紙の種類は以下のとおりです。

用紙の種類		プリンタードライバーの設定	給紙部	
			積載枚数（給紙カセット）	積載枚数（手差しトレイ）
普通紙 ＊1	60 ～ 80 g/m^2	［普通紙］ ［普通紙 L］＊2	250 枚	1 枚
	80 ～ 90 g/m^2		170 枚	1 枚
厚紙	90 ～ 105 g/m^2	［厚紙 1］	170 枚	1 枚
	105 ～ 120 g/m^2		100 枚	1 枚
	120 ～ 163 g/m^2	［厚紙 2］	100 枚	1 枚
ラフ紙	60 ～ 90 g/m^2	［ラフ紙 1］	100 枚	1 枚
	90 ～ 120 g/m^2	［ラフ紙 2］	100 枚	1 枚
	120 ～ 163 g/m^2	［ラフ紙 3］	100 枚	1 枚
再生紙 ＊1	60 ～ 80 g/m^2	［再生紙］	250 枚	1 枚
色紙 ＊1	60 ～ 80 g/m^2	［色紙］	250 枚	1 枚
OHP フィルム ＊3		［OHP フィルム］	50 枚	1 枚
ラベル用紙		［ラベル用紙］	100 枚	1 枚
はがき、往復はがき、4 面はがき＊4		［はがき］	20 枚	1 枚
封筒		［封筒］	20 枚	1 枚

*1 MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ、自動両面プリントが可能です。
*2 ［普通紙］に設定してプリントした結果、排紙された用紙がカールする（用紙が反る）場合は、［普通紙 L］に設定してください。ただし、［普通紙 L］に設定した場合、定着性が低下する場合があります。
*3 OHP フィルムは、レーザープリンター用のものを使用してください。
*4 インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。

- しわや折り目のある紙
- カールした、または巻いた紙
- 破れた紙
- 湿った紙
- 非常に薄い紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）

以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。

- 目の粗い紙
- つるつるした紙
- 光沢紙

用紙にホコリ、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。

用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。

用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。

開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。
用紙は室温 18 ～ 24 ° C、相対湿度 40 ～ 60 %の場所で保管してください。

吸湿している用紙にプリントすると

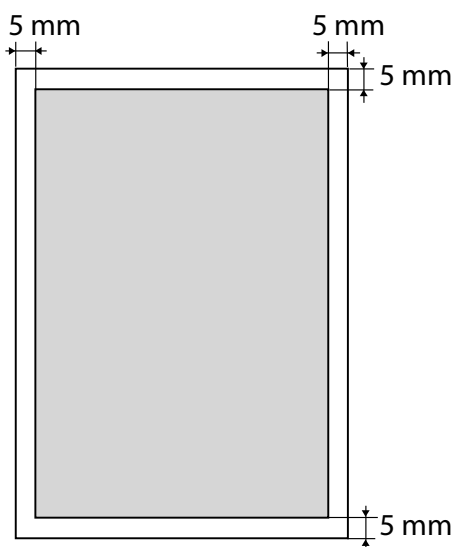
以下のようなことが起こる場合があります。

- **本製品の排紙部周辺から湯気が出る**
- **操作パネルの裏面や排紙部に水滴がつく**

これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

ただし、焦げ臭いにおいがした場合は、直ちに本製品の電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プリント範囲

淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。

用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

別の用紙サイズや種類を使用する場合

工場出荷時では、用紙のサイズと種類は＜ A4 ＞と＜普通紙＞に設定されています。別の用紙サイズや種類を使用する場合は、用紙の設定を変更してください。

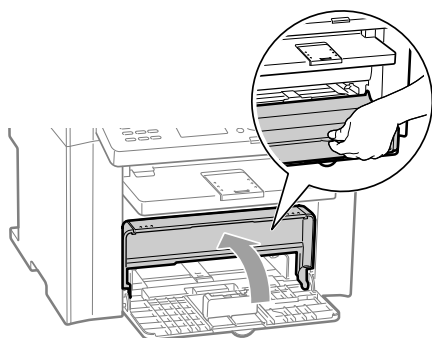
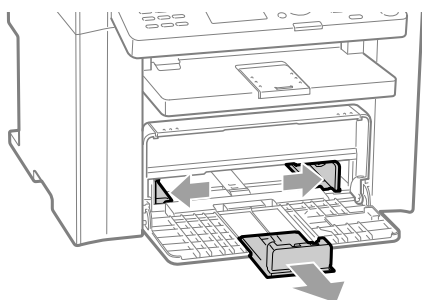
「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-16）

給紙カセットにセットする

給紙カセットにセットする前に、「用紙をセットするときのご注意」（→ P.2-13）をご覧ください。

はがきをセットするとき

セット方法が異なりますので、「はがきをセットする」（→ P.2-12）を参照してください。

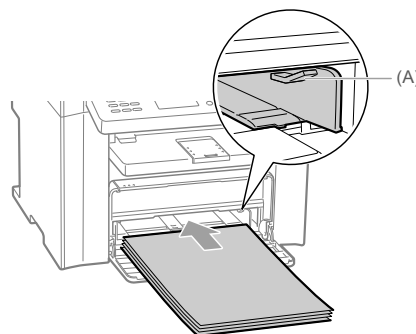
1 用紙カバーを開けます。

2 用紙ガイドを用紙より少し大きめの位置へ移動します。

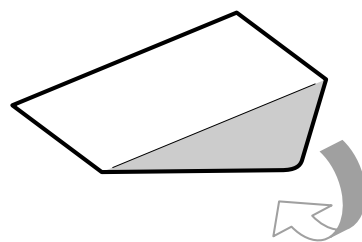
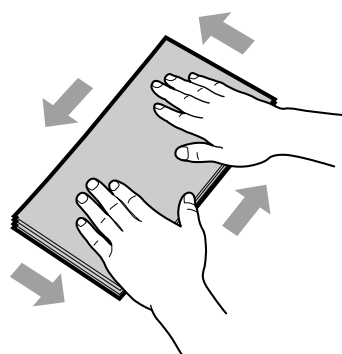
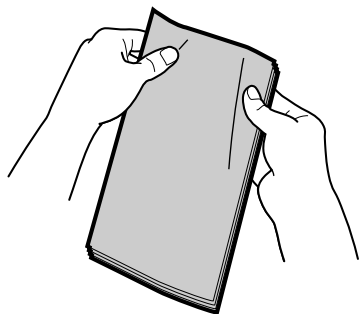
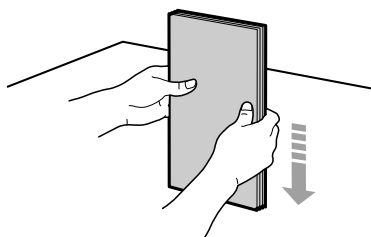
※ セットする用紙サイズを変更する場合は、必ず「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-16）で用紙の登録を行ってください。

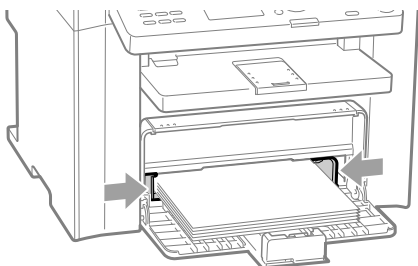
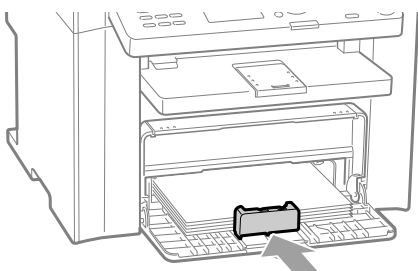
3 プリントしたい面を上にして、奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

「用紙のセット可能枚数」（→ P.2-14）

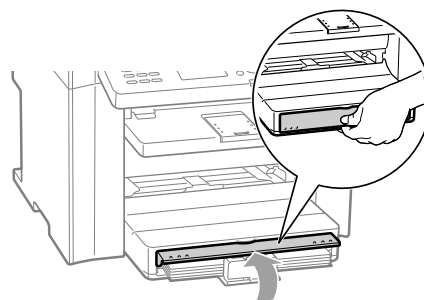
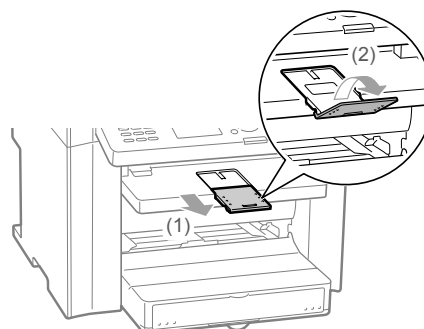
「用紙のセット向き」（→ P.2-14）

用紙束は積載制限ガイド (A) の下を通してください。

封筒をセットする場合

(1) 封筒のふたを閉じます。

(2) 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

(3) 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

(4) 封筒を平らな場所で揃えます。

(5) プリントしたい面を上にして、奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

4 用紙ガイドをセットした用紙に合わせます。

5 後端の用紙ガイドをセットした用紙に合わせます。

6 用紙カバーを閉めます。

A4 サイズより長い用紙をセットする場合

給紙カセットの前面にあるカバーを開けます。

7 排紙延長トレイを引き出して、排紙ストッパーを持ち上げます。

8 セットした用紙のサイズと種類を設定します。

「用紙のサイズと種類を設定する」(→ P.2-16)

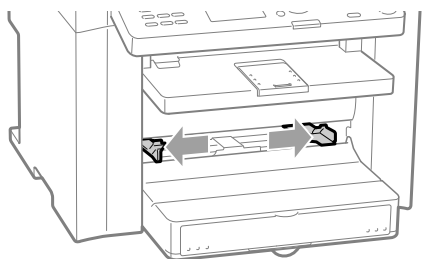
手差しトレイにセットする

手差しトレイにセットする前に、「用紙をセットするときのご注意」（→ P.2-13）をご覧ください。

給紙カセットにセットされている用紙と、種類やサイズが異なる用紙にコピーやプリントする場合は、手差しトレイを使います。
手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットします。

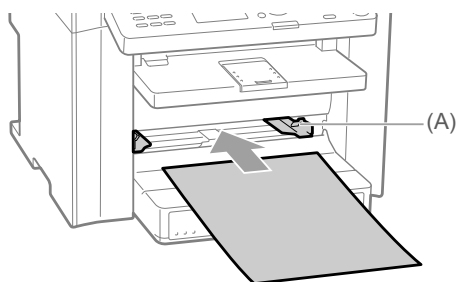
はがきをセットするとき

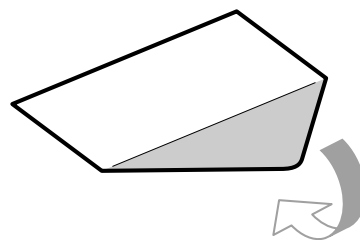
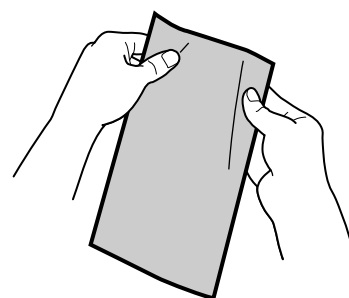
セット方法が異なりますので、「はがきをセットする」（→ P.2-12）を参照してください。

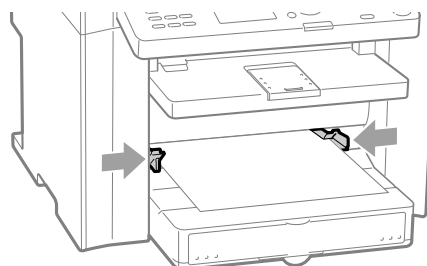
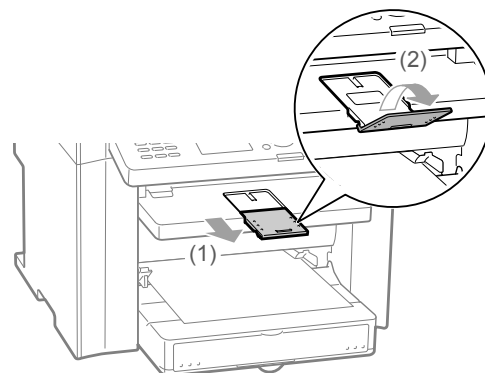
1 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

2 プリントしたい面を上にして、奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

「用紙のセット可能枚数」（→ P.2-14）

「用紙のセット向き」（→ P.2-14）

積載制限ガイド (A) の下を通してください。

封筒をセットする場合

(1) 封筒のふたを閉じます。

(2) 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

(3) プリントしたい面を上にして手差しトレイにまっすぐに差し込みます。

3 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

4 排紙延長トレイを引き出して、排紙ストッパーを持ち上げます。

5 セットした用紙のサイズと種類を設定します。

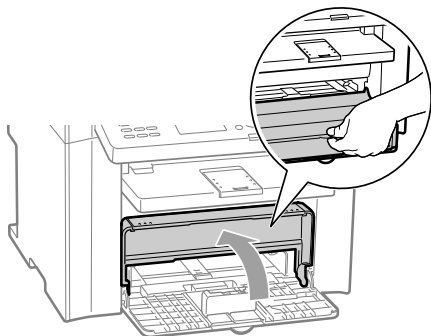
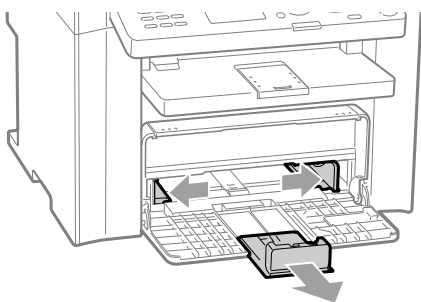
「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-16）

はがきをセットする

給紙カセットや手差しトレイにはがきをセットする方法について説明します。

給紙カセットにセットする

給紙カセットにセットする前に、「用紙をセットするときのご注意」（→ P.2-13）をご覧ください。

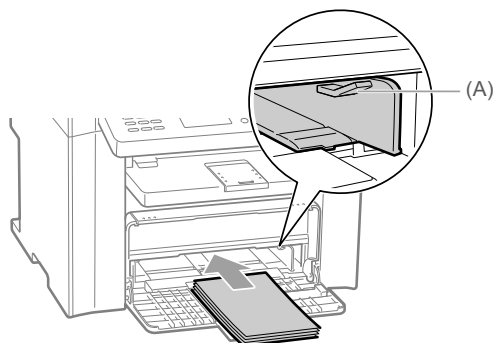
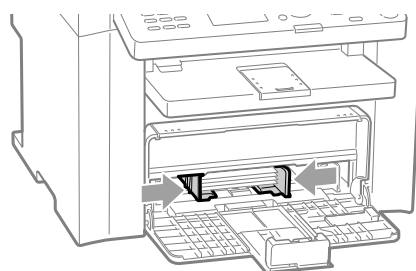
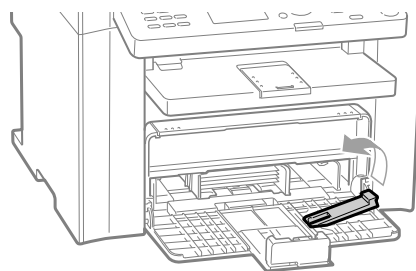
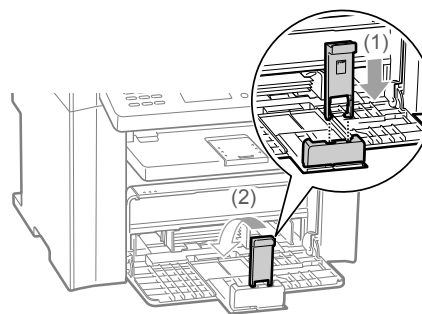
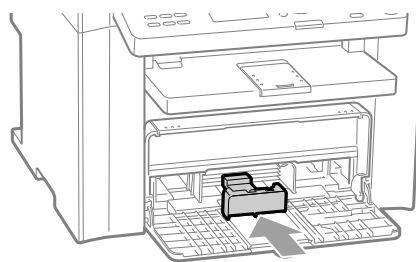
1 用紙カバーを開けます。

2 用紙ガイドを用紙より少し大きめの位置へ移動します。

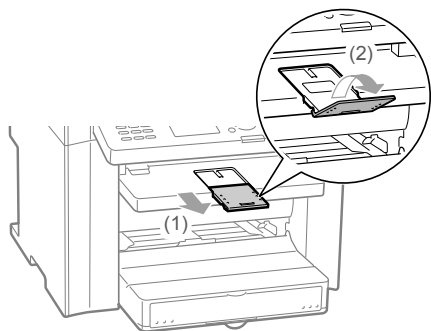
※ セットする用紙サイズを変更する場合は、必ず「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-16）で用紙の登録を行ってください。

3 プリントしたい面を上にして、奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

「用紙のセット可能枚数」（→ P.2-14）

「用紙のセット向き」（→ P.2-14）

はがきの束は積載制限ガイド (A) の下を通してください。

4 用紙ガイドをセットしたはがきに合わせます。

5 小サイズ用紙ガイドを給紙カセットから取り外します。

6 小サイズ用紙ガイドを図のように、真上から差し込み、奥側へ倒します。

7 後端の用紙ガイドをスライドさせて、小サイズ用紙ガイドをはがきに合わせます。

8 用紙カバーを閉めます。

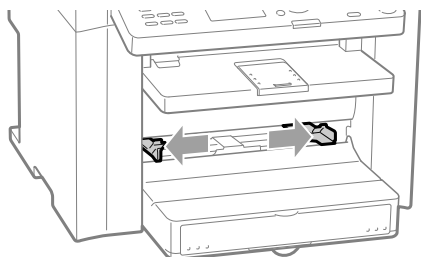
9 排紙延長トレイを引き出して、排紙ストッパーを持ち上げます。

10 セットしたはがきのサイズと種類を設定します。

「用紙のサイズと種類を設定する」(→ P.2-16)

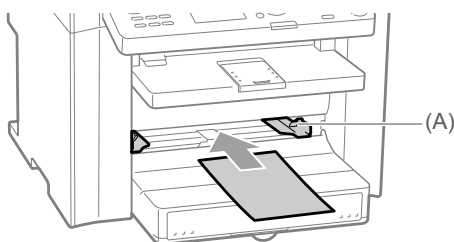
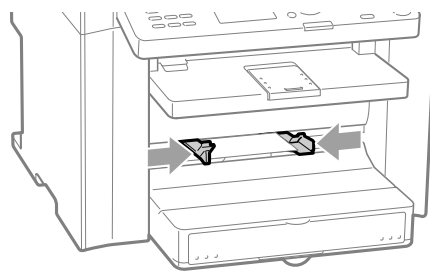
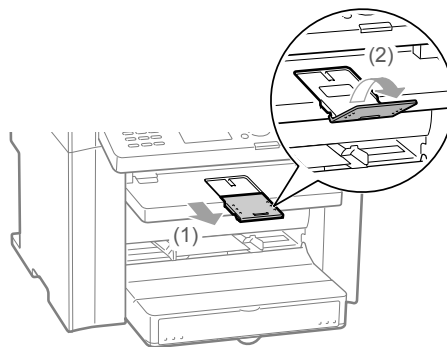
手差しトレイにセットする

手差しトレイにセットする前に、「用紙をセットするときのご注意」(→ P.2-13) をご覧ください。

給紙カセットにセットされている用紙と、種類やサイズが異なる用紙にコピーやプリントする場合は、手差しトレイを使います。
手差しトレイには、はがきを 1 枚ずつセットします。

1 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

2 プリントしたい面を上にして、奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

「用紙のセット可能枚数」(→ P.2-14)
「用紙のセット向き」(→ P.2-14)

積載制限ガイド (A) の下を通してください。

3 用紙ガイドをはがきの幅に合わせます。

4 排紙延長トレイを引き出して、排紙ストッパーを持ち上げます。

5 セットしたはがきのサイズと種類を設定します。

「用紙のサイズと種類を設定する」(→ P.2-16)

用紙をセットするときのご注意

注意

用紙の取り扱いに注意する

用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

給紙カセットをセットするときの注意

指を挟まないようにしてください。

重要

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせる

- ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- 本製品のプリント結果は、お使いの環境により、紙送り方向の長さに対して最大 1.3 %ずれる（斜めになる）場合があります。プリント結果のずれは、原稿を正しくセットすることで、軽減されることがあります。

裁断状態が悪い用紙を使用するとき

裁断状態が悪い用紙を使用すると、重なって送られることがあります。そのようなときは、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

積載制限マークの線を超す量の用紙をセットしない

絶対に積載制限マークの線を超えない範囲でセットしてください。積載制限マークの線を超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

封筒にプリントするとき

封筒は、表面（貼り合わせのない面）を上にしてセットしてください。裏面にはプリントできません。 また、必ずふたを閉じてからセットしてください。

はがきがカールしているとき

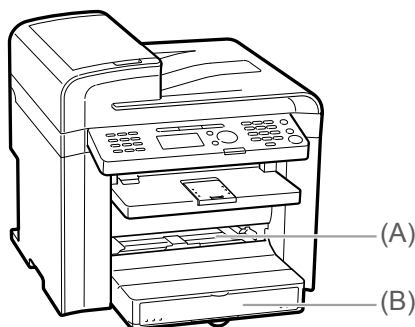
逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。

使用できる用紙の詳細

「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

給紙カセットの用紙ガイドのサイズ表記

用紙サイズ	用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

用紙のセット可能枚数

用紙の種類	給紙部	
	(A) 手差しトレイ	(B) 給紙カセット
普通紙（64 g/m² の場合）	1 枚	約 250 枚
厚紙（91 g/m² の場合）	1 枚	約 170 枚
厚紙（128 g/m² の場合）	1 枚	約 100 枚
OHP フィルム	1 枚	約 50 枚
ラベル用紙	1 枚	約 100 枚
郵便はがき	1 枚	約 20 枚
郵便往復はがき	1 枚	約 20 枚
4 面はがき*	1 枚	約 20 枚
封筒	1 枚	約 20 枚

* 郵便 4 面はがきは使用できません。

用紙のセット向き

手差しトレイの用紙のセット向き

給紙カセットと同じです。

レターヘッドやロゴ付きの用紙（プレプリント紙）などにプリントする場合

次のように正しい向きに用紙をセットしてください。

（➡：給紙方向）

	縦レイアウト	横レイアウト
片面プリント [*1]	（プリント面を上に）	（プリント面を上に）
片面プリント [*2]	（プリント面を下に）	（プリント面を下に）
自動両面プリント [*3]	（表面を下に）	（表面を下に）

[*1] ＜給紙方法切替＞が＜スピード優先＞に設定されている場合（工場出荷時の設定）

「プリント面を選択する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）」（→ P.2-18）

[*2] ＜給紙方法切替＞が＜プリント面優先＞に設定されている場合

「プリント面を選択する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）」（→ P.2-18）

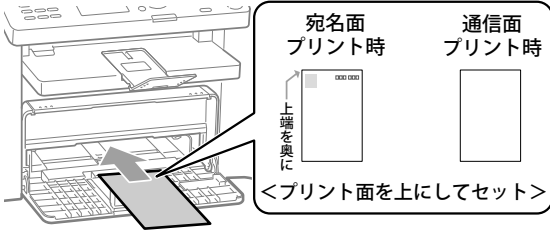
[*3] MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ

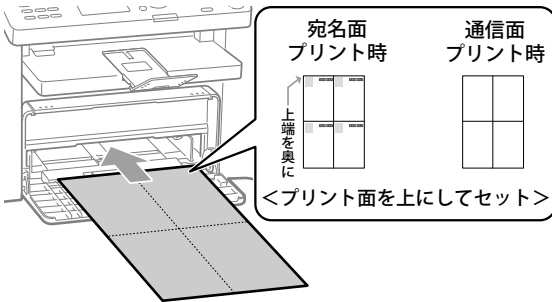
はがきにプリントする場合

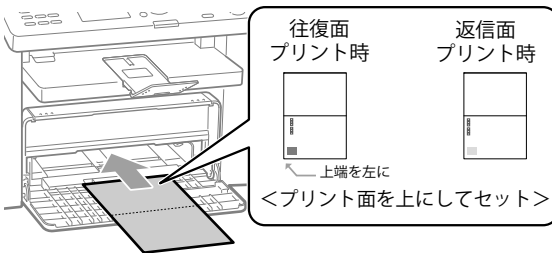
プリント面を上にして、次のようにセットします。

（ ：給紙方向）

はがき

はがきの上端が給紙カセットを手前から見て奥側になるようにセットします。

4 面はがき

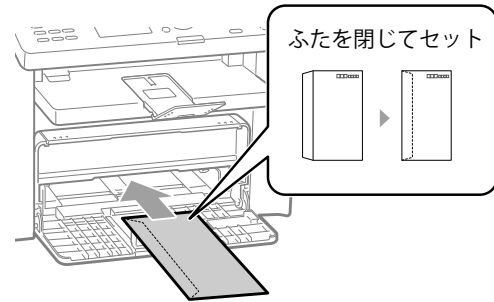
はがきの上端が給紙カセットを手前から見て奥側になるようにセットします。

往復はがき

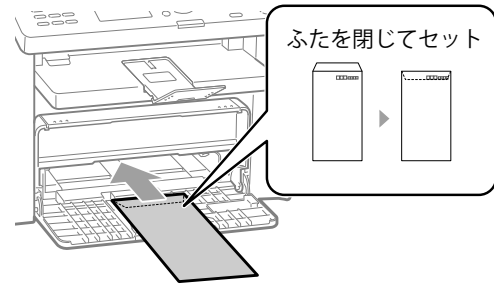
はがきの上端が給紙カセットを手前から見て左側になるようにセットします。

封筒にプリントする場合

表面（貼り合わせのない面）を上にして、次のようにセットします。

（ ：給紙方向）

洋形長 3 号

ふたが給紙カセットを手前から見て左側になるようにセットします。

長形 3 号

ふたが給紙カセットを手前から見て奥側になるようにセットします。

用紙のサイズと種類を設定する

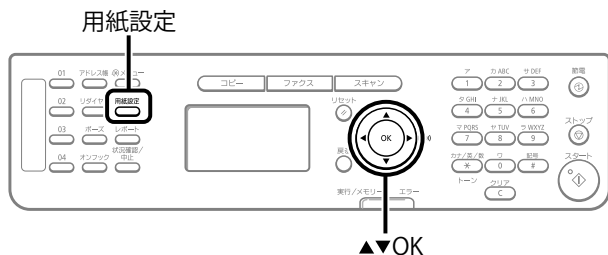
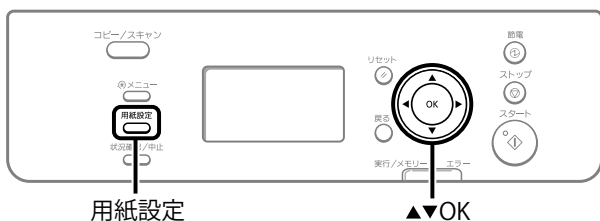
給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットした場合、セットした用紙のサイズと種類に合わせて用紙設定メニューの登録内容を変更してください。

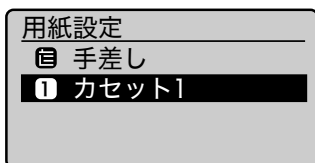
重要

セットした用紙サイズと設定が一致していないと

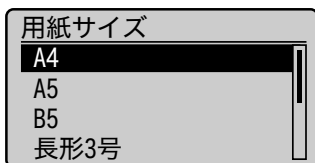
エラーメッセージが表示されたり、正しくプリントされません。

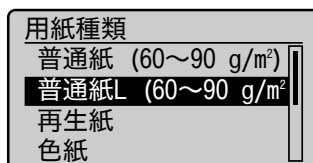
この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 ［ ］（用紙設定）を押します。

2 ［▲］［▼］で<手差し>または<カセット 1>を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で用紙サイズを選択して、［OK］を押します。

「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

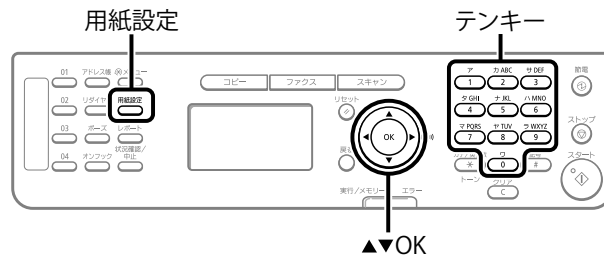
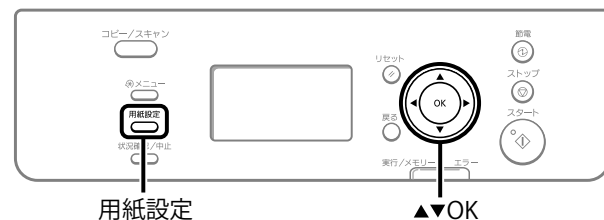
※ ユーザー設定用紙を登録する場合は、「ユーザー設定用紙を設定する」（→ P.2-16）を参照してください。

4 ［▲］［▼］で用紙種類を選択して、［OK］を押します。

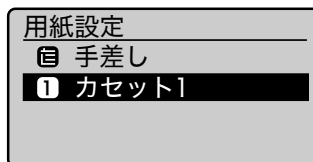
「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

5 ［ ］（用紙設定）を押して、<用紙設定>画面を閉じます。

ユーザー設定用紙を設定する

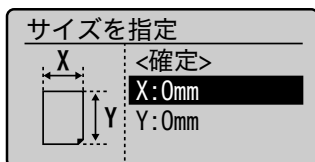
ユーザー設定用紙にプリントする場合は、用紙のサイズと種類を設定します。

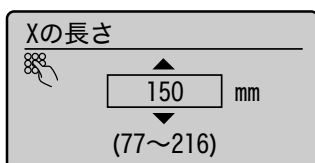
この操作で使用するキー

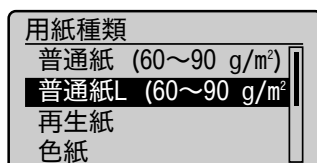
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 ［ ］（用紙設定）を押します。

2 ［▲］［▼］で、<手差し>または<カセット 1>を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で<ユーザー設定（カスタム）>を選択して、［OK］を押します。

4 < X >方向と< Y >方向のサイズを設定します。

(1) ［▲］［▼］で方向を選択して、［OK］を押します。

(2) ［▲］［▼］でサイズを設定して、［OK］を押します。

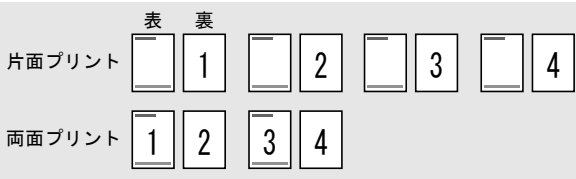
※ MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合は、テンキーを使って数値を入力することもできます。

(3) ［▲］［▼］で<確定>を選択して、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で用紙の種類を選択して、［OK］を押します。

6 ［　］（用紙設定）を押して、<用紙設定>画面を閉じます。

プリント面を選択する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）

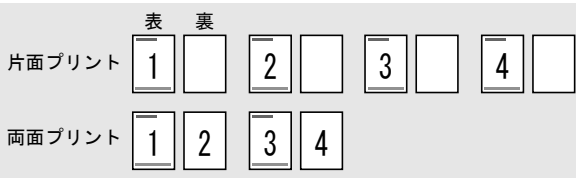
両面プリント時と片面プリント時でプリント面を揃えるかどうかを設定します。
本項目の設定によって、プリントされる面が変わります。プレプリント紙（あらかじめプリントしている紙）を使用するときは、「用紙のセット向き」（→ P.2-14）をよくお読みになり、正しい向きに用紙をセットしてください。

本項目を＜スピード優先＞に設定した場合（工場出荷時の設定）

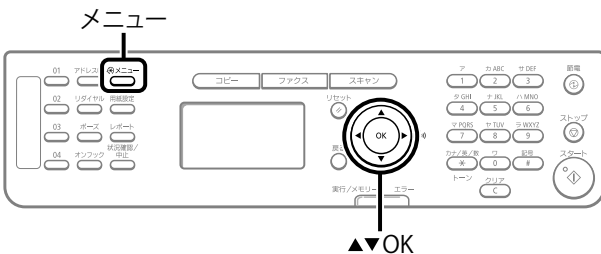
両面プリント時と片面プリント時では、プリントされる面が変わるので、プリント面が揃いません。
※プレプリント紙を使用するときは、両面プリント時と片面プリント時で、セットした用紙の表裏を入れ替える必要があります。

次のようなときに設定します。

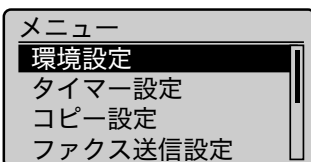
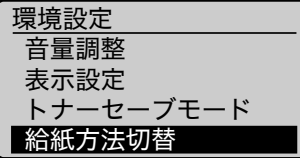
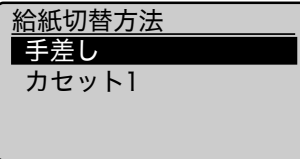
- プレプリント紙を使用しないとき
- プレプリント紙に片面プリントのみを行うとき

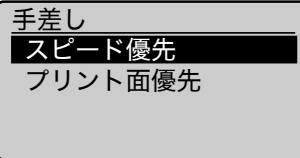
本項目を＜プリント面優先＞に設定した場合

両面プリント時と片面プリント時のプリント面が揃います。
※プレプリント紙を使用するときでも、両面プリント時と片面プリント時で、セットした用紙の表裏を入れ替える必要はありません。

次のようなときに設定します。

- プレプリント紙に両面プリントと片面プリントを行うとき

この操作で使用するキー

1 ［　］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜環境設定＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜給紙方法切替＞を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で設定する給紙段を選択して、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で＜スピード優先＞または＜プリント面優先＞を選択して、［OK］を押します。

手差し
スピード優先
プリント面優先

＜スピード優先＞	＜スピード優先＞に設定した場合、以下のように用紙をセットしてください。 （➡：給紙方向） ※横レイアウトのページをプリントする場合のセット方法は、「用紙のセット向き」（→ P.2-14）を参照してください。 片面プリント時：プリント面を上にしてセットします。 両面プリント時：表面（1ページ目）を下にしてセットします。
＜プリント面優先＞	＜プリント面優先＞に設定した場合、以下のように用紙をセットしてください。 （➡：給紙方向） ※横レイアウトのページをプリントする場合のセット方法は、「用紙のセット向き」（→ P.2-14）を参照してください。 用紙のセット方法は、片面プリント時と両面プリント時で同じです。 • 片面プリント時は、プリント面を下にしてセットします。 • 両面プリント時は、表面（1ページ目）を下にしてセットします。

6 ［　］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

Chapter 3

コピーする

コピーの使いかたについて説明しています。

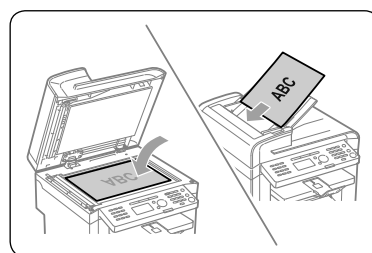
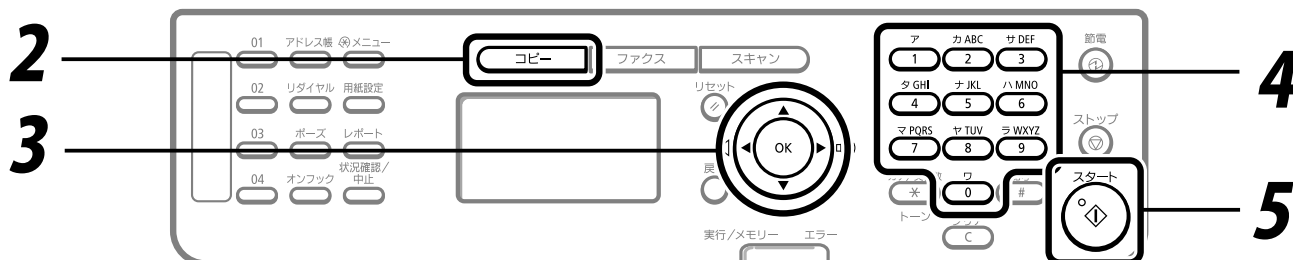
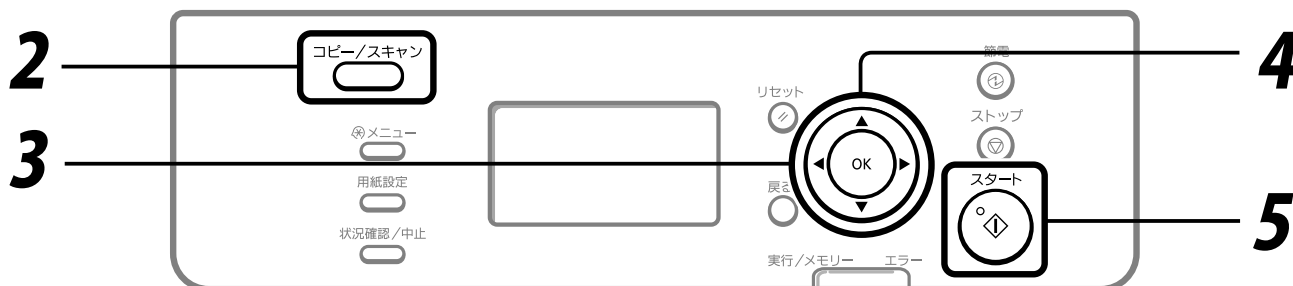
基本的なコピー方法

コピーの基本的な操作の流れを説明します。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.2-3）
「使用できる原稿について」（→ P.2-2）

※　フィーダーにセットできる原稿は 35 枚（MF4580dn は 50 枚）までです。

※　フィーダーは、MF4420n/MF4410 には搭載されていません。

● **MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450**

● **MF4430/MF4420n/MF4410**

2 コピー基本画面を表示します。

● **MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450**

[コピー] を押します。

● **MF4430/MF4420n/MF4410**

コピー基本画面が表示されるまで、[　]（コピー／スキャン）を押します。

3 必要に応じてコピー設定を行います。

設定できる項目は 7 項目です。

（詳細については、P.3-4 ～ 3-7 を参照してください。）

1 濃度
2 画質
3 両面（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）
4 拡大／縮小
5 縮小レイアウト
6 ソート
7 シャープネス

ここで行う設定は、現在行っているコピー操作のみに有効です。すべてのコピー操作に有効な設定をするには「コピーのデフォルト値を変更する」（→ P.3-9）を参照してください。

4 必要なコピー部数を入力します。

● **MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450**

テンキーを使って、必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。
※コピー部数を修正するときは、[C]（クリア）を押します。

● **MF4430/MF4420n/MF4410**

（1）[▲] [▼] で<部数>を選択して、[OK] を押します。

（2）[▲] [▼] で必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力して、[OK] を押します。

5 [◇]（スタート）を押します。

コピージョブを確認／中止する

コピージョブの詳細情報を確認することができます。また、コピーを途中で中止することもできます。

メモ

操作パネルの実行／メモリーランプ

点灯／点滅している場合	コピーを実行しています。
消灯している場合	コピー中のジョブはありません。

ストップキーで中止する

1 [ ]（ストップ）を押します。

※ コピー中または待機中のコピージョブが 1 つだけの場合は、[ ]（ストップ）を 2 回連続して押すとジョブを中止することができます。

2 複数のジョブが実行中の場合、[▲][▼]で中止するジョブを選択して［OK］を押します。

3 ＜中止しますか？＞と表示されたら、[▲][▼]で＜はい＞を選択して、[OK]を押します。

[ ]（ストップ）を押しても中止できます。
コピーが中止されます。

※ [▲][▼]で<詳細情報>を選択して、[OK]を押すと、ジョブを確認して中止することができます。

状況確認 / 中止キーで確認／中止する

1 [ ]（状況確認 / 中止）を押します。

2 [▲][▼]で＜コピージョブ状況＞を選択して、[OK]を押します。

詳細情報が表示されます。

● **中止する場合**

(1) [▲][▼]で<中止>を選択して、[OK]を押します。

(2) [◀]で<はい>を選択して、[OK]を押します。
コピーが中止されます。

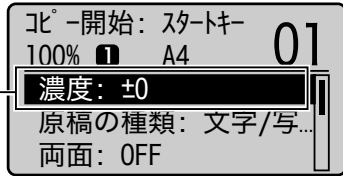
(3) [ ]（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

● **確認のみの場合**

[ ]（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

コピー設定一覧

1 濃度を調整してコピーする

コピー基本画面

設定画面

[◀]	コピー濃度を薄くします。
[▶]	コピー濃度を濃くします。

［▲］［▼］で<濃度>を選択

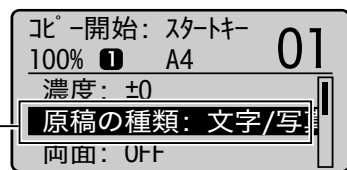
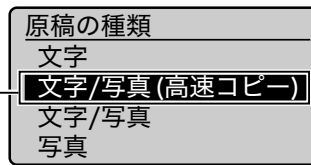
［◀］［▶］で濃度を調整→［OK］

※ <自動濃度>を選択すると、原稿に最適な濃度でコピーします。<原稿の種類>が<文字>以外に設定されている場合、<自動濃度>を選択すると、<原稿の種類>は<文字>に変更されます。
※ <自動濃度>、<手動濃度>のどちらを選択していても、［◀］［▶］を押すと<手動濃度>を設定することができます。

2 原稿の画質を選んでコピーする

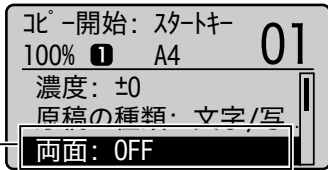
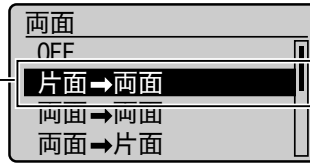
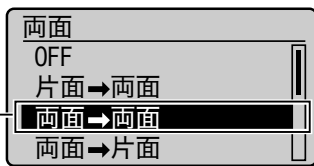
コピー基本画面

設定画面

原稿の種類
文字
文字/写真(高速コピー)
文字/写真
写真

［▲］［▼］で<原稿の種類>を選択

［▲］［▼］で原稿に適した設定を選択→［OK］

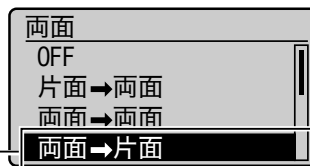
<文字>	文字のみの原稿に適しています。
<文字 / 写真（高速コピー）>	文字と写真が混在している原稿に適しています。 原稿を低解像度で読み込みます。
<文字 / 写真>	細かい文字と写真が混在している原稿に適しています。
<写真>	雑誌にプリントされている写真などの原稿に適しています。

※ <濃度>が<自動濃度>に設定されている場合、<文字／写真（高速コピー）>、<文字／写真>、<写真>を選択すると、<濃度>は<手動濃度>に変更されます。

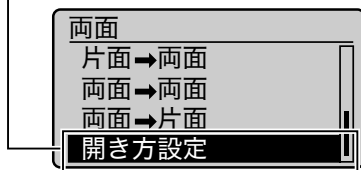
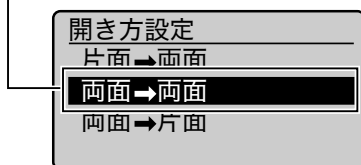
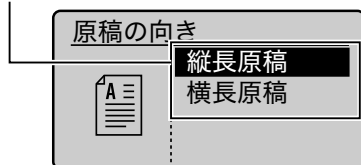
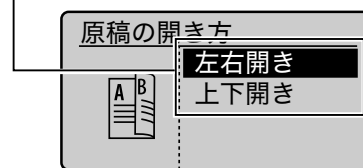
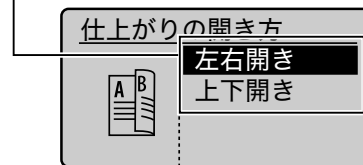
3 両面コピーをする （MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）

● 両面の原稿→両面にコピー（MF4580dn のみ）

設定画面

［▲］［▼］で＜両面→両面＞を選択→［OK］

● 両面の原稿→片面にコピー（MF4580dn のみ）

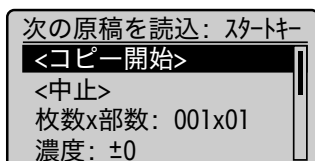
設定画面

［▲］［▼］で＜両面→片面＞を選択→［OK］

開き方を設定したい場合

(1) ［▲］［▼］で＜開き方設定＞を選択→［OK］

(2) ［▲］［▼］で両面コピーの形式を選択→［OK］

(3) ［▲］［▼］で原稿の向きを選択→［OK］

(4) 次の画面が表示されたときは［▲］［▼］で原稿の開き方を選択→［OK］

(5) 次の画面が表示されたときは［▲］［▼］で仕上がりの開き方を選択→［OK］

原稿台ガラスに原稿をセットした場合

(1) 次の原稿をセットして［ ］（スタート）を押します。
 * すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。

(2) ［▲］［▼］で＜コピー開始＞を選択して、［OK］を押します。

次ページへ

コピー設定一覧

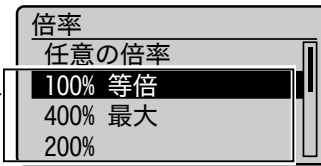
4 拡大／縮小コピーする

コピー基本画面

［▲］［▼］で＜倍率＞を選択

設定画面

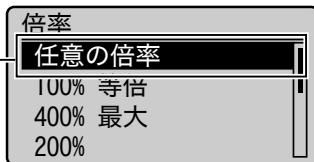
［▲］［▼］でコピー倍率を選択→［OK］

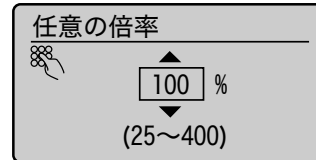
出力するサイズの用紙をセット（→ P.2-9）

出力する用紙のサイズを登録する（→ P.2-16）

倍率を選択する場合、以下の設定値から選択できます。

- ＜ 400% 最大＞
- ＜ 200% ＞
- ＜ 141% A5 → A4 ＞
- ＜ 122% A5 → B5 ＞
- ＜ 115% B5 → A4 ＞
- ＜ 86% A4 → B5 ＞
- ＜ 81% B5 → A5 ＞
- ＜ 70% A4 → A5 ＞
- ＜ 50% ＞
- ＜ 25% 最小＞

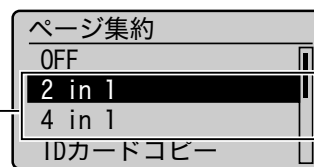
倍率を 1 %きざみで設定する場合

(1) ［▲］［▼］で＜任意の倍率＞を選択→［OK］

(2) ［▲］［▼］で倍率を設定→［OK］

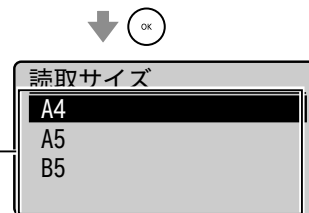
※ MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合は、テンキーを使って倍率を入力することもできます。

5 複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）

コピー基本画面

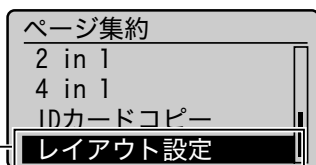
［▲］［▼］で＜ページ集約＞を選択

原稿間の余白について
ページ集約でコピーすると、縮小された原稿の間に余白ができます。

設定画面

＜ 2 in 1 ＞	2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさめます。
＜ 4 in 1 ＞	4 枚の原稿を 1 枚の用紙におさめます。

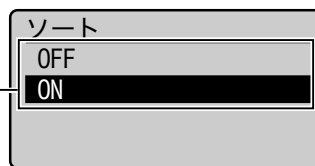
［▲］［▼］で＜ 2 in 1 ＞または＜ 4 in 1 ＞を選択

［▲］［▼］で原稿のサイズを選択→［OK］

レイアウトを設定したい場合

(1) ［▲］［▼］で＜レイアウト設定＞を選択→［OK］

(2) ［▲］［▼］でレイアウトを選択→［OK］

コピー設定一覧

6 ページ順にならべてコピーする（ソート）

［▲］［▼］で＜ソート＞を選択

設定画面

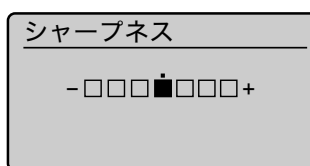
［▲］［▼］で＜ ON ＞を選択→［OK］

＜ OFF ＞	ページごとに指定された部数をコピーします。 たとえば、3 ページの原稿を 3 部コピーすると、「1、1、1」、「2、2、2」、「3、3、3」の順でプリントされます。
＜ ON ＞	ページ順に指定された部数を繰り返してコピーします。 たとえば、3 ページの原稿を 3 部コピーすると、「1、2、3」、「1、2、3」、「1、2、3」の順でプリントされます

7 画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス）

コピー基本画面

［▲］［▼］で＜シャープネス＞を選択

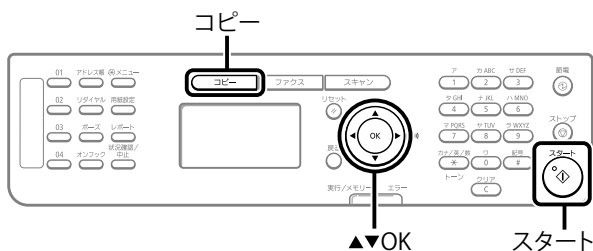
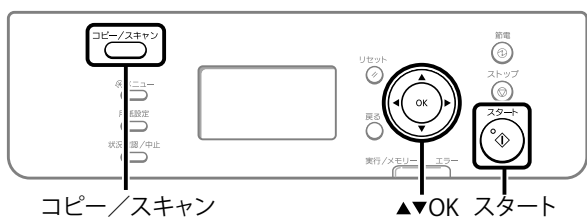
設定画面

［◀］［▶］でシャープネスを調整→［OK］

[◀]	モアレ現象（モアレと呼ばれるまだら模様が出ること）を弱めることができます。 印刷写真などの網点を使用した原稿に適しています。
[▶]	文字や線などのエッジをくっきりさせることができます。 青焼き原稿や薄い鉛筆書きの原稿などの読み込みに適しています。

IDカードをコピーする

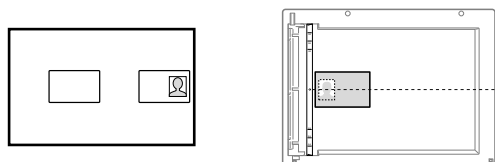
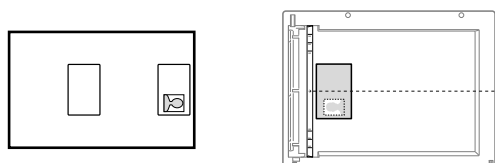
カードの両面を用紙の片面にコピーすることができます。

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 **カードを原稿台ガラスに置いて、フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを閉じます。**

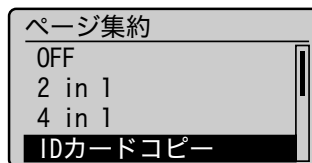
カードは原稿台ガラスの左端に付けずに、5 mm 程度の隙間を空けて置いてください。

また、カードの中心と矢印を合わせてください。

カードを横に並べたいとき

カードを縦に並べたいとき

2 **コピー基本画面を表示します。**

- MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450
  ［コピー］を押します。
- MF4430/MF4420n/MF4410
  コピー基本画面が表示されるまで、［　］（コピー／スキャン）を押します。

3 **［▲］［▼］で＜ページ集約＞を選択して、［OK］を押します。**

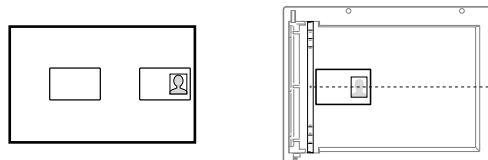
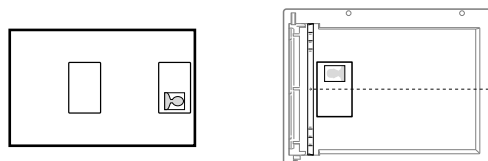
4 **［▲］［▼］で＜IDカードコピー＞を選択して、［OK］を押します。**

5 **［　］（スタート）を押します。**

原稿の読み取りが完全に終わってから、次の手順に進んでください。

6 **カードを裏返して置きます。**

カードは原稿台ガラスの左端に付けずに、5 mm 程度の隙間を空けて置いてください。

また、カードの中心と矢印を合わせてください。

カードを横に並べたいとき

カードを縦に並べたいとき

7 **［　］（スタート）を押します。**

メモ

原稿（カード）のセット

原稿台ガラスの左半分に収まるようにセットしてください。

コピー倍率

自動的に＜100%＞に設定されます。

使用できる用紙サイズ

A4またはレター以上のサイズです。

組み合わせて使えない機能

以下の機能は、IDカードコピーと同時に使えません。

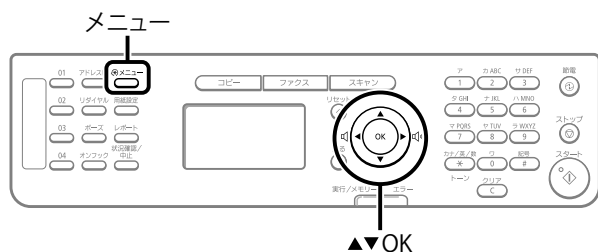
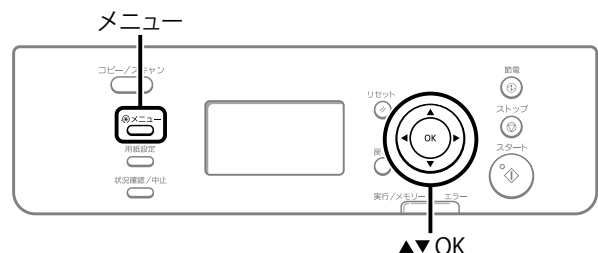
- 2 in 1/4 in 1
- ソート
- 両面
- 倍率

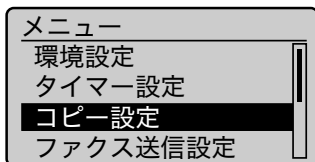
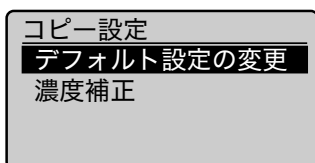
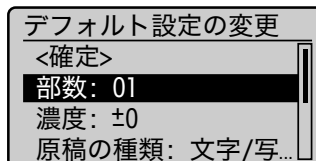
コピーのデフォルト値を変更する

コピーのデフォルト値とは、電源を入れたときや、[ ](リセット)を押したときに適用される機能です。お好みで変更することができます。
以下の設定を、デフォルト値として登録することができます。

- 部数
- 濃度
- 原稿の種類
- 両面（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）
- 倍率
- ページ集約
- ソート
- シャープネス

この操作で使用するキー

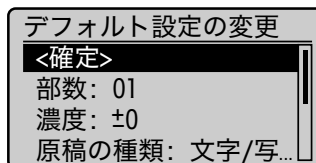
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 [ ]（メニュー）を押します。

2 [▲][▼]で＜コピー設定＞を選択して、[OK]を押します。

3 [▲][▼]で＜デフォルト設定の変更＞を選択して、[OK]を押します。

4 [▲][▼]で設定項目を選択して、[OK]を押します。

設定の詳細については、次の項目を参照してください。

「濃度を調整してコピーする」(→ P.3-4)
「原稿の画質を選んでコピーする」(→ P.3-4)
「両面コピーをする」(→ P.3-5)
「拡大／縮小コピーする」(→ P.3-6)
「複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）」(→ P.3-6)
「ページ順にならべてコピーする（ソート）」(→ P.3-7)
「画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス）」(→ P.3-7)

5 設定後、[▲][▼]で＜確定＞を選択して、[OK]を押します。

6 [ ]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

Chapter 4

コンピューターからプリントする

コンピューターからプリントする方法を説明しています。

※ Macintosh をお使いの方は、以下を参照してください。

- プリンタードライバーのインストール
  →スタートアップガイドまたはプリンタードライバーガイド
- 各機能の使用方法
  →プリンタードライバーのヘルプ

プリンタードライバーガイドやプリンタードライバーのヘルプの表示方法については、「Macintosh をお使いのお客様へ」（→ P.11-4）を参照してください。

プリンタードライバーをインストールする

プリントするには以下の準備を行います

Step1	USB で接続するか、ネットワークで接続するかを選択します。	☞ スタートアップガイド→「4 コンピューターと接続し、ソフトウェアをインストールする」
Step2	プリンタードライバーをインストールします。	

本製品のポート番号を変更する場合

本製品のポート番号を変更します。

☞ e- マニュアル→セキュリティー→ネットワークの接続を制限する（MF4580dn/MF4570dn/MF4420n のみ）→プリント時のポート番号を設定する

コンピューターの設定を変更します。

☞ e- マニュアル→ネットワーク設定（MF4580dn/MF4570dn/MF4420n のみ）→プリント／ PC ファクス送信の設定をする→コンピューターの設定をする

プリンタードライバーとは

アプリケーションソフトウェアからプリントするときに必要です。アプリケーションソフトウェアのプリントデータをプリンター用のデータに変換して、プリンターへ送ります。

本製品のプリンタードライバーは、以下の特長があります。

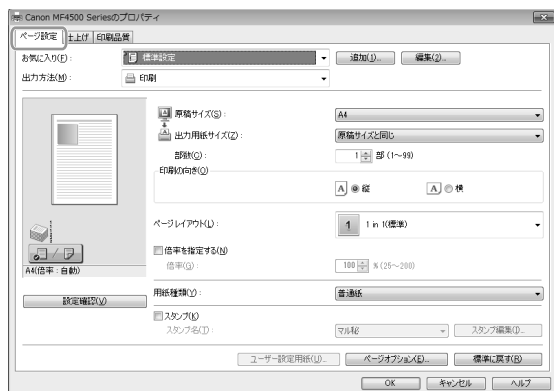
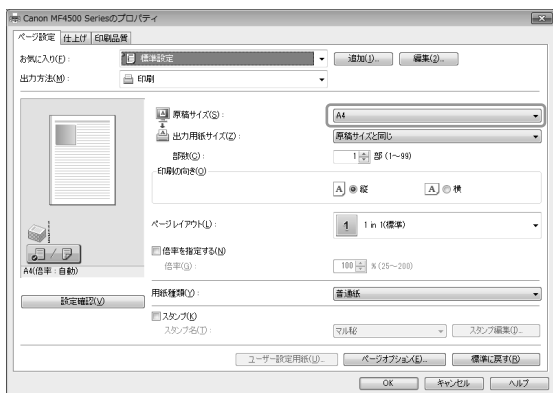
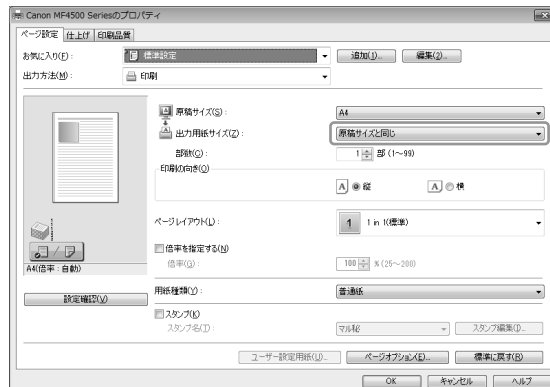
- プリントデータの処理をコンピューターとプリンターで負荷分散することによって、最適な速度で出力することを可能にします。
- 従来よりも高速で安定したプリントができる他、少ないメモリーでの動作を実現します。
- プリントデータの変換以外にも、プリントデータをスプールする機能やプリント条件を設定する機能を持っており、拡大／縮小やとじしろ調整など、さまざまなプリントの仕上がりを設定することができます。

コンピューターからプリントする

拡大／縮小してプリントする

用紙サイズに合わせて、プリントデータを拡大／縮小できます。
自動的に倍率を決定する方法と、任意の倍率を指定する方法があります。

1 ［ページ設定］をクリックします。

プリンタードライバー画面の表示方法については、e- マニュアルの「プリントする」または「あらかじめプリントの設定をする」を参照してください。

2 ［原稿サイズ］からアプリケーションソフトウェアで作成した原稿のサイズを選択します。

3 ［出力用紙サイズ］から実際に印刷する用紙サイズを選択します。

選択した原稿サイズと出力用紙サイズにより、拡大／縮小の倍率が自動的に設定されます。

4 任意の倍率を指定する場合は、［倍率を指定する］にチェックマークを付けたあと、［倍率］で拡大／縮小の倍率を指定します。

5 ［OK］をクリックします。

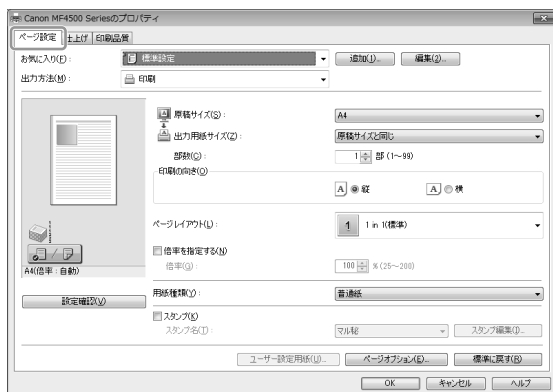
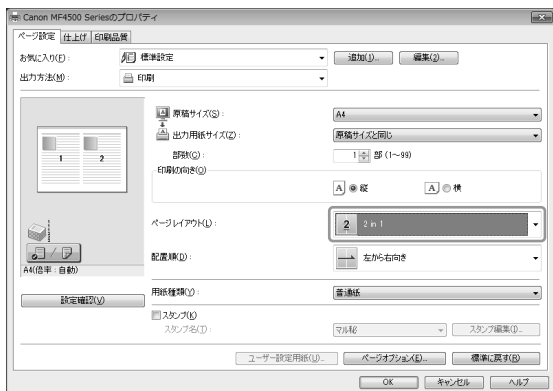
メモ

- お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、アプリケーション側での拡大／縮小設定が優先される場合があります。
- お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

複数ページを 1 枚の用紙にプリントする

連続した複数のページを用紙 1 枚に縮小してプリントします。用紙 1 枚に 2、4、6、8、9、16 ページ分の原稿を配置することができます。数枚の原稿が 1 枚にまとまることで、見やすい資料が作れます。また、用紙も節約でき、保管時の省スペース化にも役立ちます。

1 ［ページ設定］をクリックします。

プリンタードライバー画面の表示方法については、e- マニュアルの「プリントする」または「あらかじめプリントの設定をする」を参照してください。

2 ［ページレイアウト］から［N in 1］（N は用紙 1 枚に配置するページ数）を選択します。

3 ［配置順］からページを配置する順序を選択します。

画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

4 ［OK］をクリックします。

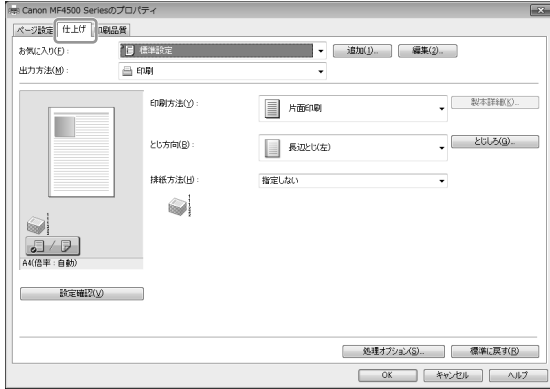
メモ

- 本機能をお使いの場合、任意の倍率で拡大／縮小できません。
- 本機能をお使いの場合、アプリケーションソフトウェア側で部単位でプリントする設定をすると、正しくプリントできないことがあります。
- お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

両面プリントを行う（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）

用紙の表と裏にプリントします。たくさんのページをプリントするとき、用紙の表／裏を使えば、用紙の消費を半分に節約できます。

1 ［仕上げ］をクリックします。

プリンタードライバー画面の表示方法については、e- マニュアルの「プリントする」または「あらかじめプリントの設定をする」を参照してください。

2 ［印刷方法］から［両面印刷］を選択します。

3 ［とじ方向］からとじしろの位置を選択します。

画面左側のプレビューに出力イメージが表示されます。

4 ［OK］をクリックします。

メモ

- 両面プリントに使用できる用紙サイズはお使いの機種によって異なります。詳しくはヘルプを参照してください。
- お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。

プリントジョブを確認／中止する

現在プリント中または待機中のジョブを確認したり中止したりすることができます。

メモ

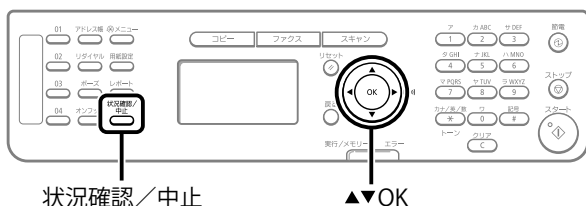
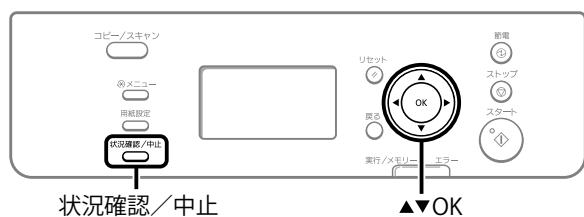
操作パネルに表示される文書名称やユーザー名

プリントするファイルによっては、正しく表示されない場合があります。

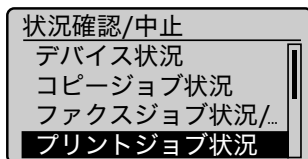
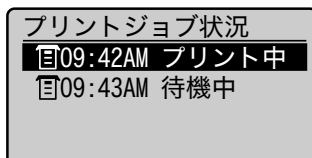
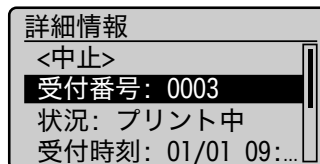
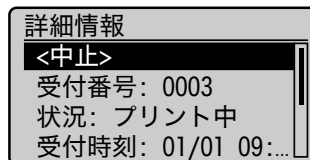
操作パネルの実行／メモリーランプ

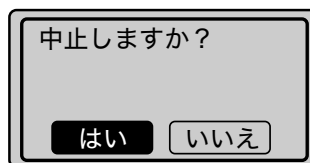
点灯／点滅している場合	ジョブを実行しています。
消灯している場合	メモリー内にジョブはありません。

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 ［ ］（状況確認 / 中止）を押します。

2 ［▲］［▼］で<プリントジョブ状況>を選択して、［OK］を押します。

状況確認/中止
デバイス状況
コピージョブ状況
ファクスジョブ状況/...
プリントジョブ状況

3 ［▲］［▼］で確認または中止するジョブを選択して、［OK］を押します。

詳細情報が表示されます。

● **中止する場合**

(1)［▲］［▼］で<中止>を選択して、［OK］を押します。

(2)［◀］で<はい>を選択して、［OK］を押します。
プリントが中止されます。

(3)［ ］（状況確認 / 中止）を押して状況確認 / 中止画面を閉じます。

メモ

［ ］（ストップ）でも中止できます

プリントジョブの中止は、［ ］（ストップ）を押しても行うことができます。

※ プリント中または待機中のプリントジョブが1つだけの場合は、［ ］（ストップ）を2回連続して押すとジョブを中止することができます。

● **確認のみの場合**

［ ］（状況確認 / 中止）を押して状況確認 / 中止画面を閉じます。

Chapter 5

アドレス帳に宛先を登録する
（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

アドレス帳に宛先を登録する方法や、登録した内容を変更、消去する方法について説明しています。

アドレス帳とは

アドレス帳とは、宛先の登録や管理をする機能です。よく利用する宛先を、アドレス帳のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておくと、テンキーで宛先を入力せずに、原稿の送信先に指定することができます。
また、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを、ひとつのグループとして保存しておくこともできます。
宛先の登録は、操作パネルから行います。
※MF4580dn/MF4570dn の場合は、宛先の登録をリモート UI からも行えます。（リモート UI では、宛先名を漢字でも入力できます。）

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーに宛先を登録し、ワンタッチダイヤルキーを押して宛先を指定します。最大 4 件まで登録できます。
「ワンタッチダイヤルを登録／編集する」（→ P.5-3）

短縮ダイヤル

短縮番号に宛先を登録し、短縮番号を入力して宛先を指定します。最大 100 件まで登録できます。
「短縮ダイヤルを登録／編集する」（→ P.5-6）

グループダイヤル

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛先を、1 つのグループ（最大 50 件まで）としてまとめることができます。グループダイヤルは、未登録のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録します。ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを指定するだけで、グループとして登録した複数の宛先を指定することができます。
「グループダイヤルを登録／編集する」（→ P.5-10）

メモ

アドレス帳ファイルの保存／読み込み

アドレス帳は、リモート UI を使ってお使いのコンピューターにファイルとして保存したり、保存したファイルを本製品に読み込ませることができます。
☞ e- マニュアル→コンピューターからの設定や管理→アドレス帳を管理する（MF4580dn/MF4570dn のみ）
ただし、ファイルとして保存したアドレス帳の編集はできません。

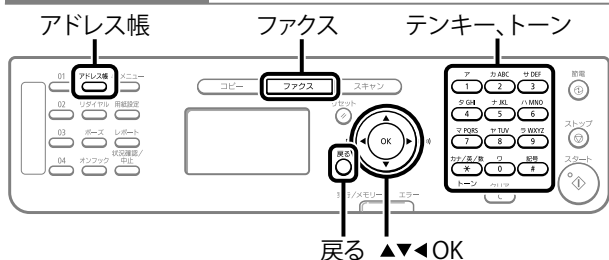
アドレス帳に登録した宛先の確認

宛先一覧表をプリントして、宛先を確認することができます。
☞ e- マニュアル→本製品の基本操作（お使いになる前に）→リストをプリントする→アドレス帳リストをプリントする（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

ワンタッチダイヤルを登録／編集する

以下の操作方法について説明します。

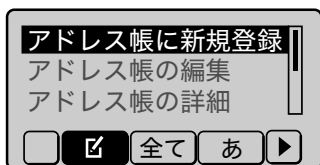
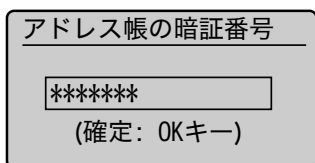
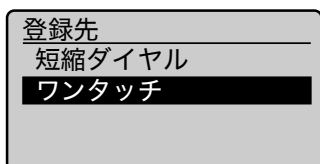
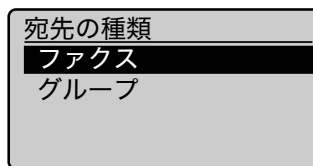
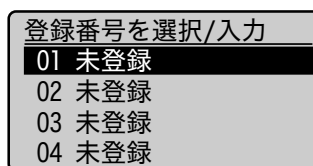
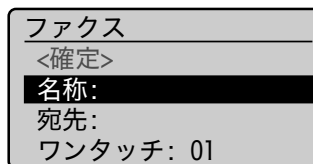
- ワンタッチダイヤルを登録する
- ワンタッチダイヤルを編集する
- ワンタッチダイヤルを削除する

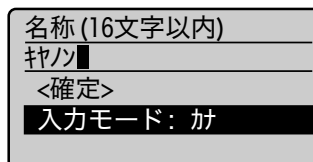
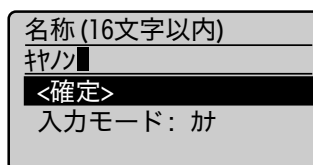
操作パネルから登録／編集する

1 ［ ファクス ］を押します。

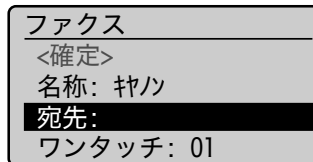
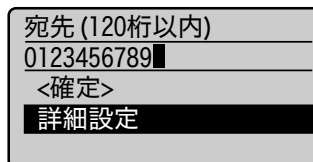
2 ［ ］（アドレス帳）を押します。

● **新しくワンタッチダイヤルを登録する場合**

(1) アドレス帳に登録済みの宛先がある場合は、［◀］を押します。
初めて宛先を登録する場合は、(2) へ進んでください。

(2) ［▲］［▼］で<アドレス帳に新規登録>を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で<ワンタッチ>を選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で<ファクス>を選択して、［OK］を押します。

(5) ［▲］［▼］で登録する番号を選択して、［OK］を押します。

(6) ［▲］［▼］で<名称>を選択して、［OK］を押します。

(7) テンキーを使って<名称>を設定します。
「文字の入力方法」（→ P.1-9）

(8) ［▲］［▼］で<確定>を選択して、［OK］を押します。

(9) ［▲］［▼］で<宛先>を選択して、［OK］を押します。

(10) テンキーを使って<宛先>を設定します。
必要に応じて、［OK］を押して<詳細設定>を設定します。

(11) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

(12) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

● **登録済みのワンタッチダイヤルを編集する場合**

(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で＜アドレス帳の編集＞を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で編集したい宛先を選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で編集したい項目を選択して、［OK］を押します。

- 名称
- 宛先
- ワンタッチ

(5) 編集後、［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

(6) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

● **登録済みのワンタッチダイヤルを削除する場合**

(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で＜アドレス帳から削除＞を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で削除したい宛先を選択して、［OK］を押します。

(4) ［◀］で＜はい＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［ ］(戻る)を押してメニュー画面を閉じます。

リモート UI から登録／編集する（MF4580dn/MF4570dn のみ）

1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレス入力欄に「http:// <本製品の IP アドレス> /」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

入力例：http://192.168.0.215/

3 リモート UI にログオンします。

(1) ［管理者モード］を選択します。

(2) ［システム管理暗証番号］を入力します。

(3) ［OK］をクリックします。

4 ［アドレス］→［ワンタッチ］をクリックします。

● **新しくワンタッチダイヤルを登録する場合**

手順 **5** に進みます。

● **登録済みのワンタッチダイヤルを編集する場合**

(1) 番号または名前をクリックします。

(2) ［編集］をクリックします。

(3) 宛先の編集画面で必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。

● **登録済みのワンタッチダイヤルを削除する場合**

(1) 削除したい番号のチェックボックスを選択して、［削除］をクリックします。

5 ［未登録］または未登録の番号をクリックします。

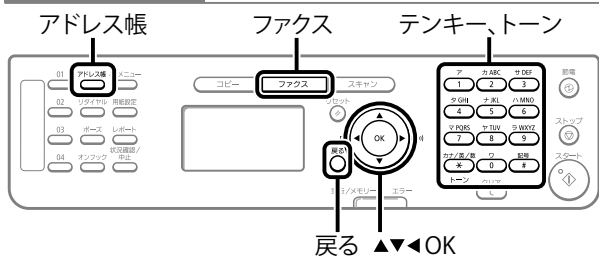
6 ［通信の種類］から［ファクス］を選択します。

7 必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。

短縮ダイヤルを登録／編集する

以下の操作方法について説明します。

- 短縮ダイヤルを登録する
- 短縮ダイヤルを編集する
- 短縮ダイヤルを削除する

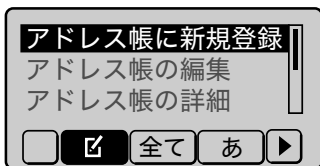
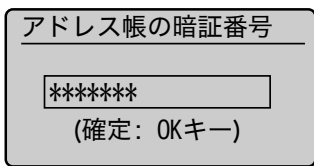
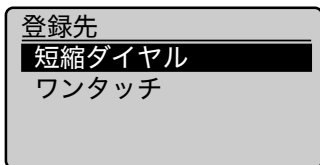
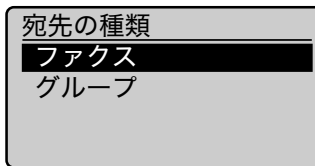
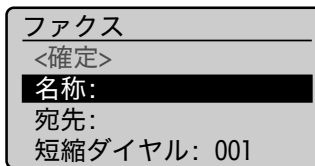
操作パネルから登録／編集する

1 ［ファクス］を押します。

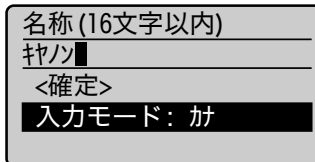
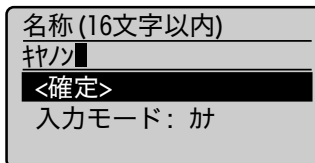
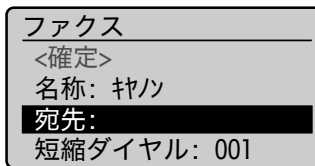
2 ［　］（アドレス帳）を押します。

● 新しく短縮ダイヤルを登録する場合

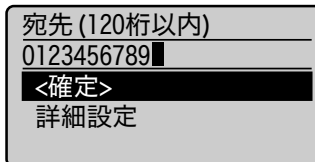
(1) アドレス帳に登録済みの宛先がある場合は、［◀］を押します。

初めて宛先を登録する場合は、（2）へ進んでください。

(2) ［▲］［▼］で＜アドレス帳に新規登録＞を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で＜短縮ダイヤル＞を選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で＜ファクス＞を選択して、［OK］を押します。

(5) ［▲］［▼］で＜名称＞を選択して、［OK］を押します。

(6) テンキーを使って＜名称＞を設定します。

「文字の入力方法」（→ P.1-9）

(7) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

(8) ［▲］［▼］で＜宛先＞を選択して、［OK］を押します。

(9) テンキーを使って＜宛先＞を設定します。

必要に応じて、［OK］を押して＜詳細設定＞を設定します。

(10) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

(11) ［▲］［▼］で＜短縮ダイヤル＞を選択して、［OK］を押します。

ファクス
<確定>
名称：ｷﾔﾉﾝ
宛先：0123456789
短縮ダイヤル：001

(12) ［▲］［▼］で登録する番号を選択して、［OK］を押します。

(13) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

ファクス
<確定>
名称：ｷﾔﾉﾝ
宛先：0123456789
短縮ダイヤル：001

● 登録済みの短縮ダイヤルを編集する場合

(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で＜アドレス帳の編集＞を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で編集したい宛先を選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で編集したい項目を選択して、［OK］を押します。

- 名称
- 宛先
- 短縮ダイヤル

ファクス
<確定>
名称：ｷﾔﾉﾝ02
宛先：9876543210
短縮ダイヤル：002

(5) 編集後、［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

(6) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

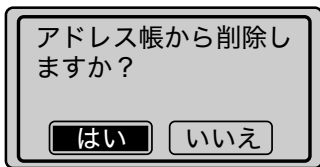
● 登録済みの短縮ダイヤルを削除する場合

(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で＜アドレス帳から削除＞を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で削除したい宛先を選択して、［OK］を押します。

(4) ［◀］で<はい>を選択して、［OK］を押します。

3 ［　］（戻る）を押してメニュー画面を閉じます。

リモート UI から登録／編集する（MF4580dn/MF4570dn のみ）

1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレス入力欄に「http:// <本製品の IP アドレス> /」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

入力例：http://192.168.0.215/

3 リモート UI にログオンします。

(1) ［管理者モード］を選択します。

(2) ［システム管理暗証番号］を入力します。

(3) ［OK］をクリックします。

4 ［アドレス］→［短縮ダイヤル］をクリックします。

● **新しく短縮ダイヤルを登録する場合**

手順 **5** に進みます。

● **登録済みの短縮ダイヤルを編集する場合**

(1) 番号または名前をクリックします。

(2) ［編集］をクリックします。

(3) 宛先の編集画面で必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。

● **登録済みの短縮ダイヤルを削除する場合**

(1) 削除したい番号のチェックボックスを選択して、［削除］をクリックします。

5 ［未登録］または未登録の番号をクリックします。

6 ［通信の種類］から［ファクス］を選択します。

7 必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。

グループダイヤルを登録／編集する

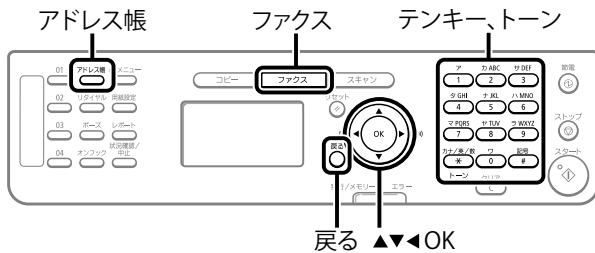
以下の操作を行うことができます。

- グループダイヤルを登録する
- グループダイヤルに宛先を追加する
- グループダイヤルから宛先を削除する
- グループ名を変更する
- グループダイヤルを削除する

グループダイヤルを登録する前に

- 未登録のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録します。グループダイヤル用としてワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを空けておいてください。
- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録しておいてください。

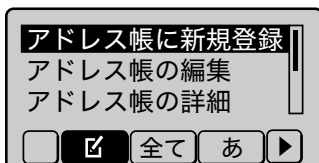
操作パネルから登録／編集する

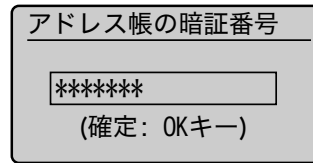
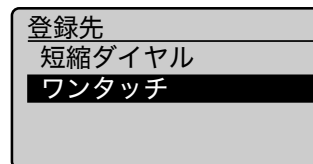
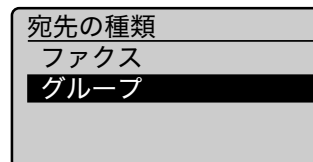
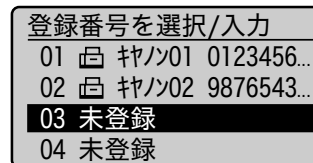
この操作で使用するキー

1 [ファクス] を押します。

2 [ ]（アドレス帳）を押します。

● **新しくグループダイヤルを登録する場合**

(1) ［◀］を押します。

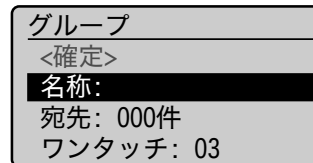
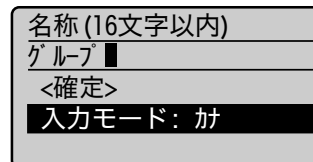
(2) ［▲］［▼］で<アドレス帳に新規登録>を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合

テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で<ワンタッチ>または<短縮ダイヤル>を選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で<グループ>を選択して、［OK］を押します。

(5) 手順 (3) で<ワンタッチ>を選択した場合、［▲］［▼］で登録する番号を選択して、［OK］を押します。

(6) ［▲］［▼］で<名称>を選択して、［OK］を押します。

(7) テンキーを使って<名称>を設定します。

「文字の入力方法」（→ P.1-9）

(8) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

名称(16文字以内)
ｸﾞﾙｰﾌﾟ
<確定>
入力モード：ｶﾅ

(9) ［▲］［▼］で＜宛先＞を選択して、［OK］を押します。

グループ
<確定>
名称：ｸﾞﾙｰﾌﾟ
宛先：000件
ワンタッチ：03

(10) ［▲］［▼］で＜追加＞を選択して、［OK］を押します。

(11) ［▲］［▼］で追加したい宛先を選択して、［OK］を押します。

(12) 手順（10）、（11）を繰り返して、登録する宛先を選択します。

(13) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

宛先
<確定>
<追加>
ｷﾔﾉﾝ01 0123456789
ｷﾔﾉﾝ02 9876543210

(14) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

グループ
<確定>
名称：ｸﾞﾙｰﾌﾟ
宛先：002件
ワンタッチ：03

● 登録済みのグループダイヤルに宛先を追加する場合

(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で＜アドレス帳の編集＞を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で宛先を追加するグループダイヤルを選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で＜宛先＞を選択して、［OK］を押します。

(5) ［▲］［▼］で＜追加＞を選択して、［OK］を押します。

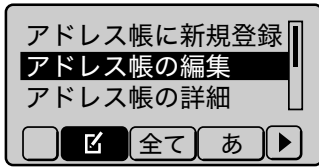
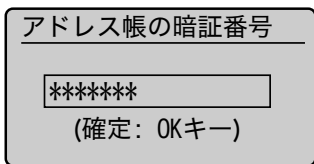
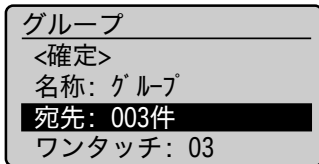
(6) ［▲］［▼］で追加する宛先を選択して、［OK］を押します。

(7) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

(8) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

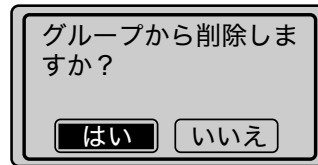
● **登録済みのグループダイヤルから宛先を削除する場合**

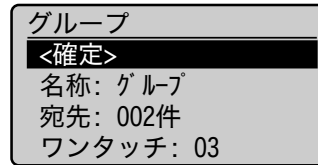
(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で<アドレス帳の編集>を選択して、[OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で宛先を削除するグループダイヤルを選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で<宛先>を選択して、［OK］を押します。

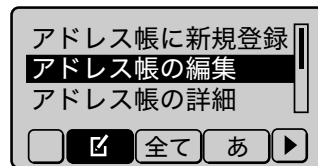
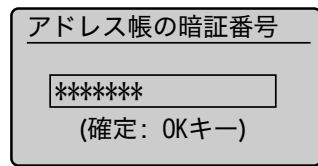
(5) ［▲］［▼］で削除する宛先を選択して、［OK］を押します。

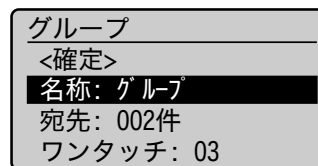
(6) ［▲］［▼］で<グループから削除>を選択して、[OK］を押します。

(7) ［◀］で<はい>を選択して、［OK］を押します。

(8) ［▲］［▼］で<確定>を選択して、［OK］を押します。

(9) ［▲］［▼］で<確定>を選択して、［OK］を押します。

● **登録済みのグループダイヤルのグループ名を変更する場合**

(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で<アドレス帳の編集>を選択して、[OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］でグループ名を変更するグループダイヤルを選択して、［OK］を押します。

(4) ［▲］［▼］で<名称>を選択して、［OK］を押します。

(5) テンキーを使って<名称>を変更します。

「文字の入力方法」（→ P.1-9）

(6) ［▲］［▼］で<確定>を選択して、［OK］を押します。

(7) ［▲］［▼］で<確定>を選択して、［OK］を押します。

● **登録済みのグループダイヤルを削除する場合**

(1) ［◀］を押します。

(2) ［▲］［▼］で<アドレス帳から削除>を選択して、［OK］を押します。

アドレス帳の暗証番号が設定されている場合
テンキーを使ってアドレス帳の暗証番号を入力したあと、［OK］を押します。

(3) ［▲］［▼］で削除したいグループを選択して、［OK］を押します。

(4) ［◀］で<はい>を選択して、［OK］を押します。

3 ［ ◯ ］（戻る）を押してメニュー画面を閉じます。

リモート UI から登録／編集する（MF4580dn/MF4570dn のみ）

1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレス入力欄に「http:// <本製品の IP アドレス> /」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

入力例：http://192.168.0.215/

3 リモート UI にログオンします。

(1) ［管理者モード］を選択します。

(2) ［システム管理暗証番号］を入力します。

(3) ［OK］をクリックします。

4 ［アドレス］→［ワンタッチ］または［短縮ダイヤル］をクリックします。

● **新しくグループダイヤルを登録する場合**

手順 **5** に進みます。

● **登録済みのグループダイヤルに宛先を追加する場合**

(1) 番号または名前をクリックします。

(2) ［編集］をクリックします。

(3) ［アドレス帳］をクリックします。

(4) プルダウンリストから［ワンタッチダイヤル］または［短縮ダイヤル］を選択して、グループに追加する番号のチェックボックスを選択して［OK］をクリックします。

● **登録済みのグループダイヤルから宛先を削除する場合**

(1) 番号または名前をクリックします。

(2) ［編集］をクリックします。

(3) 削除する宛先を［メンバーリスト］から選択して［削除］をクリックします。

(4) ［OK］をクリックします。

● **登録済みのグループダイヤルのグループ名を変更する場合**

(1) 番号または名前をクリックします。

(2) ［編集］をクリックします。

(3) ［グループ名］の名前を変更して、［OK］をクリックします。

● **登録済みのグループダイヤルを削除する場合**

(1) 削除したい番号のチェックボックスを選択して、［削除］をクリックします。

5 ［未登録］または未登録の番号をクリックします。

6 ［通信の種類］から［グループ］を選択します。

7 ［グループ名］に名前を入力して、［アドレス帳］をクリックします。

8 プルダウンリストから［ワンタッチダイヤル］または［短縮ダイヤル］を選択して、グループに登録する番号のチェックボックスを選択して［OK］をクリックします。

9 ［メンバーリスト］に登録した宛先が表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

Chapter 6

ファクス機能を使う
（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

ファクス機能の使いかたについて説明しています。

ファクスの基本的な送信方法

ファクス送信の基本的な操作の流れを説明します。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.2-3）

「使用できる原稿について」（→ P.2-2）

2 ［ ファクス ］を押します。

3 必要に応じて原稿の読み込みを設定します。

設定できる項目は 4 項目です。

（詳細については、P.6-3 を参照してください。）

1 画質の設定

2 濃度の設定

3 両面原稿の開き方の設定（MF4580dn のみ）

4 シャープネスの設定

ここで行う設定は、現在行っている送信操作のみに有効です。すべてのファクス操作に有効な設定をするには「ファクスのデフォルト値を変更する」（→ P.6-18）を参照してください。

4 宛先を指定します。

宛先の指定方法は、次の種類があります。

（詳細については、P.6-4 ～ 6-5 を参照してください。）

1 ファクス番号入力

2 ワンタッチダイヤル

3 短縮ダイヤル

4 グループダイヤル

5 アドレス帳

- 同報送信（→ P.6-9）

5 ［ ］（スタート）を押します。

フィーダーに原稿をセットした場合

原稿の読み込みを開始します。読み込みが完了したら、ファクスが送信されます。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合

次の操作を行います。

(1) ［▲］［▼］で原稿のサイズを選択して、［OK］を押します。

(2) 次の原稿を原稿台ガラスにセットして、［ ］（スタート）を押します。

原稿を 1 枚読み込むごとに［ ］（スタート）を押してください。

(3) すべての原稿の読み込みが完了したら、［▲］［▼］で<送信開始>を選択して、［OK］を押します。

ファクスが送信されます。

ファクス設定一覧

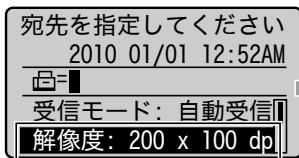
1 画質の設定

ファクス基本画面

宛先を指定してください
2010 01/01 12:52AM
受信モード：自動受信
解像度：200 x 100 dp

[▲][▼]で<解像度>を選択

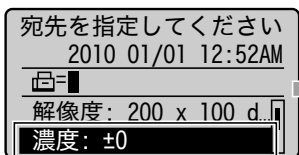
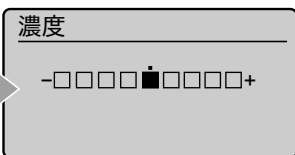
設定画面

解像度
200 x 100 dpi（ノーマ
200 x 200 dpi（ファ…
200 x 200 dpi（フォ…
200 x 400 dpi（スー…

読み取り解像度を設定します。
高解像度に設定すると、出力画像は鮮明になりますが、通信時間が長くなります。

＜200 x 100 dpi（ノーマル）＞	文字のみの原稿に適しています。
＜200 x 200 dpi（ファイン）＞	文字の細かい原稿に適しています。
＜200 x 200 dpi（フォト）＞	写真を含む原稿に適しています。
＜200 x 400 dpi（スーパーファイン）＞	文字の細かい原稿に適しています。

2 濃度の設定

ファクス基本画面

宛先を指定してください
2010 01/01 12:52AM
解像度：200 x 100 d…
濃度：±0

[▲][▼]で<濃度>を選択

設定画面

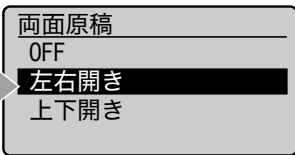
読み取り濃度を調整します。

[◀]	読み取り濃度を薄くします。
[▶]	読み取り濃度を濃くします。

3 両面原稿の開き方の設定（MF4580dn のみ）

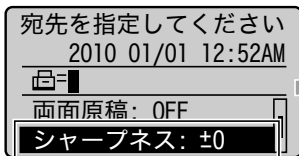
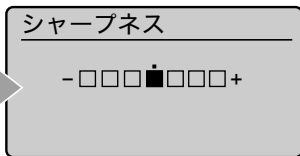
ファクス基本画面

[▲][▼]で<両面原稿>を選択

設定画面

両面原稿の読み込み設定をします。

＜OFF＞	両面原稿の開き方を設定しません。
＜左右開き＞	表面と裏面の画像の天地（上下）が同じ場合に選択します。
＜上下開き＞	表面と裏面の画像の天地（上下）が逆の場合に選択します。

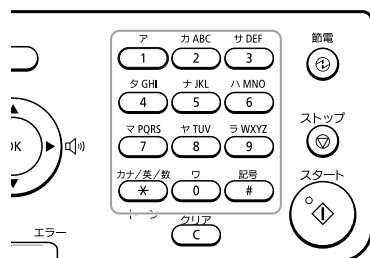
4 シャープネスの設定

ファクス基本画面　設定画面

[▲][▼]で<シャープネス>を選択

原稿の画像のエッジをくっきりさせる、またはコントラストを弱めることができます

[◀]	印刷写真などの網点をきれいに読み込む場合、<－>側に調節します。モアレ現象（モアレと呼ばれるまだら模様が出ること）を弱めることができます。
[▶]	文字や線を鮮明に読み込む場合、<＋>側に調節します。青焼き原稿や薄い鉛筆書きの原稿などの読み込みに適しています。

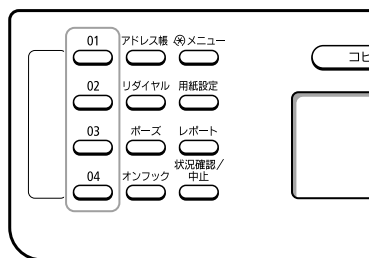
宛先を指定する

宛先を指定する

1 ファクス番号を入力して送信先を指定する

テンキー、[＊]（トーン）、[#]（記号）を使って、相手先のファクス番号を入力します。

宛先を訂正する場合

- 宛先をキャンセルするとき
  [C]（クリア）を長押しします。
- 入力中の最後の 1 文字を削除するとき
  [C]（クリア）を押します。

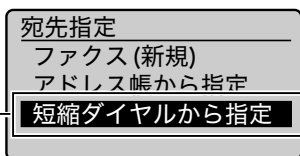
2 ワンタッチダイヤルキーを使って送信先を指定する

登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 04）を押します。

この機能を使うには、あらかじめワンタッチダイヤルキーに宛先を登録しておく必要があります。

「ワンタッチダイヤルを登録／編集する」（→ P.5-3）

間違ったキーを押した場合

(1) [C]（クリア）を押します。
(2) [◀] で<はい>を選択して、[OK] を押します。
※ 原稿の読み込み設定から操作をやり直したい場合は、[リセット]（リセット）を押してください。

3 短縮ダイヤルを使って送信先を指定する

テンキーで 3 桁の登録先番号（001 ～ 100）を入力

この機能を使うには、あらかじめ短縮ダイヤルに宛先を登録しておく必要があります。

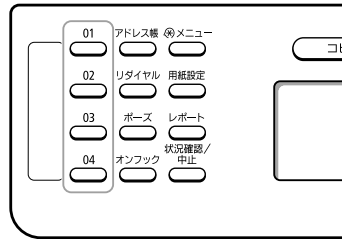
「短縮ダイヤルを登録／編集する」（→ P.5-6）

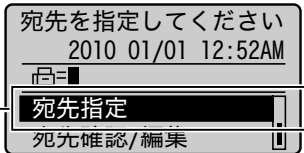
間違ったキーを押した場合

(1) [C]（クリア）を押します。
(2) [◀] で<はい>を選択して、[OK] を押します。
※ 原稿の読み込み設定から操作をやり直したい場合は、[リセット]（リセット）を押してください。

4 グループダイヤルを使って送信先を指定する

● **ワンタッチダイヤルに登録されている場合**

グループ宛先が登録されているワンタッチダイヤルキー（01 ～ 04）を押します。

● **短縮ダイヤルに登録されている場合**

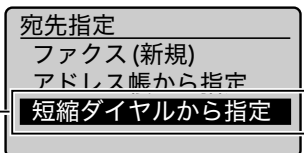
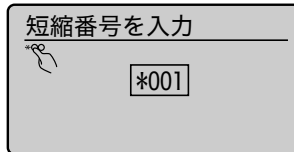
ファクス基本画面

［▲］［▼］で<宛先指定>を選択

設定画面

［▲］［▼］で<短縮ダイヤルから指定>を選択

OK

短縮番号を入力

*001

テンキーで 3 桁の登録先番号（001 ～ 100）を入力

この機能を使うには、あらかじめグループダイヤルに宛先を登録しておく必要があります。

「グループダイヤルを登録／編集する」（→ P.5-10）

間違ったキーを押した場合

(1)［ C ］（クリア）を押します。

(2)［◀］で<はい>を選択して、［OK］を押します。

※ 原稿の読み込み設定から操作をやり直したい場合は、［ ］（リセット）を押してください。

5 アドレス帳を使って送信先を指定する

操作パネルから文字を入力して、登録してあるアドレス帳（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）から相手先の略称を検索し、ディスプレーに表示します。表示された宛先を送信先として指定することができます。

この機能を使うには、あらかじめ宛先を登録しておく必要があります。

「アドレス帳に宛先を登録する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）」（→ P.5-1）

1 ［ ］（アドレス帳）を押します。

2 ［◀］［▶］で、宛先を絞り込みます。

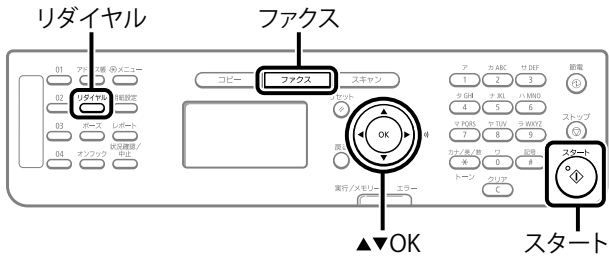
- <全て>を選択すると、すべての宛先が表示されます。
- 左端の< >を選択すると、宛先の新規登録や編集を行うことができます。

「アドレス帳に宛先を登録する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）」（→ P.5-1）

3 ［▲］［▼］で宛先を選択して、［OK］を押します。

リダイヤルする（手動リダイヤル）

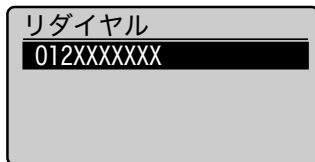
直前にダイヤルした宛先を呼び出すことができます。

この操作で使用するキー

1 **原稿をセットします。**

「原稿をセットする」（→ P.2-3）
「使用できる原稿について」（→ P.2-2）

2 **[ファクス] を押します。**

3 **[ ]（リダイヤル）を押します。**

4 **[▲][▼] で宛先を選択して、[OK] を押します。**

5 **[ ]（スタート）を押します。**

リダイヤルできる宛先

- テンキーで入力された宛先
  （テンキーで入力された宛先でも、一度に複数の宛先に送信した場合はリダイヤルできません。）
- 過去 3 件までの宛先
  （[ ]（オンフック）を使用した場合は、直前 1 件の宛先）

送信機能を制限されている場合

リダイヤル機能は使用できません。

「履歴からの送信を制限」（→ P.6-25）

本製品の電源を切った場合

保存されたリダイヤルの宛先は、削除されます。

自動でリダイヤル送信する場合

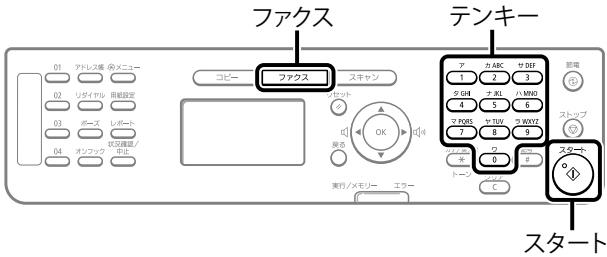
「自動リダイヤル」（→ P.6-21）

便利なファクスの送信方法

電話をかけてからファクスを送信する（手動送信）

以下の場合は手動で送信してください。

- 原稿を送信する前に相手と話したい場合
- 相手先のファクス機が自動受信できない場合

この操作で使用するキー

1 **外付け電話機またはオプションのハンドセットを本製品に接続します。**

接続方法については、以下を参照してください。

☞ e- マニュアル→設置、設定→ファクスの初期設定と電話線の接続を行う（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）→電話線を接続する

2 **原稿をフィーダーにセットします。**

「原稿をセットする」（→ P.2-3）

「使用できる原稿について」（→ P.2-2）

3 **[ファクス] を押します。**

4 **必要に応じて原稿の読み込みを設定します。**

「ファクス設定一覧」（→ P.6-3）

5 **外付け電話機またはハンドセットの受話器を取り、発信音を確認します。**

「プー」という発信音が鳴ります。

6 **相手先のファクス番号をダイヤルします。**

7 **受話器で相手と話します。**

「ピー」という音が聞こえた場合、手順 9 に進んでください。

8 **ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。**

9 **「ピー」という音が聞こえたら、[ ]（スタート）を押し、受話器を置きます。**

読み取り動作の終了後、送信されます。

メモ

手動送信時の制限事項

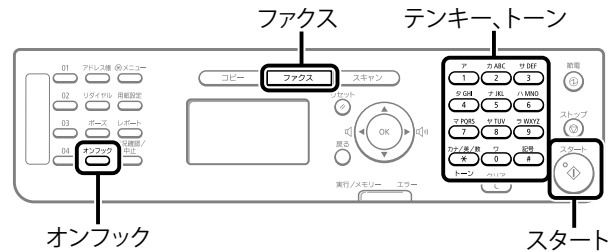
- 原稿台ガラスは使用できません。
- グループダイヤルの機能は使用できません。
- 両面原稿は使用できません。（片面原稿として読み込まれます。）

ファクス番号を入力する前に発信音を確認してください

発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

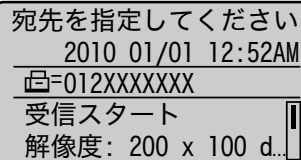
ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使用する

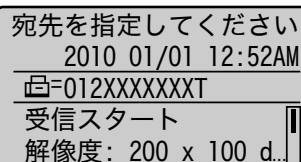
銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、プッシュ回線での利用を前提とするものがあります。本製品がダイヤル回線に接続されている場合は、以下の手順で一時的にトーン信号を送出することができます。

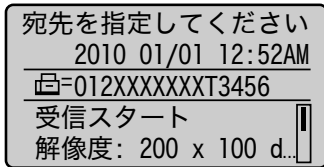
この操作で使用するキー

1 **[ファクス] を押します。**

2 **[ ]（オンフック）を押し、発信音を確認します。**

「プー」という発信音が鳴ります。

3 **テンキーを使って、情報サービスにダイヤルします。**

4 **情報サービスの録音メッセージが応答したら、[＊]（トーン）を押します。**

トーン発信に切り替わります。

5 テンキーを使って、情報サービスに必要な番号を入力します。

```
宛先を指定してください
  2010 01/01 12:52AM
=012XXXXXXXT3456
 受信スタート
 解像度: 200 x 100 d..
```

6 ファクスを受信する場合は、[(◇)]（スタート）を押します。

メモ

通話するには

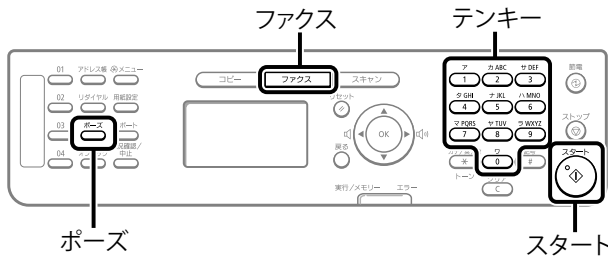
外付け電話機またはオプションのハンドセットを本製品に接続する必要があります。

ファクス番号を入力する前に発信音を確認してください

発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

海外へのファクス送信時、ファクス番号にポーズの挿入が必要な場合があります。
海外との通信は、通信距離が長く、ルートも複雑になります。このため、一度に国際電話識別番号、国番号、相手先ファクス番号をダイヤルしても相手にうまくつながらないときがあります。このようなときは、国際電話識別番号のあとにポーズを入れます。ポーズを入れるとポーズを入れた箇所に待ち時間を入れてダイヤル送信するため、相手につながりやすくなります。

この操作で使用するキー

1 原稿をセットします。

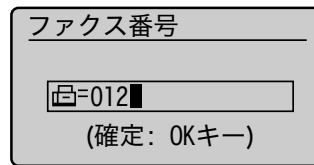
「原稿をセットする」（→ P.2-3）
「使用できる原稿について」（→ P.2-2）

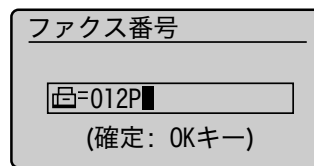
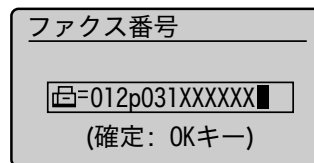
2 [ファクス] を押します。

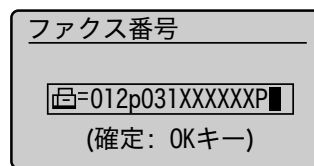
3 必要に応じて原稿の読み込みを設定します。

「ファクス設定一覧」（→ P.6-3）

4 テンキーを使って国際アクセス番号を入力します。

国際アクセス番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。

5 必要に応じて [ ] （ポーズ）を押し、ポーズを入力します。

- ポーズを意味する＜ p ＞が表示されます。
- ポーズ 1 つにつき 2 秒間のポーズ時間が設定されます。ポーズ時間を変更するには、「ポーズ時間セット」（→ P.6-21）を参照してください。
- ポーズを連続して入れる場合は、もう一度 [ ] （ポーズ）を押してください。

6 テンキーを使って相手先の国番号、エリア番号、ファクス／電話番号を入力します。

7 必要に応じて [ ] （ポーズ）を押し、ファクス／電話番号の末尾にポーズを入力します。

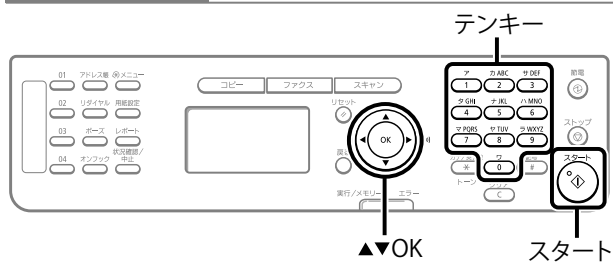
- ファクス番号の末尾に＜ P ＞が表示されます。
- 末尾のポーズは、10 秒間固定です。

8 [(◇)]（スタート）を押します。

一度に複数の相手先に送信する（同報送信）

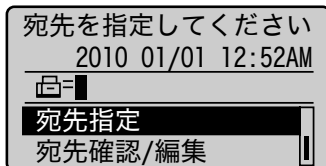
一度に複数の宛先に同じ原稿を送信することができます。

この操作で使用するキー

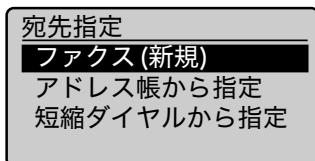
テンキー

▲▼OK　スタート

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.2-3）
「使用できる原稿について」（→ P.2-2）

2 ［▲］［▼］で＜宛先指定＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で宛先の指定方法を選択して、［OK］を押します。

- ファクス（新規）
- アドレス帳から指定
- 短縮ダイヤルから指定

「宛先を指定する」（→ P.6-4）

4 手順 2 ～ 3 を繰り返し、すべての宛先を入力します。

5 ［ ］（スタート）を押します。

メモ

同報送信できる宛先数

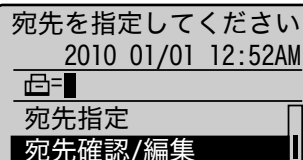
以下の宛先を複合して選択することができます。

- テンキーで宛先指定：10 件まで
- ワンタッチダイヤル：4 件まで
- 短縮ダイヤル：100 件まで

テンキーを使って宛先を指定する場合

番号を入力したあとに［OK］を押してください。

指定済みの宛先を確認する場合

［▲］［▼］で＜宛先確認 / 編集＞を選択して、［OK］を押します。

ファクスを受信する

ファクスの受信方法について説明します。

受信モードについて

ファクスの受信には、本製品が自動で応対するものやお客様が手動で応対するものなど、いくつかの方法があります。
以下をもとに、用途にあったファクスの受信方法を選択してください。
工場出荷時は＜自動受信＞に設定されています。

自動受信モード

ファクスを自動受信します。
外付け電話またはハンドセット（オプション）の接続の有無で着信時の動作が変わります。

着信時の動作

外付け電話を接続しない場合

- **相手がファクスの場合**
  自動的に受信します
- **相手が電話の場合**
  本製品は応答しません

外付け電話を接続した場合

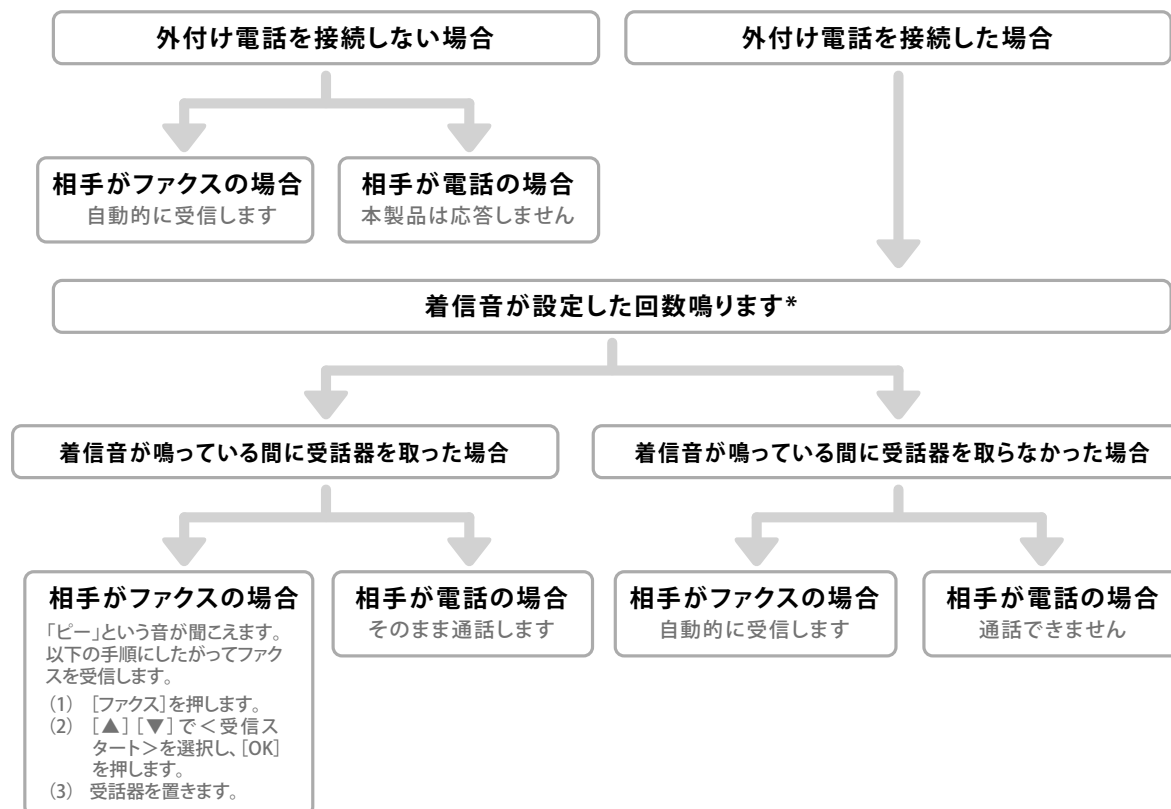
↓

着信音が設定した回数鳴ります*

着信音が鳴っている間に受話器を取った場合

- **相手がファクスの場合**
  「ピー」という音が聞こえます。以下の手順にしたがってファクスを受信します。
  （1） ［ファクス］を押します。
  （2） ［▲］［▼］で＜受信スタート＞を選択し、［OK］を押します。
  （3） 受話器を置きます。
- **相手が電話の場合**
  そのまま通話します

着信音が鳴っている間に受話器を取らなかった場合

- **相手がファクスの場合**
  自動的に受信します
- **相手が電話の場合**
  通話できません

* 着信音を鳴らす回数は、「着信呼出」（→P.6-23）で変更できます。

FAX/TEL切替モード

ファクスを自動受信します。（着信音が鳴ります。着信音を鳴らさないようにするには、「着信呼出」（→P.6-23）を参照してください。）

電話は受話器を取って応答します。

着信時の動作

着信音が設定した回数鳴ります*1

- **設定回数内に受話器を取らなかった場合**
  - **着信がファクスか電話のどちらなのかを本製品が判断します*2**
    - **相手がファクスの場合**
      自動的に受信します
    - **相手が電話の場合**
      着信音が鳴ります*3*4
      - **着信音が鳴っている間に受話器を取った場合**
        そのまま通話します
      - **着信音が鳴っている間に受話器を取らなかった場合**
        電話を切断するか、ファクスの受信モードに切り替わります*5
- **設定回数内に受話器を取った場合**
  - **相手がファクスの場合**
    「ピー」という音が聞こえます。以下の手順にしたがってファクスを受信します。
    (1) [ファクス]を押します。
    (2) [▲][▼]で＜受信スタート＞を選択し、[OK]を押します。
    (3) 受話器を置きます。
  - **相手が電話の場合**
    そのまま通話します

*1 着信音を鳴らす回数は、「着信呼出」（→P.6-23）で変更できます。
*2 判断にかかる時間は、＜呼出開始時間＞で変更できます。
*3 着信音を鳴らす時間は、＜呼出時間＞で変更できます。
*4 ＜音声応答＞を＜ON＞にすると、相手方に応答メッセージが流れます。
*5 どちらの動作にするかは、＜呼出後の動作＞で設定します。

上記の*2〜*5の設定は、「FAX/TEL切替モード詳細設定」（→P.6-12）で設定できます。

留守TEL接続モード

ファクスを自動受信します。

電話の場合は、留守番電話機が伝言を録音します。

着信時の動作

留守番電話機に設定されている回数だけ着信音が鳴ります*1

- **着信音が鳴っている間に受話器を取った場合**
  - **相手がファクスの場合**
    「ピー」という音が聞こえます。以下の手順にしたがってファクスを受信します。
    (1) [ファクス]を押します。
    (2) [▲][▼]で＜受信スタート＞を選択し、[OK]を押します。
    (3) 受話器を置きます。
  - **相手が電話の場合**
    そのまま通話します
- **留守番電話が起動した場合**
  - **相手がファクスの場合**
    自動的に受信します
  - **相手が電話の場合**
    相手方の伝言を録音します*2

*1 着信音が1〜2回鳴ったあとで留守番機能が起動するように設定してください。
*2 事前に留守番メッセージを電話機に録音してください。
（最初の4秒間程度を無音状態にするか、もしくは全体の長さを20秒以内にすることをおすすめします。）

手動受信モード

電話もファクスも着信時に着信音が鳴りますので受話器をとって手動で応対します。
ファクスよりも電話を多く使う場合に適したモードです。

着信時の動作

外付け電話機が鳴ります

電話機が鳴っている間に受話器を取った場合

相手がファクスの場合
「ピー」という音が聞こえます。以下の手順にしたがってファクスを受信します。*2
(1) [ファクス]を押します。
(2) [▲][▼]で<受信スタート>を選択し、[OK]を押します。
(3) 受話器を置きます。

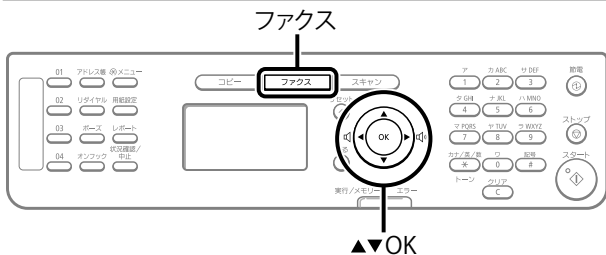
相手が電話の場合
そのまま通話します

電話機が鳴っている間に受話器を取らなかった場合
電話もファクスも受けることはできません*1

*1「自動受信切替」(→P.6-23)を<ON>に設定すると、着信音が一定時間鳴りつづけた場合、ファクスの受信動作に自動的に切り替わります。
*2「リモート受信」(→P.6-23)が設定されている場合は、お使いの電話機からのダイヤル操作でファクスを受信することもできます。

受信モードを変更する

用途に合わせてファクスの受信モードを設定します。

この操作で使用するキー

1 [ファクス] を押します。

2 [▲] [▼] で<受信モード>を選択して、[OK] を押します。

宛先を指定してください
2010 01/01 12:52AM
受信モード: 自動受信
解像度: 200 x 100 d...

3 [▲] [▼] で受信モードを選択して、[OK] を押します。

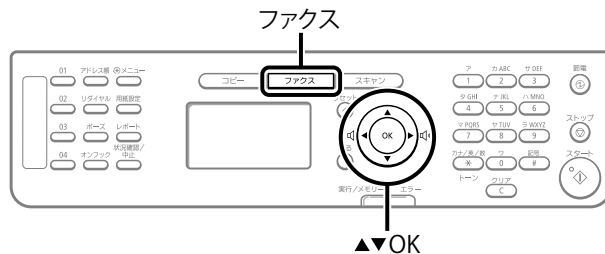
<FAX/TEL 切替>を選択して、[OK] を押した場合は、詳細設定が必要です。「FAX/TEL 切替モード詳細設定」(→P.6-12) を参照して設定を行ってください。

メモ

接続する電話機の種類によっては
発信や着信が正常に動作しないことがあります。

FAX/TEL 切替モード詳細設定

FAX/TEL 切替モード時の呼び出し時間や動作を設定します。

この操作で使用するキー

1 [ファクス] を押します。

2 [▲] [▼] で<受信モード>を選択して、[OK] を押します。

宛先を指定してください
2010 01/01 12:52AM
受信モード: 自動受信
解像度: 200 x 100 d...

3 ［▲］［▼］で＜FAX/TEL 切替＞を選択して、［OK］を押します。

受信モード
自動受信
FAX/TEL切替
手動受信
留守TEL接続

4 ［▲］［▼］で設定する項目を選択して、［OK］を押します。

FAX/TEL切替
<確定>
呼出開始時間： 8
呼出時間：15
音声応答：OFF

＜呼出開始時間＞	着信してから着信音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうかを検出する時間を設定します。4 秒 ～ 30 秒の間で設定して、［OK］を押します。
＜呼出時間＞	着信音を鳴らす時間を設定します。15 秒 ～ 300 秒の間で設定して、［OK］を押します。
＜音声応答＞	応答メッセージを流すかどうかを設定します。＜OFF＞または＜ON＞を選択して、［OK］を押します。 • ＜ OFF ＞：相手方には応答メッセージを流しません。 • ＜ ON ＞：相手方に応答メッセージを流します。 ＜ ON ＞に設定した場合、状況に応じて以下の応答メッセージを相手方に流します。
＜呼出後の動作＞	呼び出し中に受話器を取らなかったときの動作を設定します。＜終了＞または＜受信＞を選択して、［OK］を押します。 • ＜終了＞：通信を切断します。 • ＜受信＞：ファクスを受信します。

● **応答メッセージ**

状況	メッセージ
呼び出し中	「ただいま電話を呼び出しております。そのまましばらくお待ちください。ファクシミリの方は送信してください。」
受話器をとらなかったとき A（＜呼出後の動作＞が＜終了＞の場合）	「呼び出しましたが近くにおりません。申し訳ございませんが後ほどおかけ直しください。」
受話器をとらなかったとき B（＜呼出後の動作＞が＜受信＞の場合）	「呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」

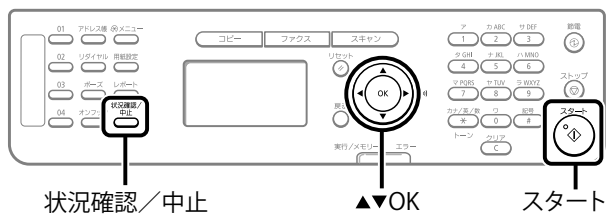
5 ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

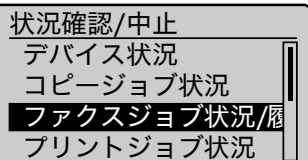
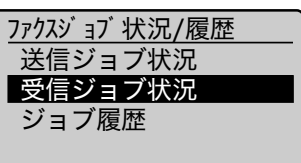
受信モードが変更されました。

FAX/TEL切替
<確定>
呼出開始時間： 8
呼出時間：15
音声応答：OFF

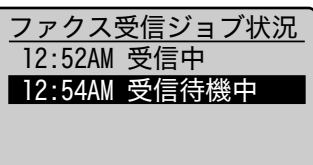
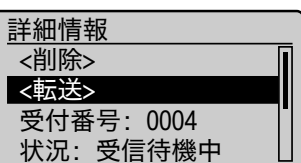
メモリーにあるファクス受信文書を別の宛先へ転送する（手動転送）

メモリーに保存されている文書を宛先を指定して送信します。

この操作で使用するキー

1 ［　］（状況確認 / 中止）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜ファクスジョブ状況 / 履歴＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜受信ジョブ状況＞を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で転送したいジョブを選択して、［OK］を押します。

以下の場合は転送することができません。

- 受信中である場合
- 受信が終了し、正常にプリント中である場合

5 ［▲］［▼］で＜転送＞を選択して、［OK］を押します。

6 転送先を指定します。

宛先は、以下の方法でのみ指定できます。

「ワンタッチダイヤルキーを使って送信先を指定する」（→ P.6-4）
「短縮ダイヤルを使って送信先を指定する」（→ P.6-4）
「アドレス帳を使って送信先を指定する」（→ P.6-5）

7 ［　］（スタート）を押します。

メモリーにあるファクス文書を確認／操作する

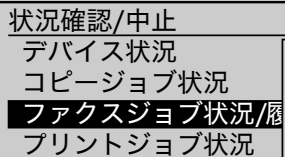
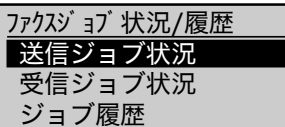
メモリーにあるファクス文書の状況を確認したり操作することができます。

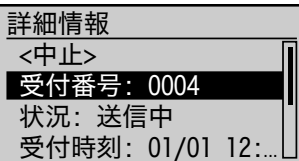
ファクス送信文書を確認／中止する

送信中または送信待機中になっているファクス文書の詳細情報を確認できます。不要な文書があれば削除することもできます。

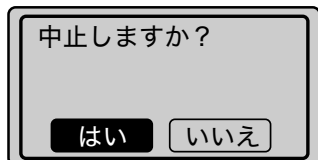
この操作で使用するキー

1 ［ ］（状況確認 / 中止）を押します。

2 ［▲］［▼］で<ファクスジョブ状況 / 履歴>を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で<送信ジョブ状況>を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で確認または中止するジョブを選択して、［OK］を押します。

詳細情報が表示されます。

中止する場合

(1) ［▲］［▼］で<中止>を選択して、［OK］を押します。

(2) ［◀］で<はい>を選択して、［OK］を押します。

送信ジョブが中止されます。同報送信の場合は、すべての宛先への送信が中止されます。

(3) ［ ］（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

メモ

［ ］（ストップ）でも中止できます

ファクスジョブの中止は、［ ］（ストップ）を押しても行うことができます。

※ 送信中または送信待機中のファクスジョブが 1 つだけの場合は、［ ］（ストップ）を 2 回連続して押すとジョブを中止することができます。

確認のみの場合

［ ］（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

ファクス受信文書をプリントする

メモリーに保存されているファクス文書をプリントします。

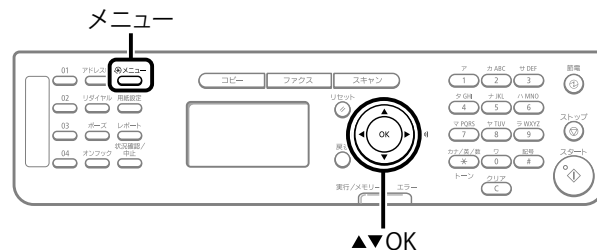
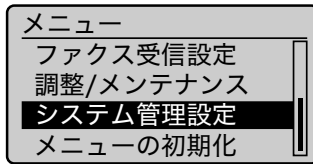
メモ

受信文書をプリントするときは

- 受信文書を選んでプリントすることはできません。メモリーに保存されているファクス文書をすべてプリントします。
- 受信文書のプレビュー機能はありません。

<メモリー受信時刻設定>で時刻が設定されているときは

<メモリー受信終了時刻>になると自動的にファクス文書がプリントされます。

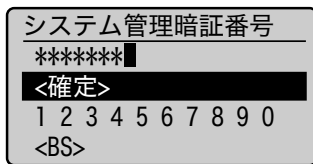
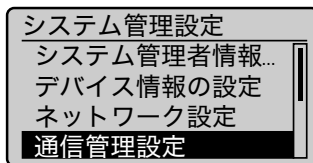
この操作で使用するキー

1 [ ]（メニュー）を押します。

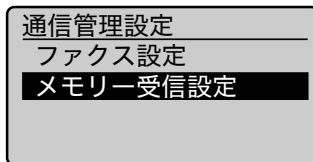
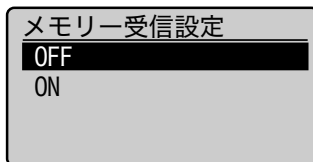
2 [▲] [▼] で<システム管理設定>を選択して、[OK] を押します。

システム管理暗証番号が設定されている場合

システム管理暗証番号を入力します。

「文字の入力方法」(→ P.1-9)

入力が終わったら、[▲] [▼] で<確定>を選択して、[OK] を押します。

3 [▲] [▼] で<通信管理設定>を選択して、[OK] を押します。

4 [▲] [▼] で<メモリー受信設定>を選択して、[OK] を押します。

<メモリー受信設定暗証番号>が設定されている場合は、テンキーで入力して、[OK] を押します。

5 [▲] [▼] で< OFF >を選択して、[OK] を押します。

メモリーに保存されているファクス文書がプリントされます。

6 [ ]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

ファクス受信文書を確認／削除する

メモリーに保存されているファクス文書の詳細情報を確認することができます。また、不要な文書は削除することもできます。

メモ

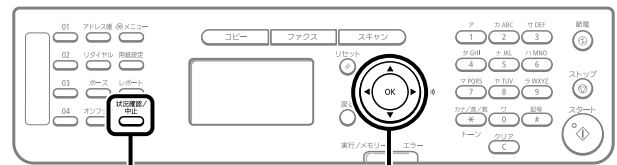
メモリーに保存されている文書

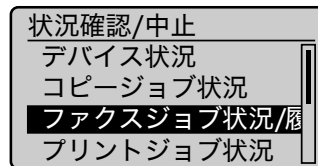
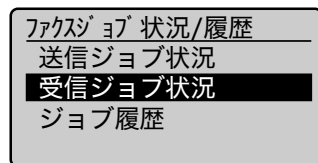
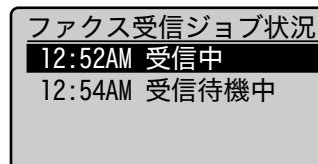
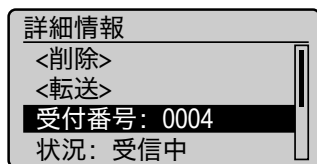
宛先を指定して転送することができます。

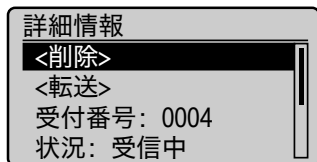
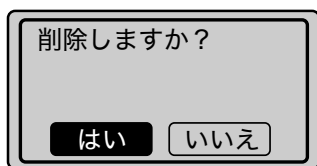
「メモリーにあるファクス受信文書を別の宛先へ転送する（手動転送）」(→ P.6-14)

プリントすることができます。

「ファクス受信文書をプリントする」(→ P.6-15)

この操作で使用するキー

1 [ ]（状況確認 / 中止）を押します。

2 [▲] [▼] で<ファクスジョブ状況 / 履歴>を選択して、[OK] を押します。

3 [▲] [▼] で<受信ジョブ状況>を選択して、[OK] を押します。

4 [▲] [▼] で確認または削除するジョブを選択して、[OK] を押します。

詳細情報が表示されます。

削除する場合

(1) ［▲］［▼］で<削除>を選択して、［OK］を押します。

(2) ［◀］で<はい>を選択して、［OK］を押します。

受信ジョブが削除されます。

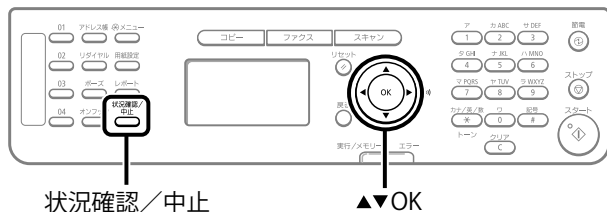
(3) ［　］（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

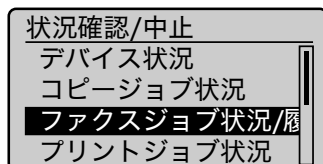
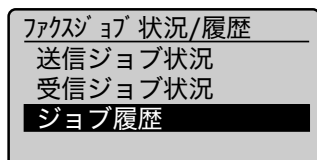
確認のみの場合

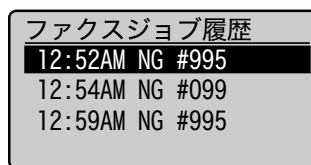
［　］（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

送受信したファクス文書の履歴情報を確認する

送受信済み文書の履歴情報を確認することができます。

この操作で使用するキー

1 ［　］（状況確認 / 中止）を押します。

2 ［▲］［▼］で<ファクスジョブ状況 / 履歴>を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で<ジョブ履歴>を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で確認するジョブを選択して、［OK］を押します。

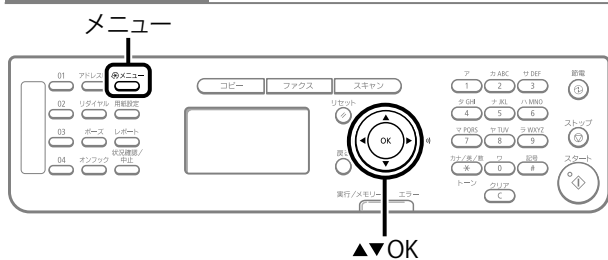
詳細情報が表示されます。

5 ［▲］［▼］で確認する項目を選択して、［OK］を押します。

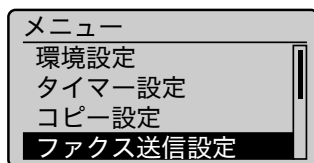
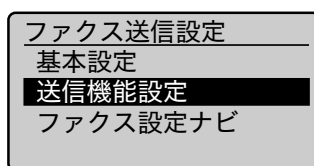
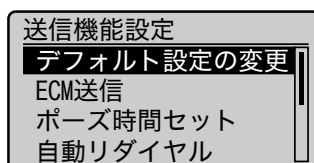
6 ［　］（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

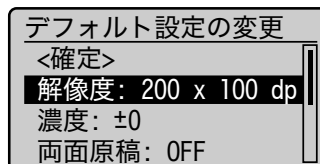
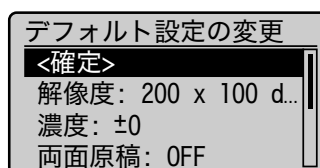
ファクスのデフォルト値を変更する

ファクスのデフォルト値とは、電源を入れたときや、［ ］（リセット）を押したときに自動的に適用される機能です。お好みで変更することができます。
以下の設定を、デフォルト値として登録することができます。

- 解像度
- 濃度
- 両面原稿（MF4580dn のみ）
- シャープネス

この操作で使用するキー

1 ［ ］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜ファクス送信設定＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜送信機能設定＞を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で＜デフォルト設定の変更＞を選択して、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で設定項目を選択して、［OK］を押します。

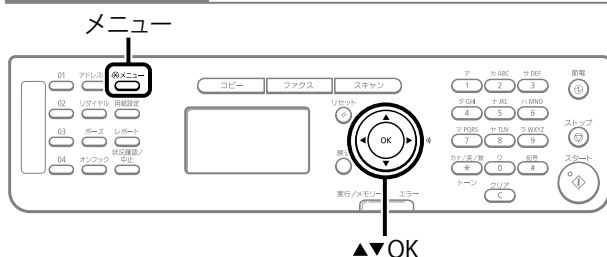
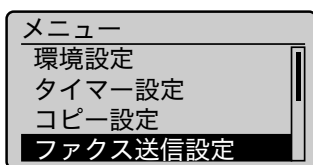
- **解像度／濃度／両面原稿／シャープネス**
  設定の詳細については、「ファクス設定一覧」（→ P.6-3）を参照してください。

6 設定後、［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

7 ［ ］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

ファクス設定を変更する（[メニュー] ボタンで設定する項目）

ファクスの送受信の設定を変更します。
設定方法（設定の流れ）または設定項目一覧については、次の項目を参照してください。

「ファクス送信設定の流れ」（→ P.6-19）
「ファクス送信設定の設定項目一覧」（→ P.6-19）
「ファクス受信設定の流れ」（→ P.6-21）
「ファクス受信設定の設定項目一覧」（→ P.6-22）
「システム管理設定の流れ」（→ P.6-23）
「システム管理設定の設定項目一覧」（→ P.6-24）

ファクス送信設定の流れ

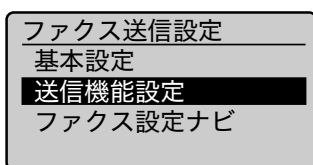
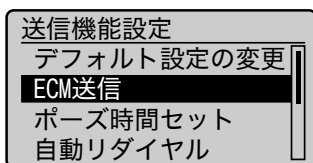
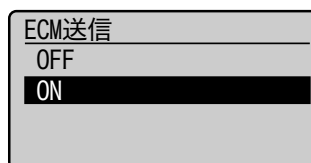
ファクス送信設定は、次の手順で行います。
例として、「ECM 送信」の設定を変更する手順を説明します。

この操作で使用するキー

1 [ ]（メニュー）を押します。

2 [▲] [▼] で<ファクス送信設定>を選択して、[OK] を押します。

3 [▲] [▼] で<送信機能設定>を選択して、[OK] を押します。

4 [▲] [▼] で< ECM 送信>を選択して、[OK] を押します。

5 [▲] [▼] で< OFF >または< ON >を選択して、[OK] を押します。

※ 画面に<確定>が表示されている場合は、設定後に<確定>を選択して [OK] を押す必要があります。

6 [ ]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

設定が完了します。

ファクス送信設定の設定項目一覧

ファクス送信設定には、次の項目があります。

ファクス送信設定	
基本設定	「ユーザー略称の登録」（→ P.6-19）
	「ユーザー電話番号の登録」（→ P.6-20）
	「回線種類の選択」（→ P.6-20）
	「公衆回線接続」（→ P.6-20）
	「オフフックアラーム」（→ P.6-20）
	「発信元記録」（→ P.6-20）
送信機能設定	「デフォルト設定の変更」（→ P.6-20）
	「ECM 送信」（→ P.6-20）
	「ポーズ時間セット」（→ P.6-21）
	「自動リダイヤル」（→ P.6-21）
	「送信前のダイヤルトーン確認」（→ P.6-21）

ユーザー略称の登録

本製品の名称として会社名や個人名などを登録します。
登録した名称は、発信元記録として相手先の記録紙にプリントされます。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→<ファクス送信設定>→<基本設定>→<ユーザー略称の登録>

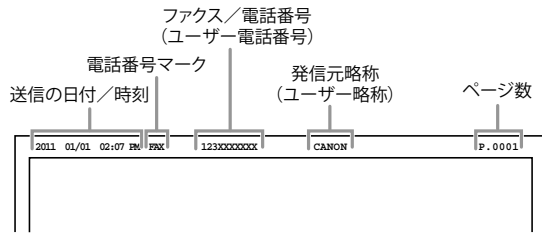
設定内容

文字を入力します（最大 24 文字）。

「文字の入力方法」（→ P.1-9）

メモ

ユーザー略称の使われ方

登録した発信元の情報は、ファクスを送信したときに、発信元記録として相手の出力紙にプリントされます。

ユーザー電話番号の登録

本製品のファクス番号を登録します。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜基本設定＞→＜ユーザー電話番号の登録＞

設定内容

テンキーで番号を入力します（最大 20 文字）。

回線種類の選択

工場出荷時は＜自動＞に設定されているため、設定を変更する必要はありませんが、構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合や、ファクスの送信ができないときは設定を変更します。

電話回線の種類がわからないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜基本設定＞→＜回線種類の選択＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

自動		自動で回線種類を判別します。本製品の電源を入れたときに判別をしますので、電源を入れたまま電話線を接続したときは、電源を入れなおしてください。
手動	ダイヤル 20 PPS、ダイヤル 10 PPS、**プッシュ**	手動で回線種類を設定します。

公衆回線接続

ファクスの受信モードを＜ FAX/TEL 切替＞に設定すると、以下の症状が発生する場合があります。

- 外付け電話機またはオプションのハンドセットから着信音が鳴らない
- 外付け電話機またはオプションのハンドセットから電話をかけられない

このような場合に、本項目の設定を変更することで、問題を解決することができます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜基本設定＞→＜公衆回線接続＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

直接接続	通常はこの設定にしておきます。
アダプタ接続 1	＜直接接続＞に設定して、問題が発生した場合に設定します。
アダプタ接続 2	＜アダプタ接続 1 ＞に設定しても問題が解決しない場合に設定します。

オフフックアラーム

電話機またはハンドセット（オプション）の受話器が外れているとき、警告音を鳴らすかどうかを設定します。

また、警告音の音量を設定することができます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜基本設定＞→＜オフフックアラーム＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF		警告音を鳴らしません。
ON	オフフックアラーム音量：**1** ～ 5	設定した音量で警告音を鳴らします。

発信元記録

送信する文書に発信元記録をつけるかどうかを設定します。

発信元記録は送信文書の上部にプリントされます。こちらのファクス番号や名前などがプリントされるので、相手先で誰から送信されてきた文書かを確認することができます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜基本設定＞→＜発信元記録＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

つけない		発信元記録をつけません。
つける	印字位置：画像の内側、**画像の外側**	発信元記録をプリントする位置を選択します。
	電話番号マーク：**FAX**、TEL	電話番号の前につける文字を選択します。

デフォルト設定の変更

電源を入れたときや、［ ］（リセット）を押したときの設定を変更できます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜送信機能設定＞→＜デフォルト設定の変更＞

設定内容

設定方法は、次の項目を参照してください。

「ファクスのデフォルト値を変更する」（→ P.6-18）

ECM 送信

ECM（エラー訂正モード）とは、ファクス通信中のエラーを自動的に検知し修正する機能です。ECM 機能を使うと、電話回線の状態が悪い場合でも送信エラーを軽減することができます。

メモ

相手機側の設定も確認してください

本製品と相手機側の双方で設定が有効になっている場合にのみ ECM 機能を使用できます。

ECM 機能を有効にしても

電話回線の影響でエラーになることがあります。

ECM 機能を有効にすると

電話回線にトラブルが発生した場合、送信に時間がかかることがあります。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜送信機能設定＞→＜ ECM 送信＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	ECM 機能を使用しません。
ON	ECM 機能を使用します。

ポーズ時間セット

[ ]（ポーズ）を押したときのポーズの秒数を設定します。

ポーズの入力方法は、「海外にファクスを送る（ポーズの挿入）」（→ P.6-8）を参照してください。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜送信機能設定＞→＜ポーズ時間セット＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

1 ～ **2** ～ 15（秒）

自動リダイヤル

自動リダイヤルは、ファクス送信時に相手先が話し中などで送信できない場合や送信エラーが発生したときに、自動的に再送信する機能です。

リダイヤルする回数や間隔などを設定することができます。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜送信機能設定＞→＜自動リダイヤル＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF		自動リダイヤルしません。 手動でリダイヤルするときは、「リダイヤルする（手動リダイヤル）」（→ P.6-6）を参照してください。
ON	リダイヤル回数： 1 ～ **2** ～ 15（回）	リダイヤルする回数を設定します。
	リダイヤル間隔： **2** ～ 99（分）	リダイヤルする間隔を設定します。
	送信エラー時リダイヤル： OFF、**ON**	送信エラーが発生したときにリダイヤルするかどうかを設定します。

送信前のダイヤルトーン確認

ファクスを送信するときに、発信音を確認してからダイヤルするかどうかを設定します。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜ファクス送信設定＞→＜送信機能設定＞→＜送信前のダイヤルトーン確認＞

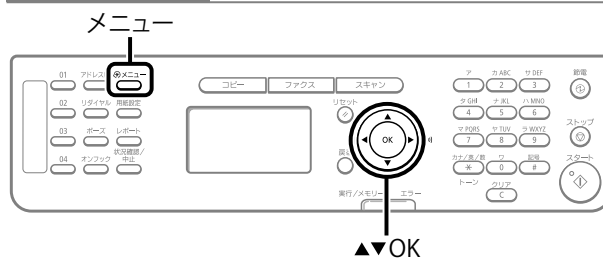
設定内容

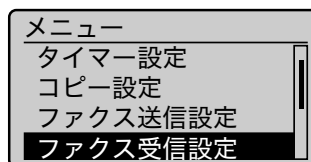
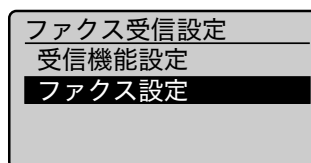
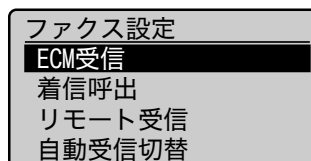
（太字：工場出荷時の設定）

OFF	発信音の確認をしません。
ON	発信音を確認してからダイヤルします。

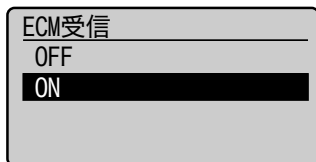
ファクス受信設定の流れ

ファクス受信設定は、次の手順で行います。
例として、「ECM 受信」の設定を変更する手順を説明します。

この操作で使用するキー

1 [ ]（メニュー）を押します。

2 [▲][▼]で＜ファクス受信設定＞を選択して、[OK]を押します。

3 [▲][▼]で＜ファクス設定＞を選択して、[OK]を押します。

4 [▲][▼]で＜ ECM 受信＞を選択して、[OK]を押します。

5 ［▲］［▼］で＜ OFF ＞または＜ ON ＞を選択して、［OK］を押します。

※ 画面に＜確定＞が表示されている場合は、設定後に＜確定＞を選択して［OK］を押す必要があります。

6 ［ ］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

設定が完了します。

ファクス受信設定の設定項目一覧

ファクス受信設定には、次の項目があります。

送信 / 受信設定	
受信機能設定	「両面記録（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）」（→ P.6-22） 「画像縮小」（→ P.6-22） 「受信情報記録」（→ P.6-22） 「トナー残りわずか時の印字継続」（→ P.6-22）
ファクス設定	「ECM 受信」（→ P.6-22） 「着信呼出」（→ P.6-23） 「リモート受信」（→ P.6-23） 「 自動受信切替」（→ P.6-23）

両面記録（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d のみ）

受信文書を用紙の両面にプリントすることで、用紙を節約することができます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜受信機能設定＞→＜両面記録＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	両面にプリントしません。
ON	両面にプリントします。

画像縮小

受信文書の画像を、セットしてある記録紙のサイズに合わせて自動的に縮小したり、決められた倍率で縮小したりすることができます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜受信機能設定＞→＜画像縮小＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF		画像を縮小しません。
ON	縮小率：**自動**、97%、95%、90%、75%	＜自動＞：縮小率を自動調整して画像を縮小します。 ＜ 97% ＞、＜ 95% ＞、＜ 90% ＞、＜ 75% ＞：設定した倍率で、画像を縮小します。
	縮小方向：縦横、**縦のみ**	＜縦横＞：縦横方向に縮小します。 ＜縦のみ＞：縦方向にのみ縮小します。

受信情報記録

受信文書をプリントするとき、受付日、受付曜日、受付時刻、受付番号、ページ番号を、原稿のいちばん下にプリントするかどうかを設定できます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜受信機能設定＞→＜受信情報記録＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

つけない	受信情報をつけずにプリントします。
つける	受信情報をつけてプリントします。

トナー残りわずか時の印字継続

トナーカートリッジが残りわずかになった場合に、受信中の文書のプリントを継続するかどうかを設定します。

重要

＜トナー残りわずか時の印字継続＞を＜する＞に設定した場合

途中でプリントが薄くなったり、かすれたりすることがあります。ただし、メモリー内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度、プリントすることはできません。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜受信機能設定＞→＜トナー残りわずか時の印字継続＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

しない	プリントを停止します。
する	プリントを継続します。

ECM 受信

ECM（エラー訂正モード）とは、ファクス通信中のエラーを自動的に検知し修正する機能です。ECM 機能を使うと、電話回線の状態が悪い場合でも受信エラーを軽減することができます。

メモ

相手機側の設定も確認してください

本製品と相手機側の双方で設定が有効になっている場合にのみ ECM 機能を使用できます。

ECM 機能を有効にしても

電話回線の影響でエラーになることがあります。

ECM 機能を有効にすると

電話回線にトラブルが発生した場合、受信に時間がかかることがあります。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜ファクス設定＞→＜ ECM 受信＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	ECM 機能を使用しません。
ON	ECM 機能を使用します。

着信呼出

＜受信モード＞が＜自動受信＞または＜ FAX/TEL 切替＞に設定されている場合、着信があったときに外付け電話機またはハンドセット（オプション）を鳴らすかどうかを設定します。また、呼び出し回数も設定できます。

設定した呼び出し回数分の着信音が鳴った後は、着信がファクスのときは自動的に受信を開始します。電話のときは、＜受信モード＞が＜ FAX/TEL 切替＞の場合のみ、再度外付け電話機またはハンドセット（オプション）の着信音が鳴ります。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜ファクス設定＞→＜着信呼出＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF		着信音を鳴らしません。
ON	呼出回数：1 ～ **2** ～ 99（回）	着信音を鳴らします。＜呼出回数＞で鳴らす回数を設定します。

リモート受信

外付けの電話機を接続している場合、通話中に電話機のダイヤルボタンでファクス受信用の ID 番号をダイヤルすると、その場でファクス受信動作に切り替えることができます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜ファクス設定＞→＜リモート受信＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF		リモート受信機能を無効にします。
ON	リモート受信 ID：00 ～ **25** ～ 99	リモート受信機能を有効にします。＜リモート受信 ID ＞でファクス受信用の ID 番号を設定します。

自動受信切替

＜受信モード＞が＜手動受信＞に設定されている場合に、着信音が一定時間鳴り続けると受信を開始するように設定することができます。

設定の表示方法

☞ ［ ］（メニュー）→＜ファクス受信設定＞→＜ファクス設定＞→＜自動受信切替＞

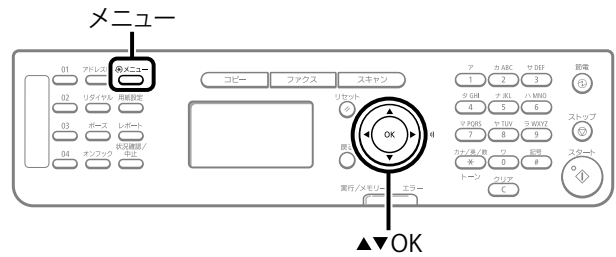
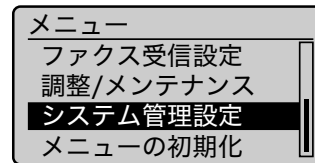
設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF		自動受信しません。
ON	呼出秒数：1 ～ **15** ～ 99（秒）	＜呼出秒数＞で設定した時間が経過すると受信を開始します。

システム管理設定の流れ

システム管理設定は、次の手順で行います。

例として、「受信スタートスピード」の設定を変更する手順を説明します。

この操作で使用するキー

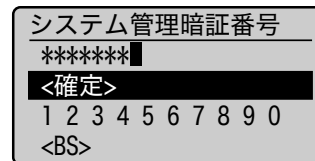
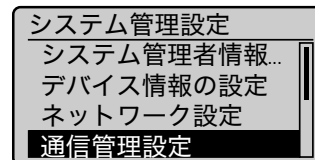
1 ［ ］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜システム管理設定＞を選択して、［OK］を押します。

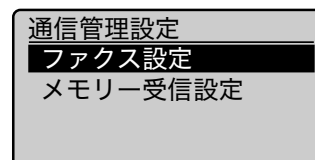
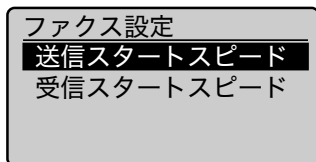
システム管理暗証番号が設定されている場合

システム管理暗証番号を入力します。

「文字の入力方法」（→ P.1-9）

入力が終わったら、［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜通信管理設定＞を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で＜ファクス設定＞を選択して、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で＜送信スタートスピード＞を選択して、［OK］を押します。

ファクス設定
送信スタートスピード
受信スタートスピード

6 ［▲］［▼］で送信スタートスピードを選択して、［OK］を押します。

※ 画面に＜確定＞が表示されている場合は、設定後に＜確定＞を選択して［OK］を押す必要があります。

7 ［　　］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

設定が完了します。

システム管理設定の設定項目一覧

ファクスの送受信に関するシステム管理設定には、次の項目があります。

システム管理設定		
通信管理設定	ファクス設定	「送信スタートスピード」（→ P.6-24） 「受信スタートスピード」（→ P.6-24）
	「メモリー受信設定」（→ P.6-24）	
送信機能の制限	「アドレス帳の暗証番号」（→ P.6-25） 「新規宛先の制限」（→ P.6-25） 「ファクスドライバーからの送信を許可」（→ P.6-25） 「ファクスドライバーからの送信を許可」（→ P.6-25） 「履歴からの送信を制限」（→ P.6-25） 「ファクス番号入力時の確認入力」（→ P.6-25） 「同報送信の制限」（→ P.6-25）	

送信スタートスピード

回線の状態が悪く、送信が始まるまでに時間がかかるときは、送信開始スピードを変更します。

設定の表示方法

☞［　　］（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜通信管理設定＞ →＜ファクス設定＞→＜送信スタートスピード＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

33600 bps、14400 bps、9600 bps、7200 bps、4800 bps、2400 bps

受信スタートスピード

回線の状態が悪く、受信が始まるまでに時間がかかるときは、受信開始スピードを変更します。

設定の表示方法

☞［　　］（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜通信管理設定＞→＜ファクス設定＞→＜受信スタートスピード＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

33600 bps、14400 bps、9600 bps、7200 bps、4800 bps、2400 bps

メモリー受信設定

受信した文書は通常すぐにプリントされますが、プリントしないでいったんメモリーに保存しておくことができます。保存した文書はいつでも好きなときにプリントしたり、不要な場合は消去して使用する用紙を節約することができます。

設定の表示方法

☞［　　］（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜通信管理設定＞→＜メモリー受信設定＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF		メモリー受信を使用しません。
ON	メモリー受信設定暗証番号： 7 桁の番号	暗証番号を設定すると、メモリー受信の設定内容を変更するときやメモリー受信を解除するときに暗証番号の入力が必要になります。
	レポートプリント： OFF、**ON**	ファクスを受信したときに受信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 「受信結果レポート」も＜ ON ＞にする必要があります。
	メモリー受信時刻設定： **指定しない**、指定する	＜指定する＞に設定すると、設定した時間内のみメモリー受信されます。 ＜メモリー受信開始時刻＞と＜メモリー受信終了時刻＞をそれぞれ入力してください。

メモ

メモリー受信設定暗証番号について

- 暗証番号を設定しない場合は、何も入力しないで［OK］を押します。
- ＜ 0000000 ＞のような「0」だけの連数字を暗証番号として登録することはできません。
- ＜ 0 ＞で始まる数字を登録した場合は以下のようになります。
  例：＜ 02 ＞や＜ 002 ＞など入力→＜ 0000002 ＞と設定されます。

アドレス帳の暗証番号

アドレス帳に暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、宛先を登録／編集／消去する際に設定した暗証番号を入力する必要があります。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜送信機能の制限＞→＜アドレス帳の暗証番号＞

設定内容

7 桁の数字を入力します。

番号を入力しないで、[OK] を押すと、暗証番号による制限を解除することができます。

新規宛先の制限

指定できる宛先を登録済みのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに限定します。制限機能を有効にすると、以下の操作はできなくなります。

- テンキーを使って宛先を指定する
- アドレス帳／ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルに新しい宛先を登録する
- アドレス帳／ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルに登録済みの宛先を変更する

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜送信機能の制限＞→＜新規宛先の制限＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	制限しません。
ON	制限します。ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルから宛先を指定します。

ファクスドライバーからの送信を許可

ファクスドライバーを使ったコンピューターからのファクス送信を許可するかどうかの設定をします。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜送信機能の制限＞→＜ファクスドライバーからの送信を許可＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	ファクスドライバーから送信できません。
ON	ファクスドライバーから送信できます。

履歴からの送信を制限

履歴からの送信を制限するかどうかを設定します。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜送信機能の制限＞→＜履歴からの送信を制限＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	履歴から送信できます。
ON	履歴から送信できません。

ファクス番号入力時の確認入力

ファクス送信の宛先指定時に、ファクス番号の再入力画面を表示させるかどうかを設定します。ファクス番号を 2 度入力することで、指定した宛先に誤りがないことを確認してから原稿を送信することができます。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜送信機能の制限＞→＜ファクス番号入力時の確認入力＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	再入力画面を表示しません。
ON	再入力画面を表示します。

同報送信の制限

ファクスを送信するときに、複数の宛先に送信する場合の制限を設定します。

設定の表示方法

☞ [ ]（メニュー）→＜システム管理設定＞→＜送信機能の制限＞→＜同報送信の制限＞

設定内容

（太字：工場出荷時の設定）

OFF	複数の宛先への送信を許可します。
同報送信の確認	複数の宛先への送信時に確認画面が表示されます。
同報送信不可	複数の宛先への送信を禁止します。

ファクスの通信を中止する

送信中のジョブを中止します。

1 ［ ファクス ］を押します。

2 ［ ］（ストップ）を押します。

※ 送信中のファクスジョブが 1 つだけの場合は、［ ］（ストップ）を 2 回連続して押すとジョブを中止することができます。

3 ＜中止しますか？＞と表示されたら、［▲］［▼］で＜はい＞を選択して、［OK］を押します。

［ ］（ストップ）を押しても中止できます。

送信が中止されます。

Chapter 7

スキャン機能を使う

本製品のパネル操作のみで、読み込んだ原稿をかんたんにコンピューターに保存することができます。

※Macintosh をお使いの方は、スキャナードライバーガイドを参照してください。
スキャナードライバーガイドの表示方法については、「Macintosh をお使いのお客様へ」（→ P.11-4）を参照してください。

スキャンの基本的な操作方法

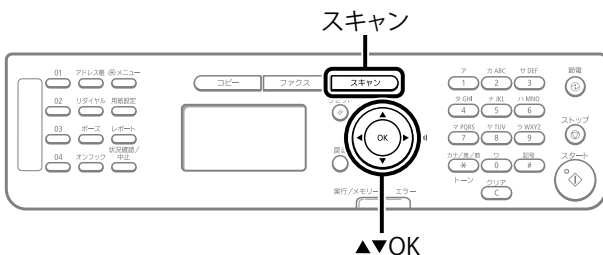
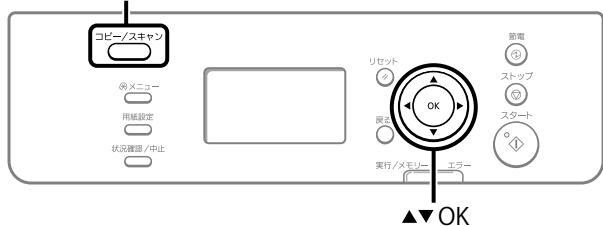
操作パネルのキーを操作して、原稿を読み込むことができます。

メモ

コンピューター側の操作で原稿をスキャンするには

e- マニュアルの「スキャンする」を参照してください。

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.2-3）
「使用できる原稿について」（→ P.2-2）

メモ

操作パネルからスキャンする場合

原稿台からは複数枚読み込むことはできません。

2 スキャン基本画面を表示します。

- MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450
  ［スキャン］を押します。
- MF4430/MF4420n/MF4410
  スキャン基本画面が表示されるまで、［　］（コピー／スキャン）を押します。

スキャン基本画面が表示されます。

スキャンの種類を選択してください。
PC
リモートスキャナー

3 ［▲］［▼］で＜ PC ＞を選択して、［OK］を押します。

スキャンの種類を選択してください。
PC
リモートスキャナー

4 ［▲］［▼］で宛先を指定し、［OK］を押します。

- 複数台コンピューターが接続されている場合
  USB 接続されているコンピューターが一番上に表示されます。
- 接続しているコンピューターが 1 台で USB 接続の場合
  この画面は表示されません。
- ネットワークで 11 台以上のコンピューターが接続されている場合
  11 台目以降のコンピューターは表示されません（スキャンできません）。
  本製品にネットワークで接続されているコンピューターの数を減らしてください。
  ☞ e- マニュアル→スキャンする→ MF Network Scan Utility にスキャナーを登録する（ネットワーク接続の み）

※ 表示されるコンピューターの名称は、変更することができます。

☞ e- マニュアル→スキャンする→ MF Toolbox の使いかた

5 ［▲］［▼］でスキャン設定を指定し、［OK］を押します。

スキャン設定は、デフォルトで次のとおりに設定されています。

	スキャンモード	解像度	ファイルの種類	PDF 設定
カラースキャン	カラー	300 dpi	PDF	テキスト検索可能（サーチャブル）／高圧縮
白黒スキャン	白黒	300 dpi	TIFF	―
カスタム 1	カラー	300 dpi	JPEG/Exif	―
カスタム 2	カラー	300 dpi	PDF	テキスト検索可能（サーチャブル）／標準圧縮

スキャンの種類を選択
スキャン開始：OKキー
カラースキャン
白黒スキャン
カスタム1

読み込み動作が開始され、保存終了後、スキャン基本画面に戻ります。

スキャンできなかったときは

MF Toolbox の設定画面が表示されているとスキャンできません。［ ✕ ］をクリックして設定画面を閉じてからスキャンしてください。

読み込んだ画像の保存先

読み込み終了時に、画像を保存したフォルダーが自動的に開きます。

デフォルト状態では、［ピクチャ］フォルダーに、読み込んだ日付のフォルダーが作成されます。
（Windows 2000/XP では、［マイドキュメント］内の［マイピクチャ］フォルダーに作成されます。）

メモ

スキャン設定を変更するには

保存先の変更やファイル形式の変更、解像度の変更などがコンピューターから行えます。

☞ e- マニュアル→スキャンする→ MF Toolbox の使いかた

Chapter 8

日常のメンテナンス

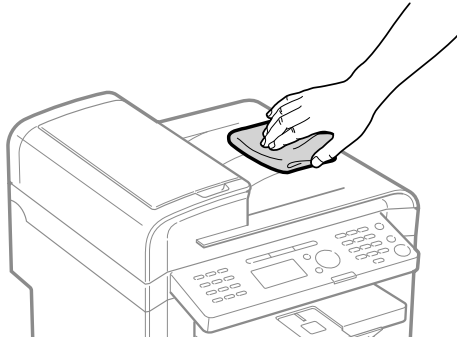
ここでは、本製品のお手入れや移動、トナーカートリッジの交換のしかたなど本製品の調整について説明しています。

日常のお手入れ

本体のお手入れ

本体外部や通気口を清掃します。

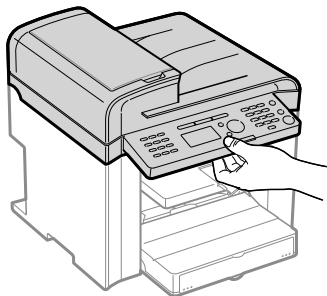
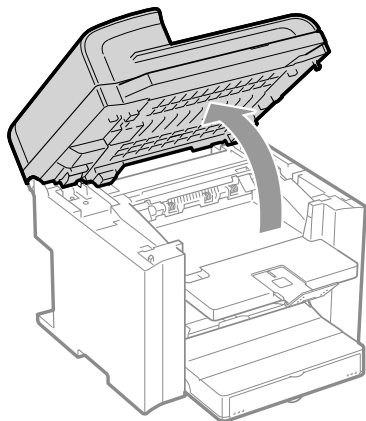
1 電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

2 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、本体の表面を拭きます。

3 完全に乾いてから電源コードを接続し、電源スイッチを入れます。

内部のお手入れ

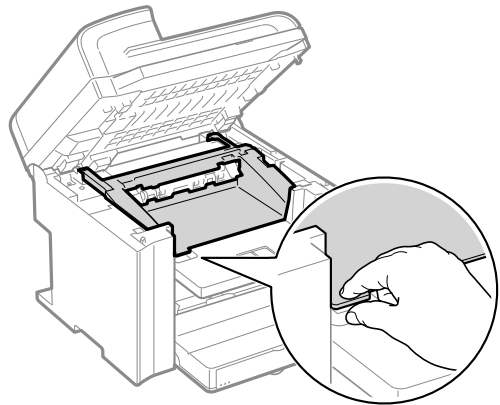
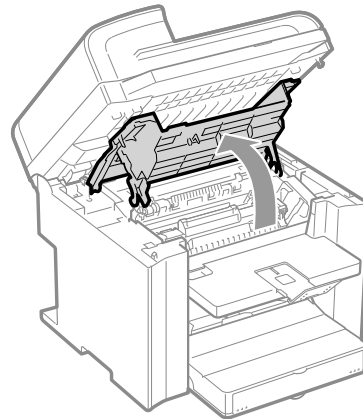
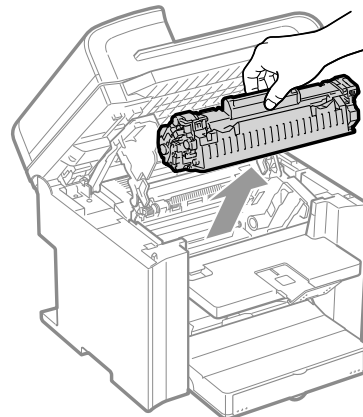
プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1 電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

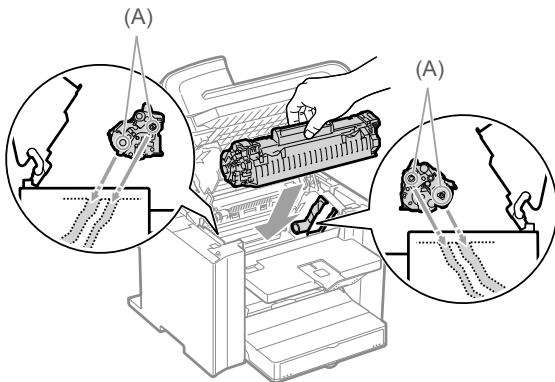
2 操作パネル部を持ちます。

3 操作パネル部を持ち上げます。

操作パネル部が持ち上げられないとき

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。
無理に持ち上げると、故障の原因になります。

※ 原稿台ガラスに本などの厚手の原稿をセットしていると、フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まりません。このようなときは、原稿を取り出してください。

4 トナーカバーの左手前にあるつまみを持ちます。

5 トナーカバーを持ち上げます。

6 トナーカートリッジを取り出します。

7 **清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除きます。**

8 **トナーカートリッジを取り付けます。**

左右の突起（A）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

9 **トナーカバーを閉めます。**

トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
無理に閉めると、故障の原因になります。

---

10 **操作パネル部をおろします。**

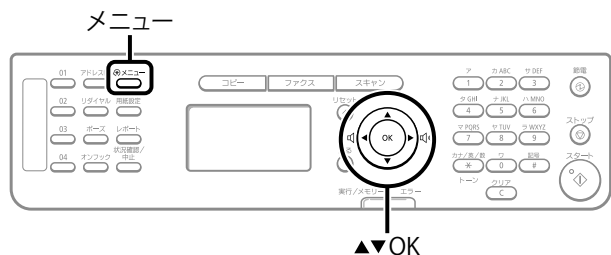
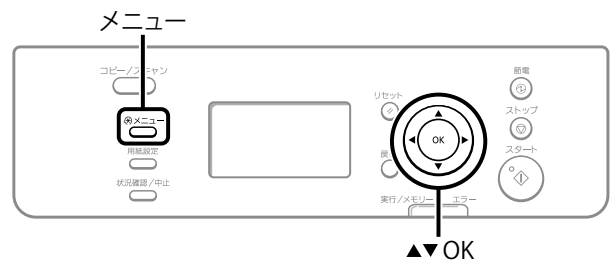
11 **電源コードを接続し、電源スイッチを入れます。**

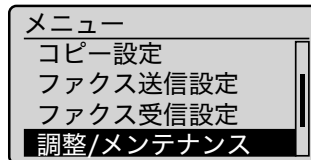
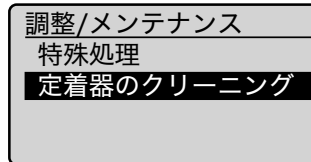
定着器のお手入れ

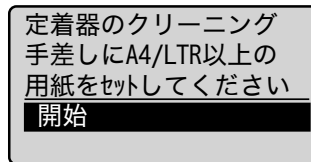
以下の場合、定着器が汚れている可能性があります。定着器をクリーニングしてください。

- プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合
- トナーカートリッジを交換したとき

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 **［ ］（メニュー）を押します。**

2 **［▲］［▼］で＜調整 / メンテナンス＞を選択して、［OK］を押します。**

3 **［▲］［▼］で＜定着器のクリーニング＞を選択して、［OK］を押します。**

4 **手差しトレイに、A4 サイズの普通紙をセットして、［OK］を押します。**

クリーニングが開始されます。約 90 秒かかります。

※ 定着器のクリーニングに使用する用紙は普通紙を推奨します。

開始されないときは

メモリーにジョブがある場合、クリーニングできません。

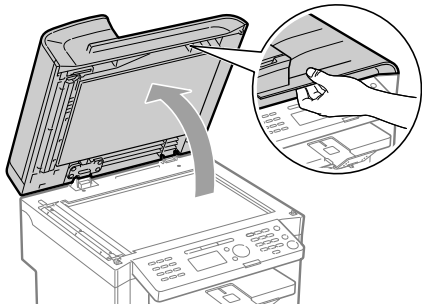
---

5 **［ ］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。**

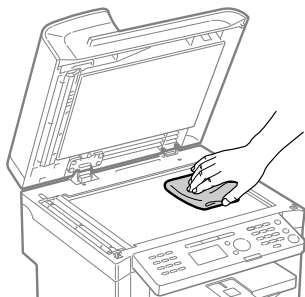
原稿台ガラスのお手入れ

以下の手順で、原稿台ガラスおよびフィーダーの下面の清掃をしてください。

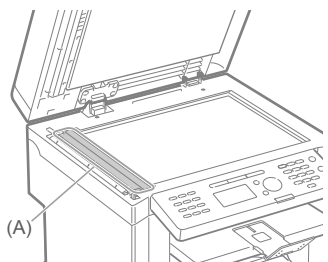
1 電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

2 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを開けます。

3 原稿台ガラスとフィーダーの下面を拭きます。

(1) 水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

(2) 乾いた柔らかい布で拭きます。

重要

原稿台ガラスを清掃するときの注意

原稿台ガラスの左端にある透明のシート (A) を折り曲げないよう注意してください。

4 フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを閉じます。

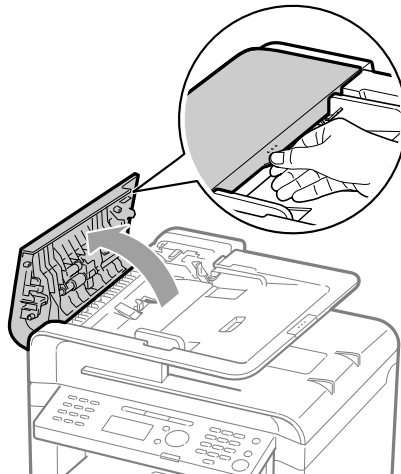
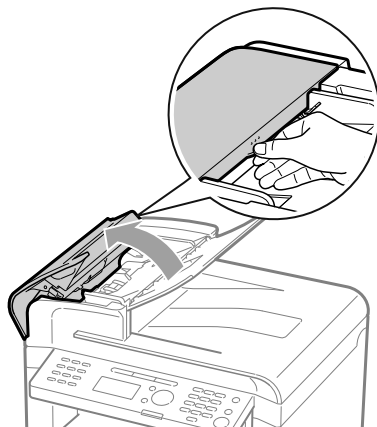
5 電源コードを接続し、電源スイッチを入れます。

フィーダーのお手入れ（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 のみ）

フィーダーを使用して原稿を読み取ったときに、ローラーについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされていることがあります。この場合は読み取りエリアとローラーを清掃してください。

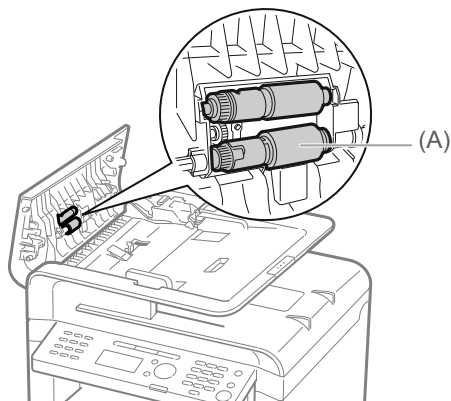
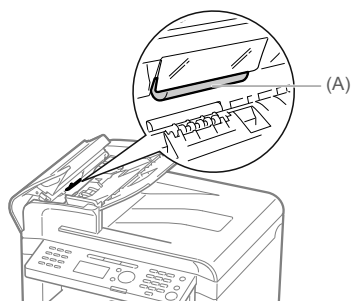
1 電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

2 フィーダーカバーを開けます。

- MF4580dn

- MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430

3 水を含ませた布で、フィーダー内部のローラー（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。

- MF4580dn

日常のメンテナンス

- MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430

4 フィーダーカバーを閉じます。

5 電源コードを接続し、電源スイッチを入れます。

日常のお手入れをするときのご注意

本製品のお手入れをする前に、以下のことをご確認ください。

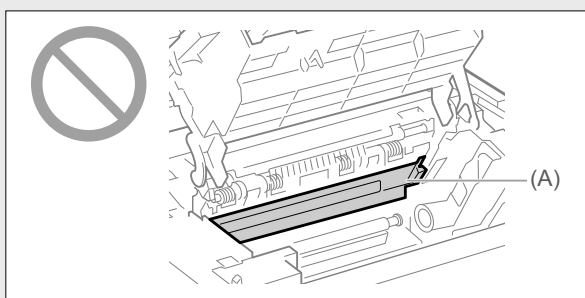
- メモリーにジョブが蓄積されていないことを確認してから、電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になることがあります。

注意

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーを閉めるとき

指を挟まないよう注意してください。

定着器（A）には触れない

使用中に高温になり、やけどの原因になることがあります。

衣服や手がトナーで汚れないように注意する

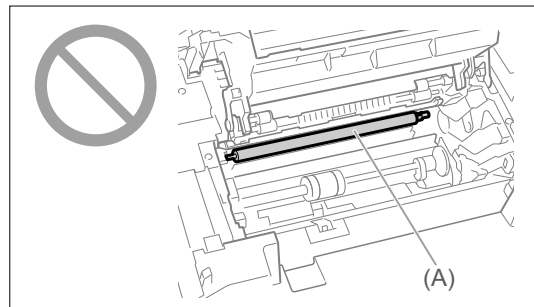
衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。
温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

フィーダーを清掃するときの注意

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。

ローラ（A）には触れない

本製品を損傷することがあります。

メモ

ファクスの送受信

電源プラグを抜いている間は、送受信できません。

プリント待機中のデータがある場合

電源スイッチを切るとデータは消去されます。

メモリー受信されたデータや送信予約など

電源プラグを抜いてから約 5 分間は保持されます。メモリーに保存されたジョブを確認するには、以下を参照してください。

「メモリーにあるファクス文書を確認／操作する」（→P.6-15）

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジは消耗品です。トナーカートリッジが寿命に近づくと、メッセージが表示されたり、次のような症状が出たりします。メッセージや症状に応じて適切に対処してください。

メモ

メッセージ表示

MF4430/MF4420n/MF4410 の場合は、トナーの残量が少なくなっても、メッセージは表示されません。

- メッセージが表示される（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）
  「メッセージが表示されたときは（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）」（→ P.8-6）
- 白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る
  「プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る」（→ P.8-7）

重要

トナーカートリッジについて

トナーカートリッジの印字可能枚数や取り扱い、トナーの節約や残量の確認方法については、以下を参照してください。

「同梱されているトナーカートリッジについて」（→ P.8-7）
「交換用トナーカートリッジについて」（→ P.8-7）
「トナーカートリッジの取り扱い」（→ P.8-7）
「トナー残量を確認する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）」（→ P.8-8）
「トナーを節約する」（→ P.8-9）
「消耗品のご購入相談窓口」（→ P.8-14）

※本製品に同梱されているトナーカートリッジと交換用のトナーカートリッジでは、印字可能枚数が異なります。

メッセージが表示されたときは（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

本製品の使用中にトナーが少なくなると、ディスプレーにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
トナーカートリッジを準備してください。	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき。	トナーカートリッジの中のトナーを均一にならしてください。 「トナーカートリッジを交換する前に」（→ P.8-10） 大量にプリントするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。 「トナーカートリッジを交換する」（→ P.8-11）
トナーが残りわずかです	トナーカートリッジが寿命に近づいたとき。	トナーカートリッジの中のトナーを均一にならしてください。 「トナーカートリッジを交換する前に」（→ P.8-10） メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。 「トナーカートリッジを交換する」（→ P.8-11） このメッセージが表示されているときは、受信したファクスはプリントされず、メモリに保存されます。また、レポートの自動出力を設定していても、プリントされません。 <受信機能設定>の<トナー残りわずか時の印字継続>を<する>に設定すれば、プリントを継続することができますが、プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る可能性があります。 ☞ e- マニュアル→基本操作→レポートの自動出力を設定する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ） 「トナー残りわずか時の印字継続」（→ P.6-22）

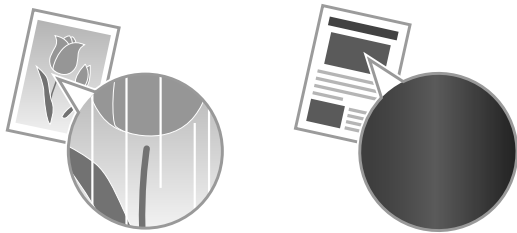
重要

白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る

プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る場合は、メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、次の項目を参照して対処してください。

「プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る」（→ P.8-7）

プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る

トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出ます。

※プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出たときを交換の目安としてください。

▼このような症状が出たら

トナーカートリッジを交換する前に、次に記載されている操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。

「トナーカートリッジを交換する前に」（→ P.8-10）

▼プリント結果が改善されないとき

上記の操作をしてもプリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出るときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

「トナーカートリッジを交換する」（→ P.8-11）

同梱されているトナーカートリッジについて

同梱されているトナーカートリッジの平均印字可能枚数は次のとおりです。

Canon Cartridge 328 Starter（キヤノン　カートリッジ　３２８　スターター）	平均印字可能枚数 *1：1,000 枚

*1 平均印字可能枚数は、「ISO/IEC 19752」*2 に準拠し、A4 サイズの普通紙で、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。
*2 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

交換用のトナーカートリッジの平均印字可能枚数は、同梱されているトナーカートリッジと異なります。

交換用トナーカートリッジについて

トナーカートリッジは、本製品をお買い求めの販売店などでお買い求めください。
トナーカートリッジは、次の表の記載を目安に交換してください。ただし、本製品の設置環境やプリントする用紙サイズ、原稿の種類によって、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

トナーカートリッジ	交換の目安
Canon Cartridge 328 （キヤノン　カートリッジ　３２８）	平均印字可能枚数 *1： 2,100 枚

*1 平均印字可能枚数は、「ISO/IEC 19752」*2 に準拠し、A4 サイズの普通紙で、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。
*2 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

重要

交換用トナーカートリッジについて

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をお薦めします。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410	Canon Cartridge 328 （キヤノン　カートリッジ　３２８）

トナーカートリッジの取り扱い

トナーカートリッジのお取り扱いには、以下の点にご注意ください。

注意

トナーカートリッジを火の中に投げ入れない

トナーが発火してやけどの原因になることがあります。

トナーカートリッジからトナーが漏れたとき

吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

トナーカートリッジを本体から取り外すとき

トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください

もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジは分解しないでください

トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピューター画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラムに触れないように必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナーカートリッジを保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示にしたがって処理してください。

トナーカートリッジの偽造品にご注意ください。

トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。

「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。

「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

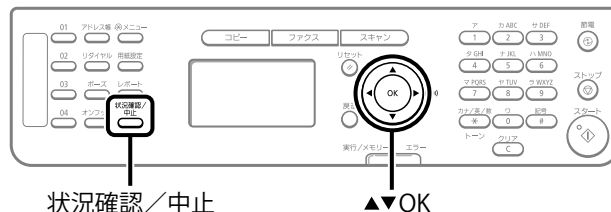
http://www.canon.com/counterfeit

トナー残量を確認する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

メモ

トナー残量の確認

MF4430/MF4420n/MF4410 の場合は、トナー残量を確認することはできません。

この操作で使用するキー

1 ［　］（状況確認 / 中止）を押します。

2 ［▲］［▼］で<デバイス状況>を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で<トナー残量>を選択して、［OK］を押します。

トナー残量が表示されます。

メモ

トナー残量の表示

3 段階で表示されます。

- ＜良好＞
- ＜少ない＞
  ディスプレーに＜トナーカートリッジを準備してください。＞が表示されます。
- ＜残りわずか＞
  ディスプレーに＜トナーが残りわずかです＞が表示されます。
  対処方法については、以下を参照してください。
  ☞ e- マニュアル→トラブルシューティング→メッセージが表示されたら

4 ［　　］（状況確認 / 中止）を押して、＜トナー残量＞画面を閉じます。

トナーを節約する

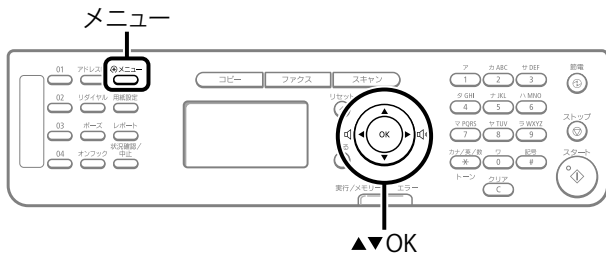
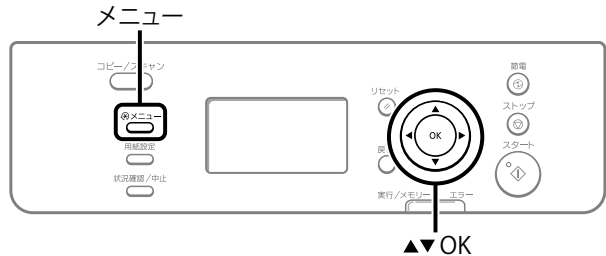
コピー時やファクス時に、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

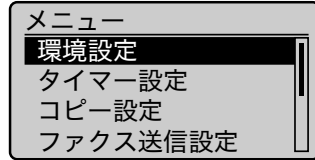
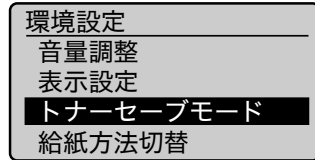
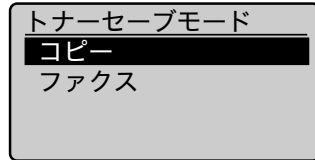
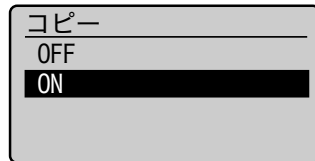
メモ

プリント時にトナーを節約したいとき

プリンタードライバーの［印刷品質］ページにある［トナー節約モード］を設定してください。
☞ e- マニュアル→プリントする→プリント機能の紹介→［印刷品質］ページ

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

1 ［　　］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜環境設定＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜トナーセーブモード＞を選択して、［OK］を押します。

4 ［▲］［▼］で設定する機能を選択して、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で＜ OFF ＞または＜ ON ＞を選択して、［OK］を押します。

＜ OFF ＞	トナーセーブモードを使用しません。
＜ ON ＞	トナーセーブモードを使用します。

メモ

＜トナーセーブモード＞を＜ ON ＞に設定したとき

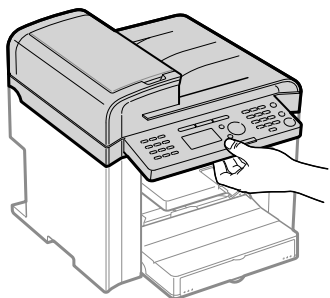
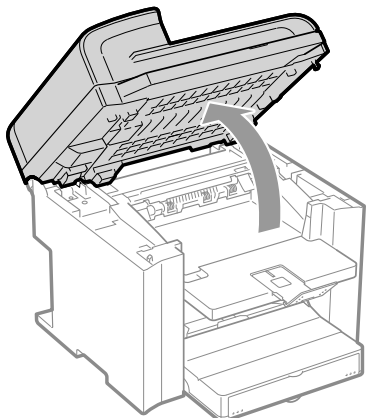
トナーの消費量は節約できますが、プリント結果が薄くなり、細い線や濃度の薄いプリントが不鮮明になることがあります。

6 ［　　］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

トナーカートリッジを交換する前に

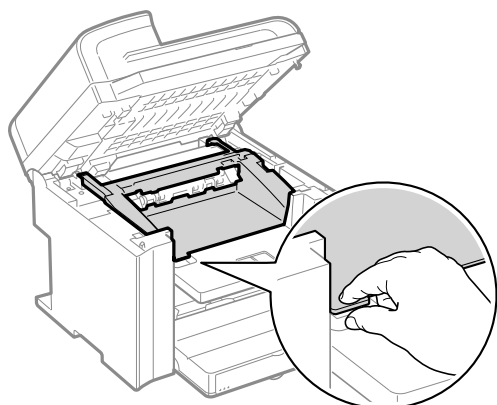
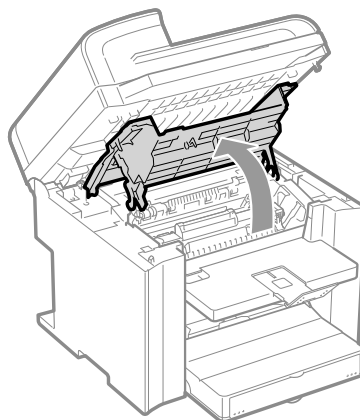
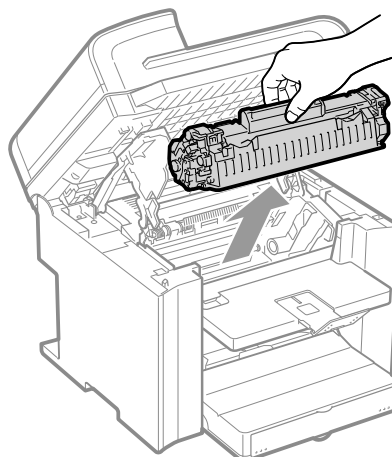
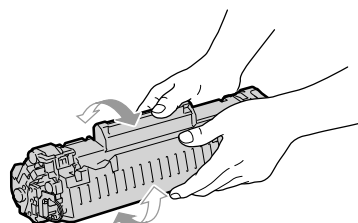
トナーカートリッジの交換を始める前に、「トナーカートリッジを交換するときのご注意」（→ P.8-12）をご覧ください。

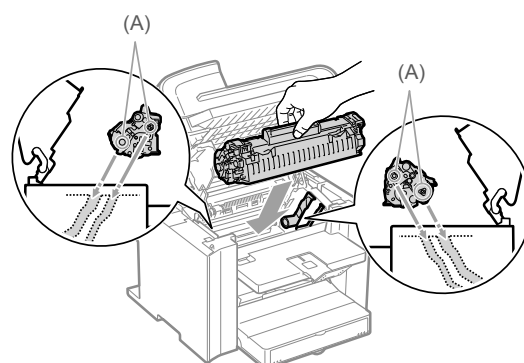
トナーカートリッジの寿命が近づいたら、交換する前に次の操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。

1 操作パネル部を持ちます。

2 操作パネル部を持ち上げます。

操作パネル部が持ち上げられないとき

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。
無理に持ち上げると、故障の原因になります。

※ 原稿台ガラスに本などの厚手の原稿をセットしていると、フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まりません。このようなときは、原稿を取り出してください。

3 トナーカバーの左手前にあるつまみを持ちます。

4 トナーカバーを持ち上げます。

5 トナーカートリッジを取り出します。

6 トナーカートリッジを図のように 5 ～ 6 回振って、内部のトナーを均一にならします。

7 トナーカートリッジを取り付けます。

左右の突起（A）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

8 トナーカバーを閉めます。

トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
無理に閉めると、故障の原因になります。

9 操作パネル部をおろします。

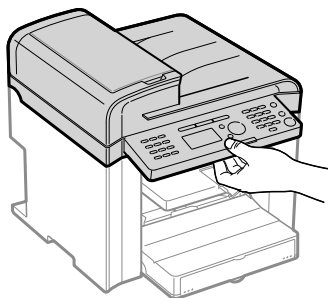
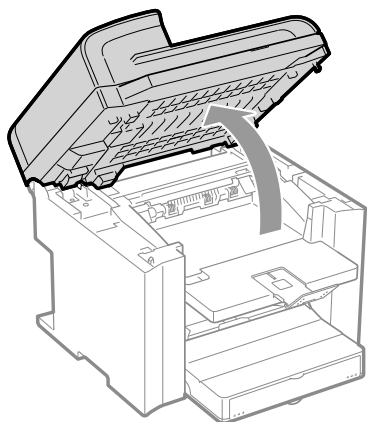
トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換を始める前に、「トナーカートリッジを交換するときのご注意」（→ P.8-12）をご覧ください。

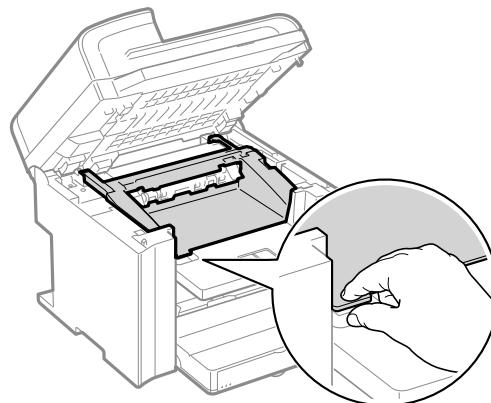
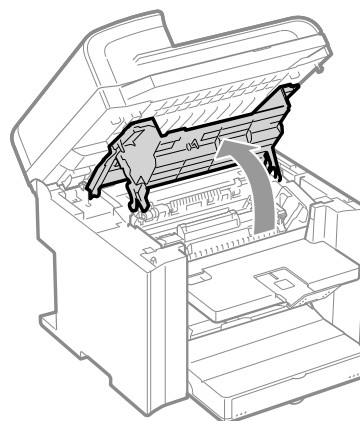
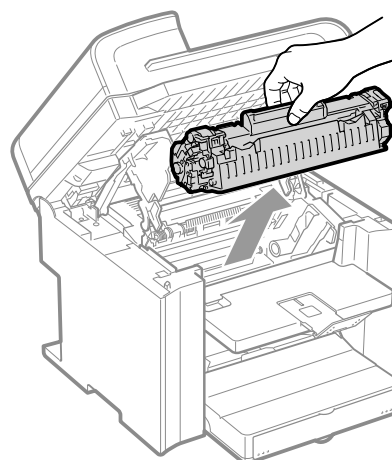
メモ

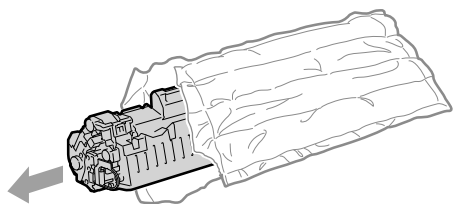
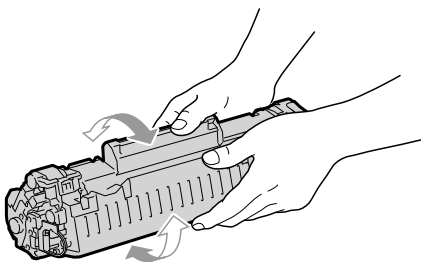
トナーカートリッジの状態を確認する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

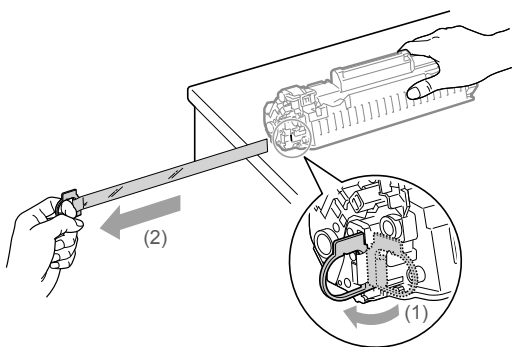
操作パネルでトナーカートリッジの状態を確認することができます。
「トナー残量を確認する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）」（→ P.8-8）

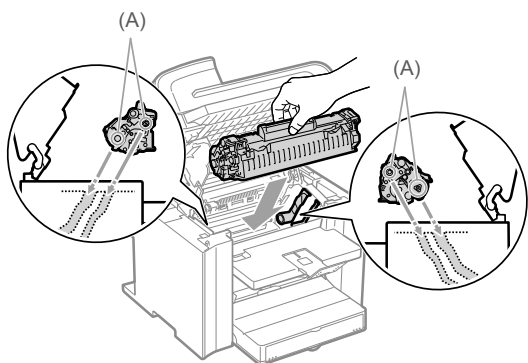
1 操作パネル部を持ちます。

2 操作パネル部を持ち上げます。

操作パネル部が持ち上げられないとき

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。
無理に持ち上げると、故障の原因になります。
※ 原稿台ガラスに本などの厚手の原稿をセットしていると、フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まりません。このようなときは、原稿を取り出してください。

3 トナーカバーの左手前にあるつまみを持ちます。

4 トナーカバーを持ち上げます。

5 トナーカートリッジを取り出します。

6 新しいトナーカートリッジを、保護袋から取り出します。

保護袋は、切り込みの部分から手で開けることができます。

7 トナーカートリッジを図のように 5 ～ 6 回振って、内部のトナーを均一にならします。

8 トナーカートリッジを平らなところに置いて、タブを取り外してからシーリングテープをゆっくりと完全に引き抜きます。

シーリングテープの長さは、約 50 cm です。

9 トナーカートリッジを取り付けます。

左右の突起（A）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

10 トナーカバーを閉めます。

トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
無理に閉めると、故障の原因になります。

11 操作パネル部をおろします。

トナーカートリッジを交換するときのご注意

「安全にお使いいただくために」の「保守／点検について」（→ P.xiv）もご覧ください。

警告

使用済みのトナーカートリッジを火中に投じない

トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

衣服や手がトナーで汚れないように注意する

衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

トナーが飛び散らないように注意する

シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりしないでください。

トナーが目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。

操作パネル部をおろすときの注意

指を挟まないようにしてください。

重要

交換用トナーカートリッジについて

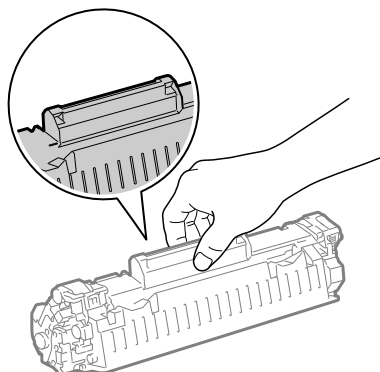
最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をお薦めします。

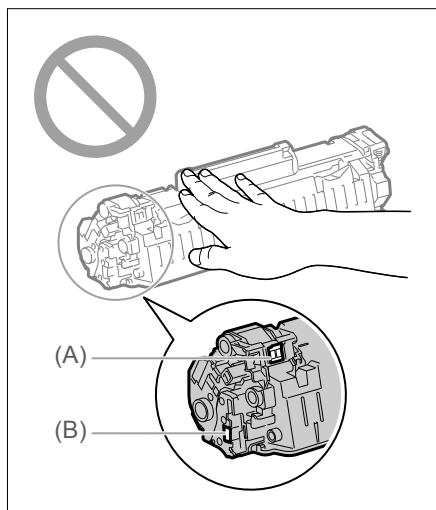
機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410	Canon Cartridge 328（キヤノン　カートリッジ　３２８）

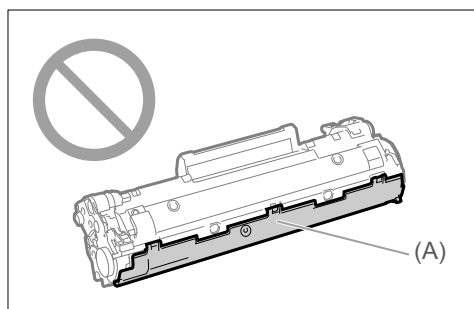
トナーカートリッジはセットする前に振る

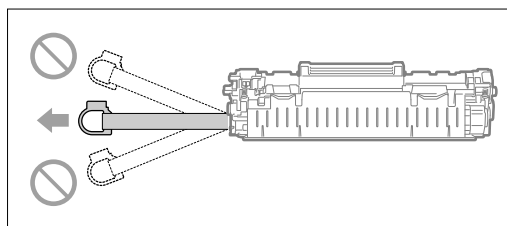
トナーが均一になっていないと、プリント品質が低下します。

トナーカートリッジは正しく持つ

トナーカートリッジを取り扱うときは、図のように正しく持ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

トナーカートリッジメモリー（A）や電気接点部（B）には触れない

故障の原因になることがあります。

ドラム保護シャッター（A）は開けない

内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印刷品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッター（A）を開けないでください。

シーリングテープを引き抜くときは

- 曲げて引いたり、横向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- 途中で引っかかっても、シーリングテープを最後まで完全に引き抜いてください。
- シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。

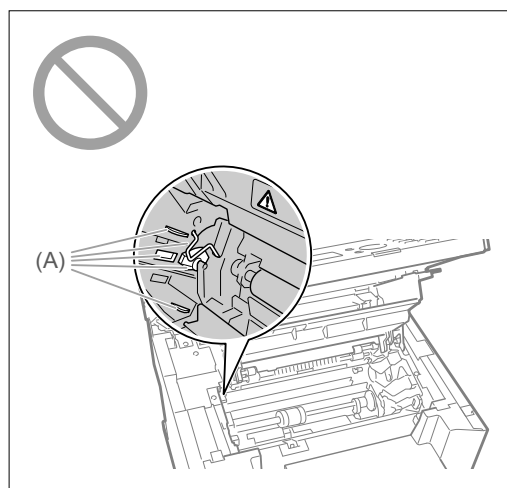
取り外したシーリングテープについて

地域の条例にしたがって処分してください。

保護袋は捨てずに保管する

トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本製品のメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り外したときに必要になります。

高圧接点部（A）には触れない

故障の原因になることがあります。

トナーカートリッジを取り付けた状態で、トナーカバーを開けたまま長時間放置しない

プリント品質低下の原因になることがあります。

メモ

梱包材について

梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

ファクス受信中に<トナーが残りわずかです>と表示された場合

受信したデータはプリントされずにメモリーに保存されます。

<トナー残りわずか時の印字継続>を<する>に設定している場合

トナーカートリッジを交換しなくても、受信したデータやレポートを続けてプリントすることができます。ただし、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかし、メモリー内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度プリントすることはできません。

「トナー残りわずか時の印字継続」(→ P.6-22)

使用済みトナーカートリッジの回収にご協力ください

「資源再利用について」(→ P.xvii)

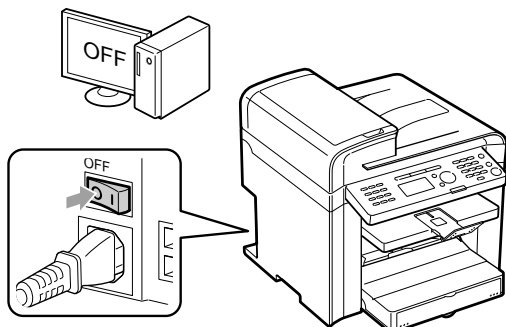
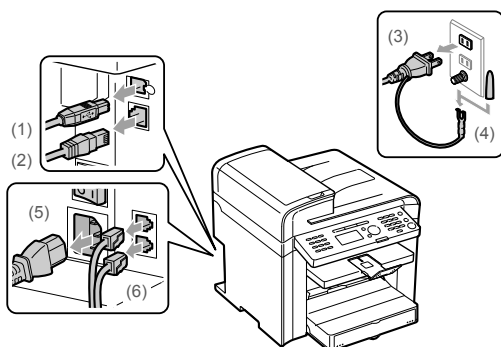
消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。
ご不明な場合は、「キヤノンお客様相談センター」までお問い合わせください。

本製品を移動するとき

移動を始める前に、「本製品を移動するときのご注意」（→ P.8-16）をご覧ください。

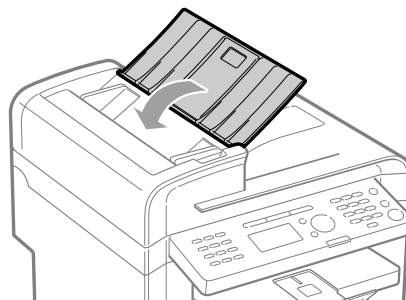
メンテナンスや移転などで本製品を移動するときは、必ず次の手順にしたがってください。

1 本製品とコンピューターの電源を切ります。

2 接続されているケーブルやコードを取り外します。

ケーブルやコードの取り外しかた

USB ケーブル *	(1) 本製品から抜く
LAN ケーブル *	(2) 本製品から抜く
電源コード	(3) 電源プラグを電源コンセントから抜く (4) アース線を専用のアース線端子から取り外す (5) 本製品から抜く
電話線 *	(6) 本製品から抜く

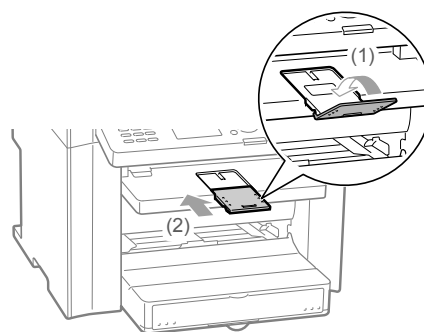
* 接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

続いて、手順 3 に進みます。
※ MF4580dn の場合は、原稿給紙トレイから原稿を取り出してから手順 4 へ進んでください。
MF4420n/MF4410 の場合は、手順 4 進んでください。

3 原稿給紙トレイを閉めます。

メモ

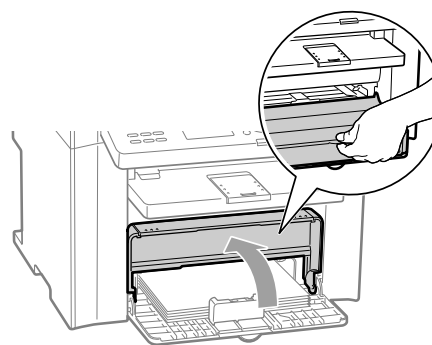
原稿がセットされているとき

原稿給紙トレイから原稿を取り出します。

4 排紙ストッパーを折りたたみ、排紙延長トレイを本体内部に押し込みます。

メモ

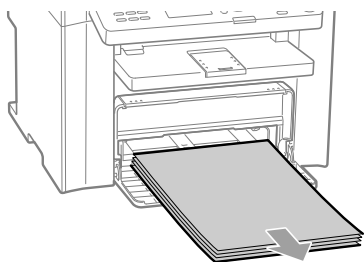
用紙が排紙されているとき

排紙トレイから用紙を取り出します。

5 用紙カバーを開けます。

メモ

手差しトレイに用紙がセットされているとき

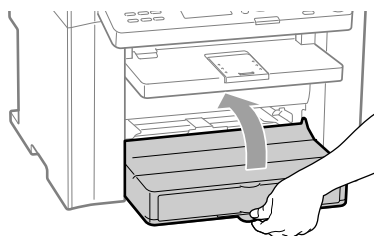
手差しトレイから用紙を取り出します。

6 用紙を取り出します。

メモ

後端の用紙ガイドが給紙カセットからはみ出しているとき

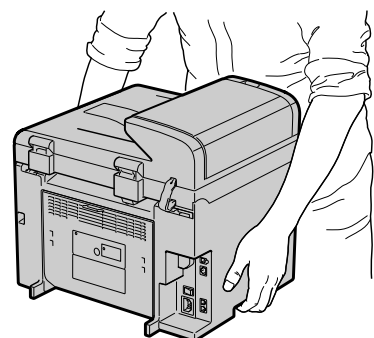
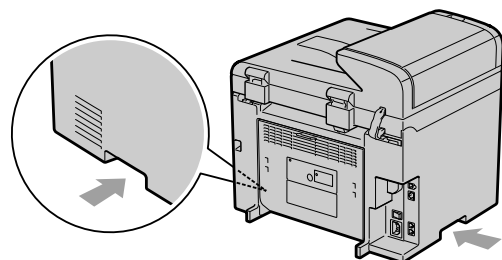
後端の用紙ガイドを、給紙カセットに収まる位置まで戻します。

7 用紙カバーを閉めます。

8 給紙カセットを閉めます。

9 設置場所から移動します。

カバーやトレイが閉まっていることを確認し、本製品の前面から取っ手に手を掛けて運んでください。

本製品の重さを確認してから、無理のないように持ち運んでください。

「本体仕様」（→ P.11-2）

10 移動場所にゆっくりとおろします。

メモ

設置手順について

本製品に付属のスタートアップガイドを参照してください。

移転や引っ越しなどで本製品を輸送するとき

輸送中の破損や故障を避けるため、次のようにしてください。

- トナーカートリッジを取り外す
- 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する
  ※購入時のパッケージ（箱）や梱包材がないときは、適した大きさの段ボールや適当な梱包材を使ってしっかりと梱包してください。

本製品を移動するときのご注意

本製品を移動させるとき

必ず本製品とコンピューターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。

そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

ゆっくりと慎重におろす

手や指などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要

カバーやトレイが開いた状態で本製品を持ち運ばない

必ず操作パネル部や給紙カセットなどが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

日常のメンテナンス

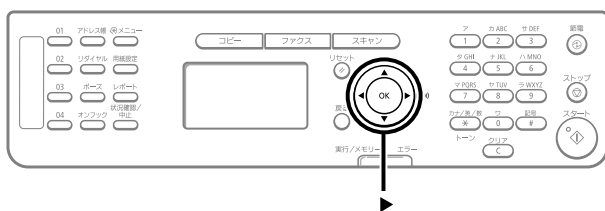
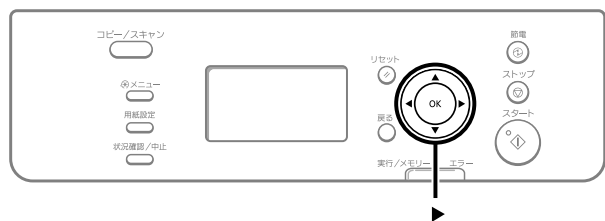
Chapter 9

困ったときには

紙づまりが起きたときや、トラブルが解決しないときなどの対処方法について説明しています。

用紙や原稿がつまったら

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

ディスプレーに<用紙がつまりました。>と表示された場合は、フィーダーか本体内部で紙づまりが起きています。画面に表示された手順にしたがって、つまった原稿や用紙を取り除いてください。次の手順を表示するには、[▶] を押してください。

用紙がつまりました。
[▶]キーで次の手順
を表示します。 ▶

「フィーダーにつまった原稿を取り除く」(→ P.9-3)
「本体内部につまった用紙を取り除く」(→ P.9-4)

警告

つまった原稿や用紙を取り除くとき

原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。

つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するとき

ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。

注意

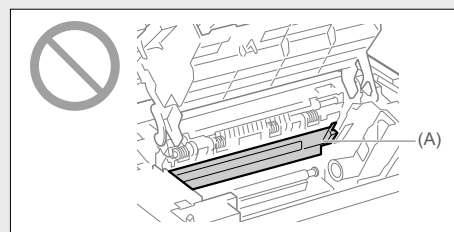
手や衣類にトナーが付着した場合

冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。

つまった原稿や用紙を取り除くとき

紙づまり時には、画面に表示されているメッセージにしたがって、つまっている用紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所には無理に手を入れないでください。けがややけどの原因になることがあります。

定着器（A）には触れない

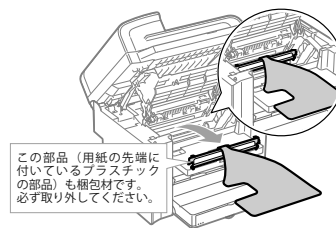
使用中に高温になり、やけどの原因になることがあります。

重要

用紙が破れた場合

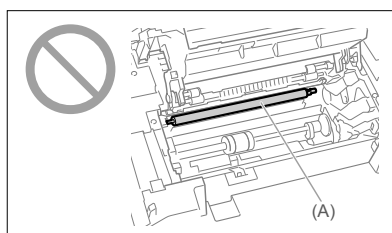
切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。

紙づまりが繰り返し起こる場合

以下を確認してください。

- 以下の梱包材が取り外されているかを確認してください。

- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか確認してください。
  「使用できる用紙について」(→ P.2-6)
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

ローラー（A）には触れない

本製品を損傷することがあります。

メモ

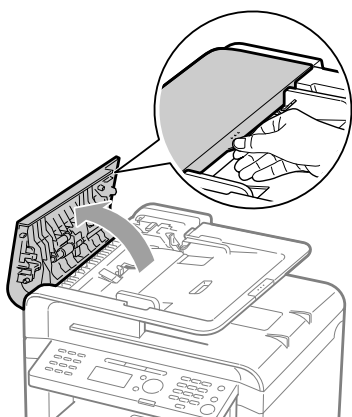
つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください

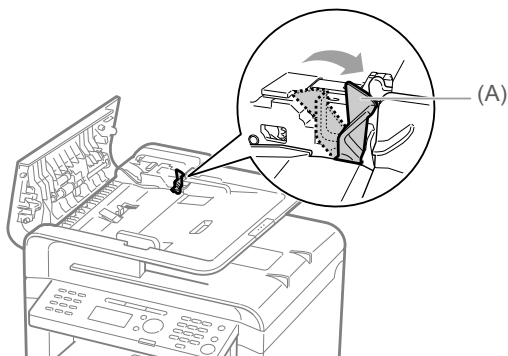
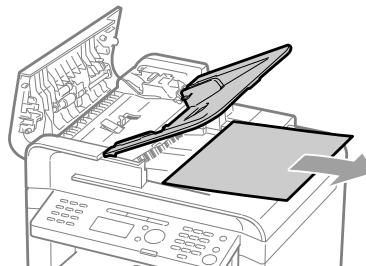
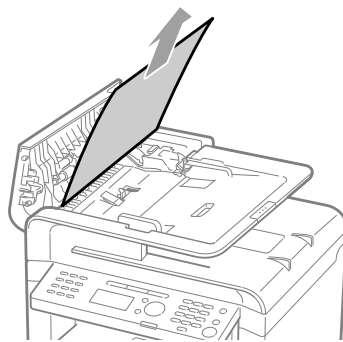
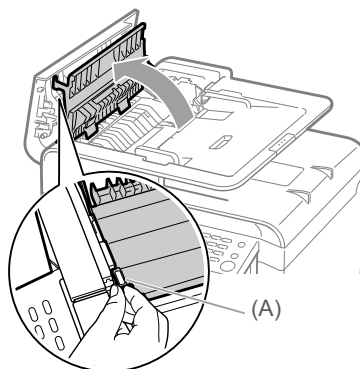
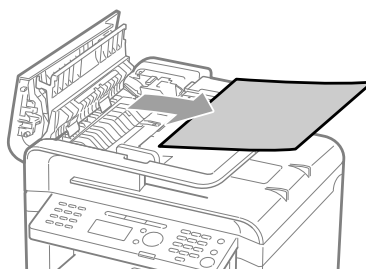
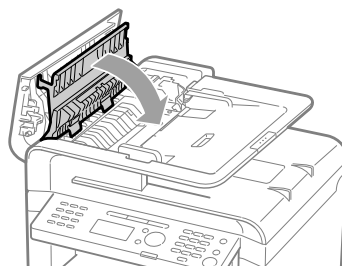
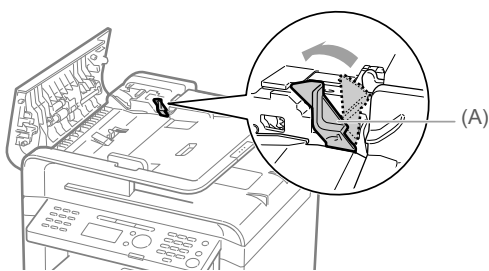
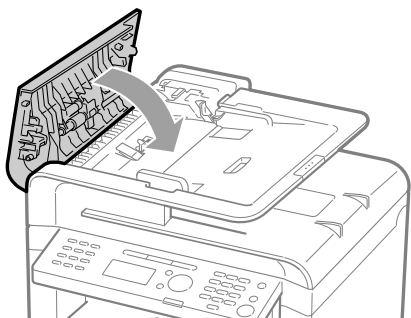
問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。

フィーダーにつまった原稿を取り除く

画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください。

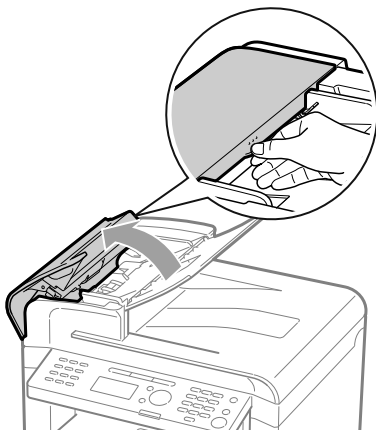
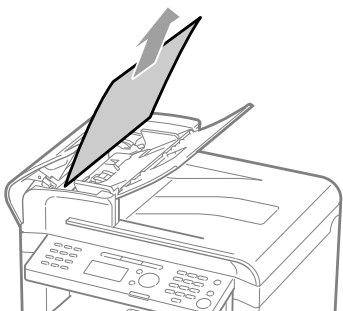
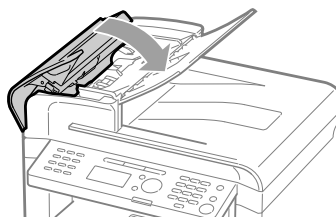
MF4580dn の場合

1 フィーダーにセットされている原稿を取り除きます。

2 フィーダーカバーを開けます。

3 圧解除レバー（A）を図の位置に動かします。

4 原稿をゆっくり引っぱって取り除きます。

5 緑色のつまみ（A）を持って、中カバーを開けます。

6 原稿をゆっくり引っぱって取り除きます。

7 中カバーを閉めます。

8 圧解除レバー（A）を元の位置に戻します。

9 フィーダーカバーを閉めます。

10 原稿をフィーダーにセットします。

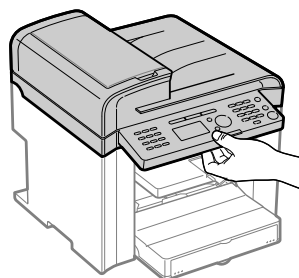
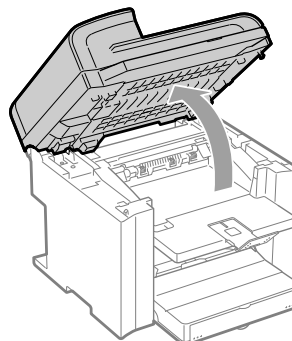
MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 の場合

1 フィーダーにセットされている原稿を取り除きます。

2 フィーダーカバーを開けます。

3 原稿をゆっくり引っぱって取り除きます。

4 フィーダーカバーを閉めます。

5 原稿をフィーダーにセットします。

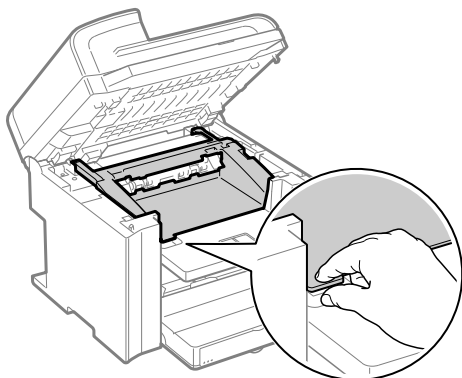
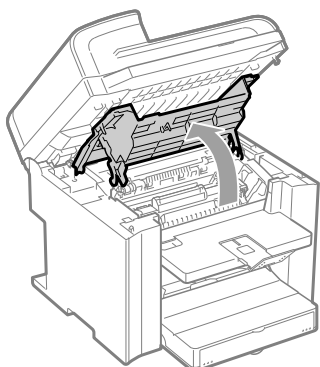
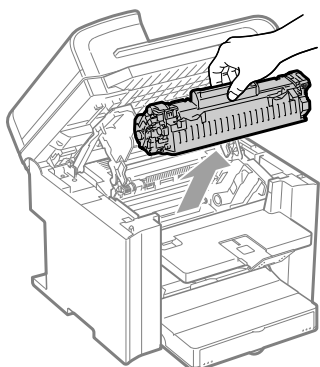
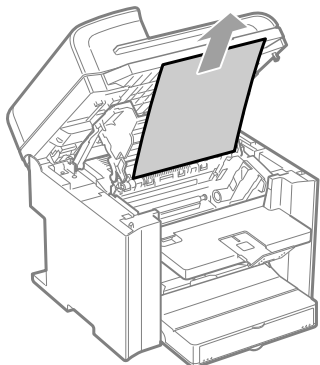
本体内部につまった用紙を取り除く

画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください。

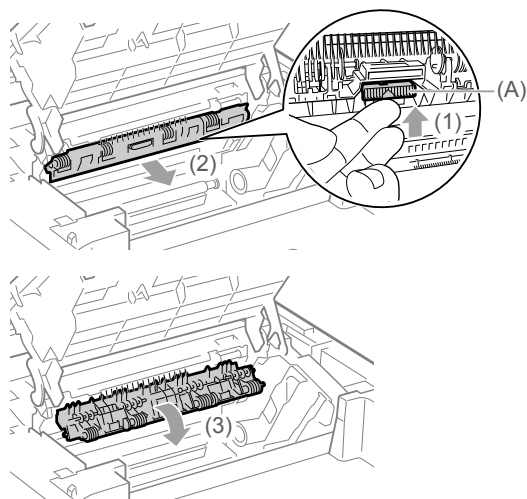
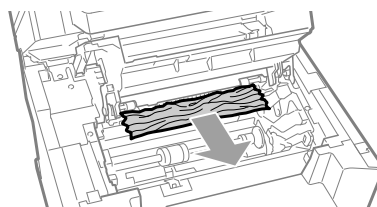
1 操作パネル部を持ちます。

2 操作パネル部を持ち上げます。

メモ

操作パネル部が持ち上げられないとき

フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まっているか確認してください。
無理に持ち上げると、故障の原因になります。
※原稿台ガラスに本などの厚手の原稿をセットしていると、フィーダーまたは原稿台ガラスカバーが完全に閉まりません。このようなときは、原稿を取り出してください。

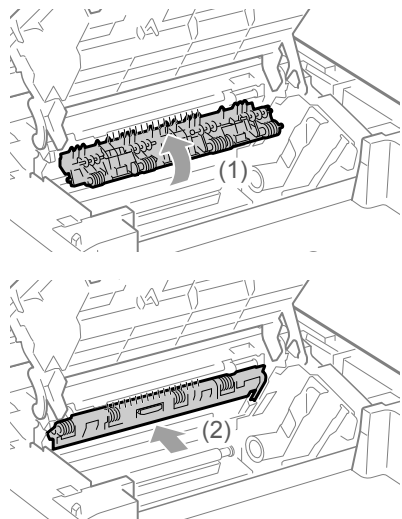
3 トナーカバーの左手前にあるつまみを持ちます。

4 トナーカバーを持ち上げます。

5 トナーカートリッジを取り出します。

6 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

つまった用紙の先端が出ていない場合

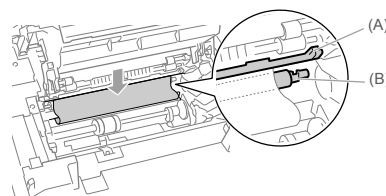
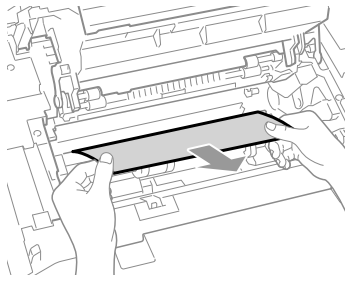
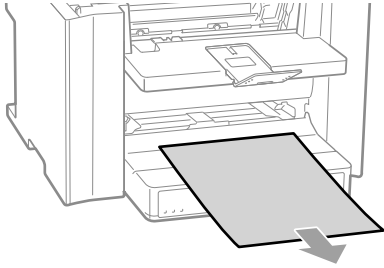
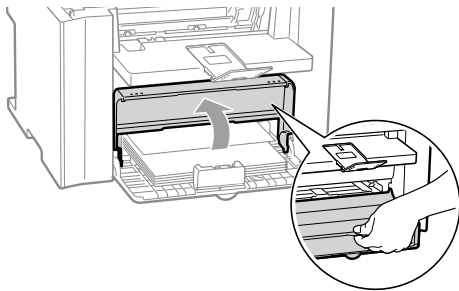
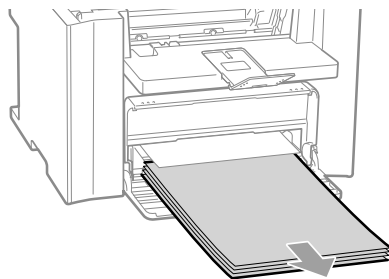
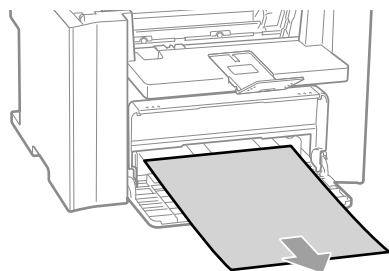
無理に引っぱらずに手順 7 に進んでください。

7 緑色のボタン（A）を押しながら、排紙ガイドを手前に引き出して、開けます。

8 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

つまった用紙の先端が出ていない場合

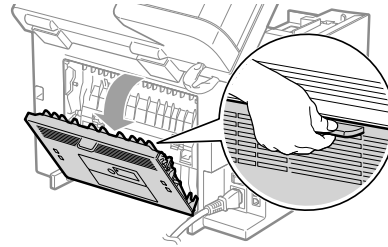
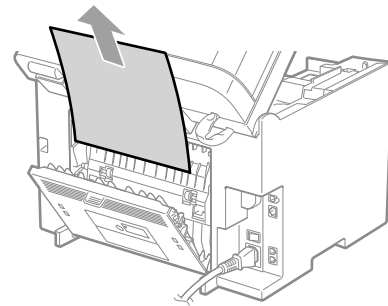
無理に引っぱらずに手順 9 に進んでください。

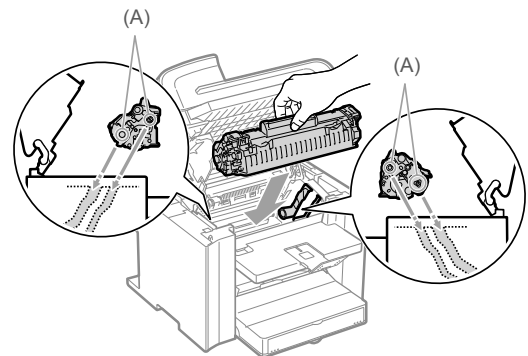
9 排紙ガイドを持ち上げて、確実に閉めます。

左右をしっかりと閉めてください。

10 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

(1) 定着器（A）とローラー（B）の間につまった用紙を、先端が見えるまで下方向に静かに引き出します。

（2）用紙の先端が出たら、つまった用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

11 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

12 用紙カバーを開けます。

13 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

14 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

15 給紙カセットに用紙をセットして、用紙カバーを閉めます。

- MF4580dn/MF4570dn/MF4550d の場合
  ☞ 引き続き、手順 16 に進みます。
- MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410 の場合
  ☞ 手順 19 に進みます。

16 後ろカバーを開けます。

17 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

18 後ろカバーを閉めます。

19 トナーカートリッジを取り付けます。
左右の突起（A）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

20 トナーカバーを閉めます。

トナーカバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
無理に閉めると、故障の原因になります。

21 操作パネル部をおろします。
プリント可能な状態になります。

メッセージが表示されたら

ディスプレーにメッセージが表示された場合、以下を参照して、対処してください。
☞ e- マニュアル→トラブルシューティング→メッセージが表示されたら

エラーコード

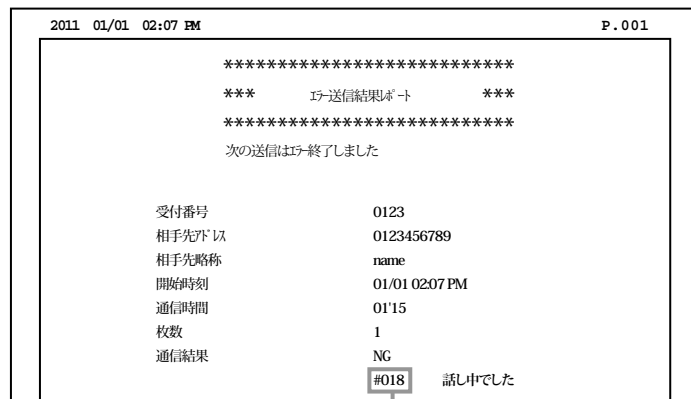
エラーコードは、エラーが起きた場合にエラーの履歴として記録される 3 桁のコードです。
次の箇所で確認することができます。

ファクスジョブのエラーコード	• エラー送信レポート • エラー受信レポート • システム状況画面のジョブ履歴

2011 01/01 02:07 PM　　P.001

****
***　エラー送信結果レポート　***
****

次の送信はエラー終了しました

受付番号	0123
相手先アドレス	0123456789
相手先略称	name
開始時刻	01/01 02:07 PM
通信時間	01'15
枚数	1
通信結果	NG
	#018　話し中でした

エラーコード

レポートの詳細については、以下を参照してください。
☞ e- マニュアル→基本操作→レポートの自動出力を設定する（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）
エラーコードが表示されたときの対処方法については、以下を参照してください。

#001	原因	原稿がつまっている可能性がある。
	処置	つまっている原稿を取り除いてください。
#003	原因	データ量が大きすぎるため、原稿を送信／受信するのに時間がかかる。
	処置 1	読み取り時の解像度を下げて送信してください。
	処置 2	読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分割して送信するよう、相手先に連絡してください。
#005	原因 1	相手先が 35 秒以内に応答しなかった。
	処置	もう一度はじめからやりなおしてください。また、相手先にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、ファクス番号にポーズを入れてください。
	原因 2	相手先のファクスが G3 ファクスでない可能性がある。
	処置	相手先に確認し、G3 ファクスに送信してください。相手先が G3 ファクスを持っていない場合は、相手先のファクスが対応している通信モードを使って送信しなおしてください。
#012	原因	相手機の記録紙がなくなったため送信できなかった。
	処置	相手先に用紙を補給してもらうよう連絡してください。

#018	原因 1	リダイヤルしても応答がなかった。相手先が通話中などで応答がなかったため送信できなかった。
	処置	しばらく待ってからもう一度やりなおしてみてください。それでも送信できない場合は、相手先のファクスの電源が入っているかどうか確認してもらってください。相手先が通話中の場合は、時間をおいてから送信しなおしてみてください。
	原因 2	相手が通話中などで送信できなかった。
	処置	相手先が通信可能な状態であることを確認して、もう一度やりなおしてください。
	原因 3	相手機との設定不一致のため送信できなかった。
	処置	相手先が通信可能な状態であることを確認して、もう一度やりなおしてください。
	原因 4	海外へファクス送信するときにポーズを挿入しなかった。
	処置	国番号または宛先のファクス番号のあとにポーズを挿入し、もういちどダイヤルしてください。ワンタッチに登録済みの宛先に送信するときは、詳細設定画面で国際送信設定を変更してください。
#022	原因	コンピューターからファクス送信が制限されている。
	処置	制限を解除する必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。 ☞ e- マニュアル→セキュリティー→宛先操作／送信機能を制限する→コンピューターからのファクス送信を制限する
#037	原因 1	メモリーがいっぱいになっている。
	処置 1	メモリーに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
	処置 2	コピージョブの場合、原稿を分けてコピーするか、＜原稿の種類＞の設定を＜文字 / 写真（高速コピー）＞にしてコピーしてください。 ☞ e- マニュアル→コピーする→原稿の画質を選んでコピーする
	原因 2	メモリーの容量以上のデータサイズである。
	処置	データの解像度を下げるまたはファイル形式を変更するなどして、容量を小さくしてください。
#099	原因	送信中または受信中のジョブをユーザー操作で中止した。
	処置	必要に応じてジョブをやり直してください。
#995	原因	送信待機中または受信待機中のジョブをユーザー操作で中止した。
	処置	必要に応じてジョブをやり直してください。

● ＜用紙と設定サイズが不一致＞と表示された場合

＜用紙設定＞メニューの＜カセット 1 ＞または＜手差し＞に設定されている用紙サイズと、給紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズが異なる場合に表示されます。このメッセージが表示された場合、次の操作を行います。

メモ

プリンタードライバーからプリントしているときは

［▲］［▼］で＜再開＞を選択して、［OK］を押すと、メッセージを無視して、現在セットされている用紙にプリントすることができます。ただし、画像が欠けるなど、正しくプリントされないことがあります。

セットされている用紙サイズに合わせて、＜用紙設定＞メニューを変更する

ジョブを中止してから、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-16）を参照して、＜用紙設定＞を変更してください。

重要

プリンタードライバーからプリントしているときは

コンピューター側で用紙サイズの設定が正しいかも確認してください。

＜用紙設定＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットする

（1）「用紙をセットする」（→ P.2-9）を参照して、＜用紙設定＞メニューで設定した用紙をセットしなおします。

（2）［▲］［▼］で＜再開＞を選択して、［OK］を押します。

故障かな？と思ったら

本製品のご使用中にトラブルや問題が発生したときは、修理を依頼される前に以下の項目をご確認いただき、処置を行ってください。

最初に確認してください

電源は入っていますか？

電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。

電源コードから電気が供給されているか確認してください。
別の電源コードを使うか、コードが途中で切れていないか電圧計で確認してください。

電源スイッチをオンにしてください。

問題がなかった場合

電源を入れたばかりではありませんか？

本製品が起動するまで、しばらくお待ちください。

問題がなかった場合

スリープモードになっていませんか？

操作パネルの［ ］（節電）を押して、スリープモードを解除してください。

問題がなかった場合

実行できない設定がされていませんか？

［ ］（スタート）を押しても入力無効音が鳴り、動作を開始しない場合は、本製品で実行できない組み合わせが設定されている可能性があります。設定内容を、再度確認してください。

問題がなかった場合

エラーランプが点灯／点滅していますか？

給紙カセットまたは手差しトレイに用紙が正しくセットされているか確認してください。
「用紙をセットする」（→ P.2-9）

紙づまりが起きているかどうか確認してください。
「用紙や原稿がつまったら」（→ P.9-2）

本製品の電源スイッチをオフにし、10 秒以上待ってからスイッチをオンにしてください。
問題が解決するとエラーランプが消え、ディスプレーは基本画面に戻ります。
エラーランプが点滅したままの場合は、電源コードを抜き、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。

問題がなかった場合

ディスプレーにメッセージが表示されていますか？

操作パネルのディスプレーにエラーメッセージが表示されているときは、以下の項目を参照して、処置を行ってください。
「メッセージが表示されたら」（→ P.9-7）
通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。
☞ e- マニュアル→基本操作→リストをプリントする→通信管理レポートをプリントする（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

問題がなかった場合

電話回線は正しく接続／設定されていますか？（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

電話線コードが正しく接続されているか確認してください。本体の裏側にある電話回線端子と外部機器端子に接続するケーブルが逆に接続されていないか確認してください。
☞ スタートアップガイド→「3 ファクスの設定と接続をする」

電話回線の種類（ダイヤル／プッシュ）が正しく設定されているか確認してください。電話回線の種別は自動的に判別されるように設定されています。自動的に判別するには、＜回線種類の選択＞が＜自動＞に設定されているか確認して、本製品の電源スイッチをオフにし、10 秒以上待ってからスイッチをオンにしてください。そのあと、ファクスを送信してください。
上記の手順を行ってもファクスを送信できない場合（特にファクスを受信できても送信できない場合）は、電話回線の種別が自動で判別されていない可能性があります。この場合は、電話回線の種別を自動ではなく手動で設定してください。
「回線種類の選択」（→ P.6-20）

重要

構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合
電話回線の種別は自動的に判別されません。このような場合も、電話回線の種別を手動で設定してださい。

電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。電話回線の状態に影響を及ぼすことがあります。

トラブルが解決しない場合

それでもトラブルが解決しない場合

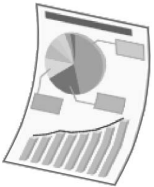
e- マニュアルの「トラブルシューティング」を参照して、トラブルを解決してください。

プリント結果が良くない

メモ

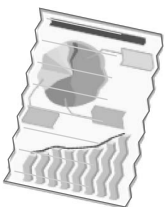
キヤノンお客様相談センターについて

e- マニュアルに記載されていない症状が起こったときや、記載されている対処をしてもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

用紙がカールする

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞吸湿した用紙を使用している	
対処 1	未開封の新しい用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）
対処 2	普通紙（60 ～ 90g/m^2）を使用している場合は、プリンタードライバーで次の操作を行います。 1.［ページ設定］ページを表示する 2.［用紙種類］を［普通紙 L］に設定する
対処 3	操作パネルで＜特殊モード V ＞の設定を変更してください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 改善効果は次の順序で強くなります。 ＜ OFF ＞→＜モード 1 ＞→＜モード 2 ＞→＜モード 3 ＞ （効果：弱）　（効果：強） ※用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、カールが改善することがあります。その場合、設定値を＜ OFF ＞にしてご使用ください。 ※本項目は、次のいずれかの場合にのみ有効です。 • ＜用紙サイズ＞が＜ B5 ＞、＜ A5 ＞、＜ STMT ＞、＜ EXEC ＞に設定されている • ＜用紙種類＞が＜普通紙＞、＜普通紙 L ＞、＜再生紙＞、＜色紙＞、＜ラフ紙 1 ＞、＜封筒＞に設定されている ※改善効果を強くすると、プリント速度が遅くなります。

＜原因 2 ＞適切な用紙を使用していない	
対処	本製品で使用できる用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

用紙がしわになる

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞用紙が正しくセットされていない	
対処	用紙を正しくセットしてください。 「用紙をセットする」（→ P.2-9）

<原因 2 >吸湿した用紙を使用している	
対処	未開封の新しい用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

<原因 3 >適切な用紙を使用していない	
対処	本製品で使用できる用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

<原因 4 >本機の内部に異物がある	
対処	本機の内部にある異物を取り除いてください。

<原因 5 >用紙の種類や使用環境によっては、用紙がしわになることがある	
対処	操作パネルで<特殊モード V >の設定を変更してください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 改善効果は次の順序で強くなります。 < OFF >→<モード 1 >→<モード 2 >→<モード 3 > （効果：弱）（効果：強） ※用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、しわが改善することがあります。その場合、設定値を< OFF >にしてご使用ください。 ※本項目は、次のいずれかの場合にのみ有効です。 • <用紙サイズ>が< B5 >、< A5 >、< STMT >、< EXEC >に設定されている • <用紙種類>が<普通紙>、<普通紙 L >、<再生紙>、<色紙>、<ラフ紙 1 >、<封筒>に設定されている ※改善効果を強くすると、プリント速度が遅くなります。

印字ムラが出る

原因に応じて次の対処を行ってください。

<原因 1 >用紙が湿っている、あるいは乾燥している	
対処	未開封の新しい用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

<原因 2 >トナーが残り少なくなっている	
対処	トナーカートリッジを取り出して、ゆっくり 5 〜 6 回振ってトナーをならしてからセットしなおします。 「トナーカートリッジを交換する前に」（→ P.8-10）

<原因 3 >トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	
対処	新しいトナーカートリッジに交換してください。 「トナーカートリッジの交換」（→ P.8-6）

<原因 4 >細線をプリントした場合に、ムラが出ることがある	
対処	操作パネルで<特殊モード J >の設定を< ON >にしてください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 ※<特殊モード J >を< ON >に設定すると、以下の現象が発生することがあります。 • 精細さが低下する • 新品のトナーカートリッジ使用時にプリントしない部分にトナーが載る • トナーの消費量が増える

白く抜ける

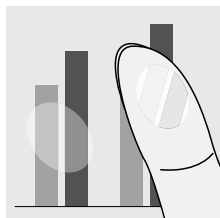
原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞適切な用紙を使用していない	
対処	本製品で使用できる用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

＜原因 2 ＞吸湿した用紙を使用している	
対処	未開封の新しい用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

＜原因 3 ＞トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	
対処	新しいトナーカートリッジに交換してください。 「トナーカートリッジの交換」（→ P.8-6）

＜原因 4 ＞濃淡の強い文書をプリントした場合、文字や画像の輪郭が白く抜けることがある	
対処	プリンタードライバーで［特殊印字処理］の設定を［特殊設定 2］にしてください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 ※［特殊設定 2］に設定すると、［しない］や［特殊設定 1］に比べプリント濃度が薄くなります。また、文字や線がかすれることがあります。

トナーの定着性が悪い

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞用紙の種類の設定が正しくない	
対処	用紙の種類を正しく設定してください。 ※表面の粗い用紙を使用している場合は、次のいずれかに設定してください。 ・ ＜ラフ紙 1 ＞（60 ～ 90 g/m^2） ・ ＜ラフ紙 2 ＞（90 ～ 120 g/m^2） ・ ＜ラフ紙 3 ＞（120 ～ 163 g/m^2） 「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-16）

＜原因 2 ＞適切な用紙を使用していない	
対処	本製品で使用できる用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

＜原因 3 ＞使用環境 (特に低温度環境) によっては、十分にトナーが定着されずに、プリントがかすれてしまうことがある	
対処	操作パネルで＜特殊モード K ＞の設定を＜ ON ＞にしてください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 ※使用環境を変えることで設定を変更しなくても、定着性が改善することがあります。 ※本項目を＜ ON ＞に設定すると、プリント速度が遅くなります。

すじ状の汚れが付く

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞用紙の種類や使用環境によっては、すじ状の汚れが付くことがある	
対処 1	未開封の新しい用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）
対処 2	**コピー、ファクス受信プリント時** 操作パネルで＜特殊モード Z ＞の設定を変更してください。 **コンピューターからのプリント時** プリンタードライバーで［特殊印字モード］の設定を変更してください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 改善効果は次の順序で強くなります。 ＜ OFF ＞→＜モード 1 ＞→＜モード 2 ＞→＜モード 3 ＞→＜モード 4 ＞ （効果：弱）　（効果：強） ※用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着しなくなることがあります。 ※改善効果を強くすると、プリント濃度が薄くなります。また、輪郭がはっきりしなくなったり、粗さが多少目立つことがあります。
対処 3	**ファクス受信プリント時** 操作パネルで＜特殊モード C ＞の設定を＜ ON ＞にしてください。 **コピー、コンピューターからのプリント時** 操作パネルで＜特殊モード D ＞の設定を＜ ON ＞にしてください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 ※用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着しなくなることがあります。 ※＜特殊モード Z ＞に比べ改善効果は強くなりますが、プリント速度が遅くなります。 ※本項目を＜ ON ＞に設定すると、＜特殊モード Z ＞の設定は無視されます。

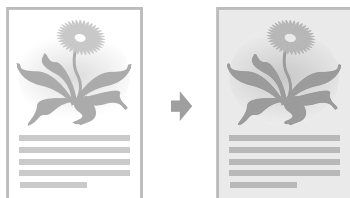
＜原因 2 ＞トナーカートリッジを交換した、またはプリントを長期間行わなかった	
対処	操作パネルで＜特殊モード B ＞の設定を変更してください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 改善効果は次の順序で強くなります。 ＜ OFF ＞→＜モード 1 ＞→＜モード 2 ＞→＜モード 3 ＞ （効果：弱）　（効果：強） ※設定を変更しなくても、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着しなくなることがあります。 ※改善効果を強くすると、プリント速度が遅くなります。

文字やパターンのまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く

原因に応じて次の対処を行ってください。

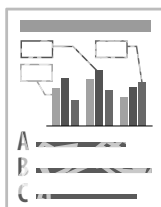
＜原因 1 ＞適切な用紙を使用していない	
対処	本製品で使用できる用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.2-6）

<原因 2 >用紙の種類（特に厚紙）や使用環境（特に低湿度環境）によっては、トナーが飛び散ったような跡が付くことがある	
対処	操作パネルで<特殊モード U >の設定を< ON >にしてください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 ※本項目は、通常< OFF >に設定してご使用ください。上記の症状が発生したときのみ、本項目の設定を変更してください。 ※本項目を< ON >に設定すると、用紙の種類 (特に薄紙) や使用環境 (特に高湿度環境) によっては、プリント品質が低下することがあります。

印字が全体的に黒ずむ

原因に応じて次の対処を行ってください。

<原因 1 >コピー時の濃度の設定が適切でない	
対処	操作パネルで<濃度>または<濃度補正>を薄くなるよう調整してください。 「濃度を調整してコピーする」（→ P.3-4） ☞ e- マニュアル→コピーする→濃度を調整してコピーする→濃度を微調整する

<原因 2 >プリンターが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている	
対処	本製品を移動してください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧

コピーした文字や細線がかすれる

次の対処を行ってください。

<原因><原稿の種類>の設定が<文字／写真（高速コピー）>（初期値）になっている	
対処	<原稿の種類>の設定を<文字>にしてコピーしてください。 ☞ e- マニュアル→コピーする→原稿の画質を選んでコピーする

プリントしたバーコードが読み取れない

次の対処を行ってください。

<原因>工場出荷時の設定でバーコードをプリントした場合、読み取れないことがある	
対処	プリンタードライバーで［特殊印字処理］の設定を［特殊設定 1］にしてください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 ※［特殊設定 1］に設定すると、［しない］に比べプリント濃度が薄くなります。また、文字や線がかすれることがあります。

両面プリント時に紙づまりが頻繁に起こる

次の対処を行ってください。

＜原因＞用紙の種類（特に薄い用紙やカールしている用紙）によっては、両面プリント時に紙づまりが頻繁に起こることがある	
対処	操作パネルで＜特殊モードＩ＞の設定を＜ ON ＞にしてください。 ☞ e- マニュアル→メンテナンス→特殊モード一覧 ※本項目は、通常＜ OFF ＞に設定してご使用ください。上記の症状が発生したときのみ、本項目の設定を変更してください。 ※薄い用紙以外にプリントするときに本項目を＜ ON ＞に設定すると、画像が白く抜けることがあります。

停電のときには

電力供給が止まっている間、本製品は使用できません。

停電時のファクス機能について

- 原稿を送受信できません。
- 外付け電話機で電話をかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機で電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

重要

電源供給が止まったときのデータ保存

停電の発生や電源コードが誤って抜けるなどが原因で電源供給が止まっても、メモリーに蓄積されていた送受信データは約 5 分間保存されます。

メモ

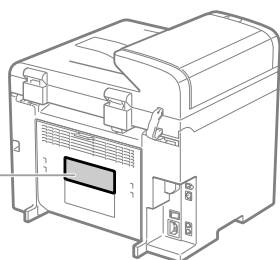
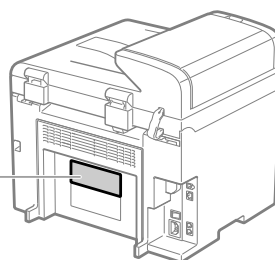
内蔵バッテリーの充電について

内蔵バッテリーを完全に充電するには電源を入れてから約 24 時間かかります。
充電が不十分だとメモリー内にデータがきちんと保存されない場合があります。

トラブルが解決しない場合

トラブルシューティングを参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。
ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410）
- シリアル番号（本体背面の定格銘板ラベルに記載されている、アルファベット 3 文字と数字 5 桁の文字列になります）

● MF4580dn/MF4570dn/MF4550d

● MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410

- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

警告

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合

すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

重要

ご自分で分解修理した場合

保証の対象外になることがあります。

Chapter 10

各種機能を登録／設定する

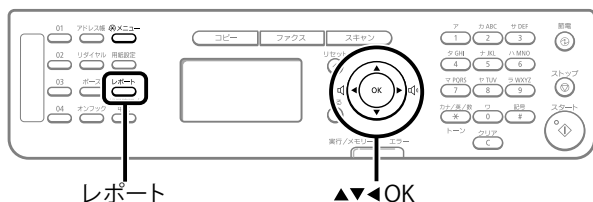
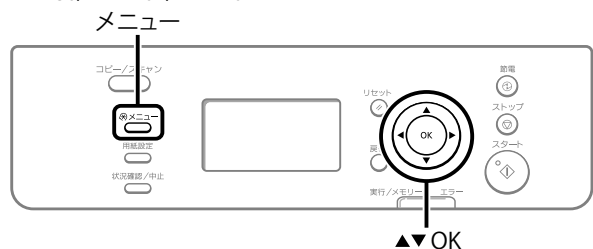
使いかたにあわせて設定メニューから本製品の機能を設定／変更することができます。

設定メニュー一覧

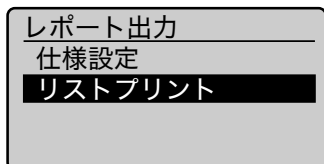
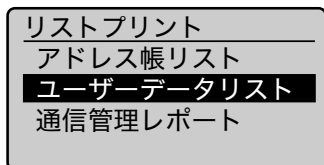
ユーザーデータリストをプリントする

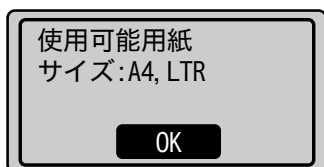
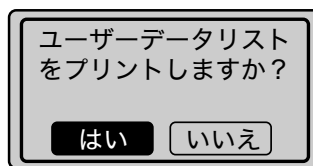
設定内容をプリントして確認するには、ユーザーデータリストをプリントします。

この操作で使用するキー

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 の場合

1 ［　］（レポート）を押します。

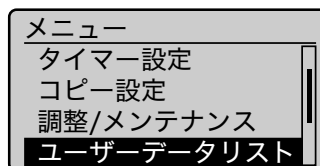
2 ［▲］［▼］で＜リストプリント＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜ユーザーデータリスト＞を選択して、［OK］を押します。

4 用紙がセットされていることを確認して、［OK］を押します。

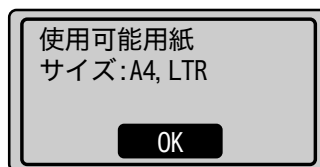
画面に表示されている用紙をセットしてください。

5 ［◀］で＜はい＞を選択して、［OK］を押します。

プリントが開始されます。

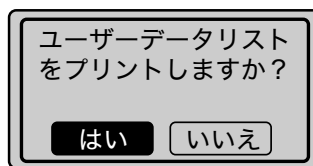
6 ［　］（レポート）を押して、＜リストプリント＞画面を閉じます。

MF4430/MF4420n/MF4410 の場合

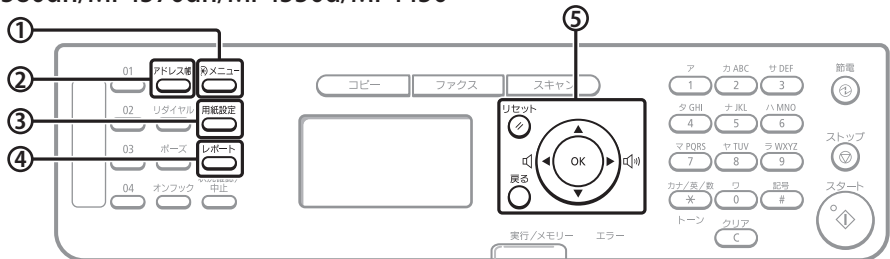
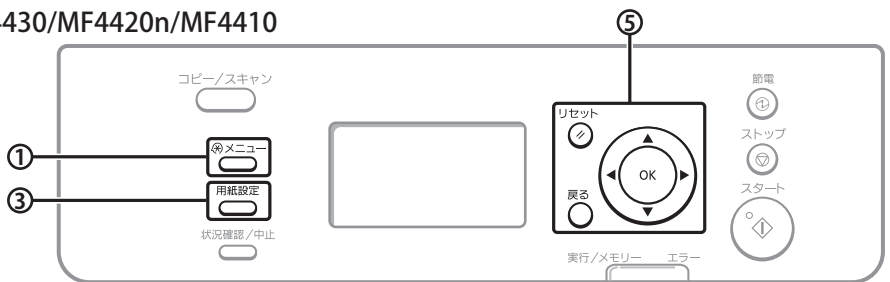
1 ［　］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜ユーザーデータリスト＞を選択して、［OK］を押します。

3 用紙がセットされていることを確認して、［OK］を押します。

画面に表示されている用紙をセットしてください。

4 ［◀］で＜はい＞を選択して、［OK］を押します。

プリントが開始されます。

5 ［　］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

設定メニューの設定内容（メニュールートマップ）

MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450

MF4430/MF4420n/MF4410

① [メニュー] キー
本機の仕様を設定します。
調整やクリーニングも行えます。

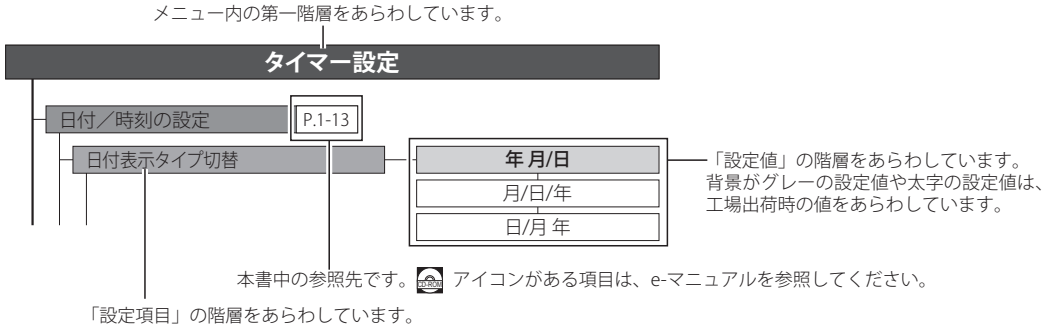
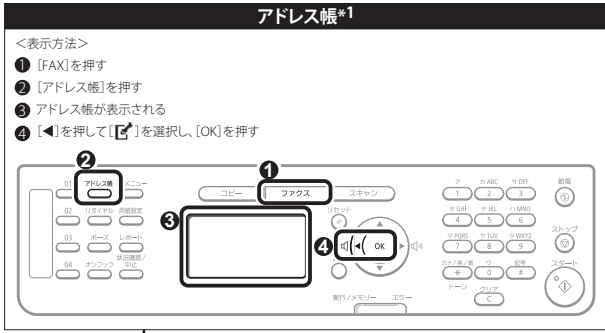
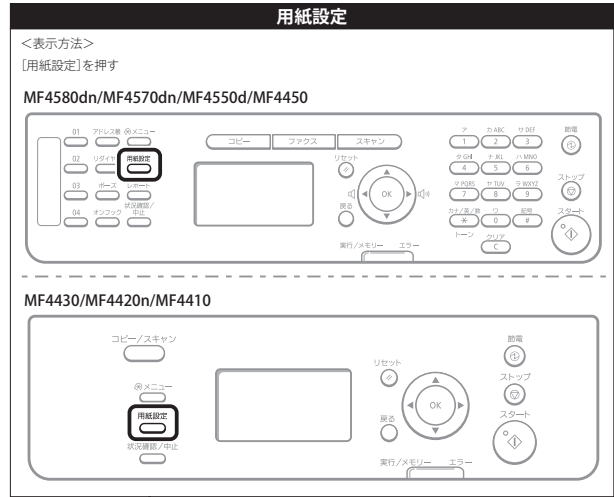
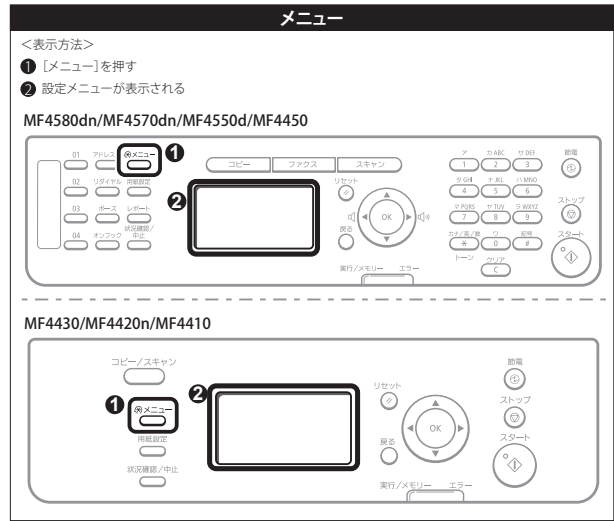
② [アドレス帳] キー
（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450のみ）
以下の宛先を登録します。
・ワンタッチダイヤル
・短縮ダイヤル
・グループダイヤル

③ [用紙設定] キー
使用する用紙のサイズと種類を登録します。
ユーザー設定サイズの登録もできます。

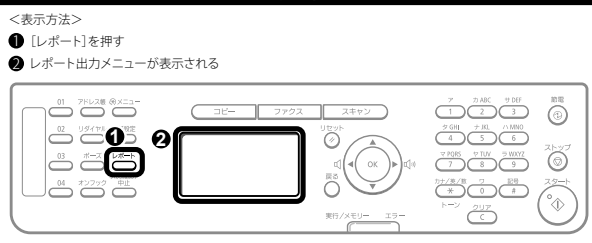
④ [レポート] キー
（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450のみ）
各種レポートの出力条件の設定や、レポートの出力を行います。

⑤ メニューの操作方法

キー	操作
◀	前の階層に戻ります。
▶	次の階層に進みます。
▲	上の項目／設定値を選択します。
▼	下の項目／設定値を選択します。
OK	次の階層に進みます。または設定値の決定、操作の実行をします。 ※画面に<確定>が表示されている場合は、設定後に<確定>を選択して［OK］を押す必要があります。
戻る	前の階層に戻ります。
リセット	設定をキャンセルして、初期画面に戻ります。

● ルートマップの見かた

・「*1」印の設定項目や設定値は、MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450のみ表示されます。
・「*2」印の設定項目や設定値は、MF4580dn/MF4570dn/MF4420nのみ表示されます。
・「*3」印の設定項目や設定値は、MF4580dn/MF4570dn/MF4550dのみ表示されます。
・「*4」印の設定項目や設定値は、MF4430/MF4420n/MF4410のみ表示されます。

アドレス帳*1
<表示方法>
❶［FAX］を押す
❷［アドレス帳］を押す
❸ アドレス帳が表示される
❹［◀］を押して［ ］を選択し、［OK］を押す
短縮ダイヤル*1
P.5-6
ファクス
名称
16文字以内
宛先
120桁以内
詳細設定
ECM送信
OFF
ON
送信スピード
33600 bps
14400 bps
9600 bps
7200 bps
4800 bps
2400 bps
国際送信
国内送信
国際送信(1)
国際送信(2)
国際送信(3)
短縮ダイヤル：登録番号
グループ
名称
16文字以内
宛先
短縮ダイヤル／ワンタッチダイヤルから選択
ワンタッチダイヤル*1
P.5-3
ファクス
登録番号を選択／入力
名称
16文字以内
宛先
120桁以内
詳細設定
ECM送信
OFF
ON
送信スピード
33600 bps
14400 bps
9600 bps
7200 bps
4800 bps
2400 bps
国際送信
国内送信
国際送信(1)
国際送信(2)
国際送信(3)
ワンタッチダイヤル：登録番号
グループ
登録番号を選択／入力
名称
16文字以内
宛先
短縮ダイヤル／ワンタッチダイヤルから選択
ワンタッチダイヤル：登録番号
用紙設定
<表示方法>
［用紙設定］を押す
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450
MF4430/MF4420n/MF4410
「用紙のサイズと種類を設定する」（P. 2-16）
メニュー
<表示方法>
❶［メニュー］を押す
❷ 設定メニューが表示される
MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450
MF4430/MF4420n/MF4410
環境設定
音量調整*1
通信音
OFF
ON
- 通信音量：1～5
送信終了音
OFF
ON
- 送信終了音量：1～5
エラー時のみ鳴らす
- 送信終了音量：1～5
受信終了音
OFF
ON
- 受信終了音量：1～5
エラー時のみ鳴らす
- 受信終了音量：1～5
読取終了音
OFF
ON
- 読取終了音量：1～5
エラー時のみ鳴らす
- 読取終了音量：1～5
入力音
OFF
ON
- 入力音量：1～5
入力無効音
OFF
ON
- 入力無効音量：1～5
警告音
OFF
ON
- 警告音量：1～5
ジョブ終了音
OFF
ON
- ジョブ終了音量：1～5
次のページに続く

各種機能を登録／設定する

各種機能を登録／設定する

前ページより
SNMP設定*1
OFF
ON
コミュニティー名1
Public
コミュニティー名2
SNMP書き込み可能1
OFF
ON
SNMP書き込み可能2
OFF
ON
専用コミュニティ設定
OFF
Read-Write (RW)
Read-Only (RO)
ホストからプリンター管理情報を取得
OFF
ON
専用ポート設定
OFF
ON
起動時間の設定
0～300（秒）
Ethernetドライバー設定
自動検出
OFF
- 通信方式：半二重、全二重
- Ethernetの種類：10 Base-T、100 Base-TX
ON
MACアドレス
通信管理設定*1
ファクス設定
送信スタートスピード P.6-24
受信スタートスピード P.6-24
33600 bps
14400 bps
9600 bps
7200 bps
4800 bps
2400 bps
メモリー受信設定 P.6-24
OFF
ON
メモリー受信設定暗証番号
レポートプリント
OFF
ON
メモリー受信時刻設定
指定しない
指定する
- メモリー受信開始時刻
- メモリー受信終了時刻
リモートUIのON/OFF*2
OFF
ON
送信機能の制限*1
アドレス帳の暗証番号 P.6-25
新規宛先の制限 P.6-25
OFF
ON
ファクスドライバーからの送信を許可 P.6-25
OFF
ON
履歴からの送信を制限 P.6-25
OFF
ON
ファクス番号入力時の確認入力 P.6-25
OFF
ON
同報送信の制限 P.6-25
OFF
同報送信の確認
同報送信不可
ジョブ履歴表示のON/OFF*1
OFF
ON
USBデバイスのON/OFF
OFF
ON
ファームウェア更新
アドレス帳の初期化*1
右上に続く
左下より
システム管理設定の初期化
システム管理者情報の設定
デバイス情報の設定*1
ネットワーク設定*2
通信管理設定*1
リモートUIのON/OFF*2
送信機能の制限*1
ジョブ履歴表示のON/OFF*1
USBデバイスのON/OFF
上記すべて
メニューの初期化
環境設定
タイマー設定
コピー設定
ファクス送信設定*1
ファクス受信設定*1
特殊処理
上記すべて
レポート*1
<表示方法>
❶［レポート］を押す
❷ レポート出力メニューが表示される
仕様設定*1
送信結果レポート
OFF
ON
エラー時のみ
送信原稿の表示
OFF
ON
通信管理レポート
40通信で自動プリント
OFF
ON
送信/受信分離
OFF
ON
受信結果レポート
OFF
ON
エラー時のみ
リストプリント*1
アドレス帳リスト
短縮ダイヤル
ワンタッチ
グループ
ユーザーデータリスト
通信管理レポート

Chapter 11

付録

本製品のおもな仕様などについて記載しています。

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノン Satera ホームページ
■ http://canon.jp/satera/

おもな仕様

本体仕様

本体仕様	
形式	パーソナルデスクトップ
電源	100 V 50/60 Hz
消費電力	最大：890 W 以下 待機時：平均 約 10 W 以下 スリープモード時：平均 約 3 W 以下
ウォームアップタイム	• MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4420n 12 秒以下 * • MF4430/MF4410 10 秒以下 * （温度：20° C、湿度：65%。本製品の電源スイッチを入れてから基本画面が表示されるまで） * ウォームアップ時間は、本製品の使用状況や環境によって異なることがあります。
質量	• MF4580dn 本体（トナーカートリッジを含む）：約 13.4 kg • MF4570dn 本体（トナーカートリッジを含む）：約 12.3 kg • MF4550d 本体（トナーカートリッジを含む）：約 11.8 kg • MF4450 本体（トナーカートリッジを含む）：約 11.7 kg • MF4430 本体（トナーカートリッジを含む）：約 11.5 kg • MF4420n 本体（トナーカートリッジを含む）：約 10.4 kg • MF4410 本体（トナーカートリッジを含む）：約 10.3 kg
大きさ（幅×奥行×高さ）	• MF4580dn 390 mm × 429 mm × 361 mm （給紙カセットを閉じた状態） 390 mm × 448 mm × 361 mm （給紙カセットを開いた状態） • MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 390 mm × 421 mm × 370 mm （給紙カセット、原稿給紙トレイを閉じた状態） 390 mm × 441 mm × 455 mm （給紙カセット、原稿給紙トレイを開いた状態） • MF4420n/MF4410 390 mm × 414 mm × 301 mm （給紙カセットを閉じた状態） 390 mm × 441 mm × 301 mm （給紙カセットを開いた状態）
設置スペース（幅×奥行）	• MF4580dn 631 mm × 804 mm × 763 mm • MF4570dn/MF4550d 617 mm × 804 mm × 735 mm • MF4450/MF4430 617 mm × 784 mm × 735 mm • MF4420n/MF4410 590 mm × 781 mm × 696 mm
使用環境	温度：10° C ～ 30° C
	湿度：20% ～ 80%（相対湿度・結露しないこと）
使用可能な原稿	「使用できる原稿について」（→ P.2-2）
使用可能な用紙	「使用できる用紙について」（→ P.2-6）
プリント範囲	「プリント範囲」（→ P.2-8）
読み取り範囲	「読み取り範囲」（→ P.2-2）

コピーの仕様

コピーの仕様	
読み取り解像度	• 文字 / 写真（高速コピー）：300 dpi × 300 dpi • 文字 / 写真、写真、文字：600 dpi × 600 dpi
出力解像度	600 dpi × 600 dpi
コピー倍率	• 等倍 1:1 ± 1.0 % • 拡大 1:4.00、1:2.00、1:1.41、1:1.22、1:1.15 • 縮小 1:0.86、1:0.81、1:0.70、1:0.50、1:0.25 • ズーム 25 % ～ 400 %（1 %刻み）
コピー速度 (A4 普通紙等倍)*	• MF4580dn/MF4570dn/MF4550d 25 枚／分 • MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410 23 枚／分
連続コピー枚数	最大 99 部
ファーストコピータイム（A4）	• 原稿台ガラス 9.0 秒以下 • フィーダー - MF4580dn 14 秒以下 - MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430 12 秒以下

* A4、普通紙、同一データを連続コピーした場合の速度です。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向の設定により、コピー速度が低下します。また連続コピー時に、本体の温度調整や画質調整のため動作が休止または遅くなる場合があります。

付録

プリンターの仕様

プリンターの仕様	
印刷方式	• 間接静電気方式（オンデマンド定着）
用紙積載可能枚数	手差しトレイ：1 枚 給紙カセット：約 250 枚（60 ～ 80 g/m^2）
排紙トレイ積載枚数（A4、開封直後の用紙）	約 100 枚（60 ～ 80 g/m^2）＊1
プリント速度(A4 普通紙等倍)＊2	• MF4580dn 25 枚／分 • MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410 23 枚／分
出力解像度	600 dpi × 600 dpi
階調	256 階調
トナーカートリッジ	「トナーカートリッジの交換」（→ P.8-6）

*1 設置環境や使用する用紙の種類によっては、実際の積載枚数は異なります。
*2 A4、普通紙、同一データを連続プリントした場合の速度です。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向の設定により、プリント速度が低下します。また連続プリント時に、本体の温度調整や画質調整のため動作が休止または遅くなる場合があります。

スキャナーの仕様

スキャナーの仕様	
形式	カラースキャナー
最大読み取り原稿サイズ	原稿台ガラス：215.9 mm × 297 mm フィーダー：215.9 mm × 355.6 mm
読み取り解像度	• 光学解像度 原稿台ガラス：600 × 600 dpi フィーダー：300 × 300 dpi • ソフトウェア補間解像度 9600 × 9600 dpi
原稿読み取り速度（A4、300 × 300 dpi）＊	• MF4580dn カラー：14 秒 / 枚 グレースケール：3 秒 / 枚 • MF4570dn/MF4550d/MF4450/MF4430/MF4420n/MF4410 カラー：16 秒 / 枚 グレースケール：3 秒 / 枚
ホストインターフェイス	• 100Base-TX（Windows のみ） • 10Base-T（Windows のみ） • Hi-Speed USB • USB
対応 OS	• Windows 2000/XP/Vista/7 • Mac OS 10.4.9 以降（Classic 環境を除く）
ドライバー	• TWAIN • WIA 1.0（Windows XP） • WIA 2.0（Windows Vista/7） • ICA（Mac OS X 10.6.x）

＊ 通信時間含まず。

ファクスの仕様（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

ファクスの仕様	
適用回線	公衆交換電話網（PSTN）＊1
通信方式	G3、スーパー G3
データ圧縮方式	MH、MR、MMR
モデム速度	33.6 Kbps 自動フォールバック
伝送速度	ページ当り約 3 秒＊2 （ECM-MMR、33.6 Kbps でメモリーから送信）
送信／受信メモリー	最大約 256 ページ＊2 （送受信の総ページ数）
ファクス解像度	•（ノーマル）：200 x 100 dpi •（ファイン）：200 x 200 dpi •（フォト）：200 x 200 dpi •（スーパーファイン）：200 x 400 dpi
ダイヤル方式	• ワンタッチダイヤル（4 件） • 短縮ダイヤル（100 件） • グループダイヤル（50 件） • アドレス帳ダイヤル • 通常ダイヤル（テンキー入力） • 自動リダイヤル • 手動リダイヤル • 同報送信（114 件）
受信方式	• 自動受信 • 電話機によるリモート受信 （初期設定 ID: 25）
レポート出力	• 送信結果レポート • 通信管理レポート（40 件ごとに自動出力） • 受信結果レポート
ナンバー・ディスプレイ	非対応

*1 公衆交換電話網は、現在 28.8 Kbps までのモデム速度に対応しています。ただし、電話回線の状態により異なります。
*2 ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）標準チャート No.1、MMR 標準モードによる。

電話の仕様（MF4580dn/MF4570dn/MF4550d/MF4450 のみ）

電話の仕様	
接続可能な電話	• ハンドセット（オプション） • 外付け電話機／留守番録音機／データモデム
ナンバー・ディスプレイ	• 非対応

Macintosh をお使いのお客様へ

本マニュアルでは、Windows を例に説明しています。Macintosh 用のプリンタードライバーやユーティリティーの使いかたについては、以下のドライバーガイド（PDF ファイル）やドライバーヘルプを参照してください。

機能	目的	参照先
プリント機能	プリンタードライバーのインストール	• スタートアップガイド • プリンタードライバーガイド
	プリント方法	• プリンタードライバーガイド
	各機能の使用方法	• プリンタードライバーのヘルプ
ファクス機能	ファクスドライバーのインストール	• スタートアップガイド • ファクスドライバーガイド
	ファクスの送信方法	• ファクスドライバーガイド
	各機能の使用方法	• ファクスドライバーのヘルプ
スキャン機能	スキャナードライバーのインストール	• スタートアップガイド • スキャナードライバーガイド
	スキャン方法（MF Toolbox や ScanGear MF の設定方法）	• スキャナードライバーガイド

ドライバーガイド（PDF ファイル）の表示方法

付属の CD-ROM 内の［Manuals］フォルダーに収められている以下の PDF ファイルをダブルクリックして表示します。

● **プリンタードライバーガイド**
→［GUIDE-CARPS2-JP.pdf］

● **ファクスドライバーガイド**
→［GUIDE-FAX-JP.pdf］

● **スキャナードライバーガイド**
→［GUIDE-SCAN-JP.pdf］

ドライバーヘルプの表示方法

ドライバーヘルプは、各ドライバーをインストールしたあとに使用できます。

● **プリンタードライバーヘルプ**

［プリント］ダイアログの以下のパネルにある［?］をクリックすると表示されます。

- ［基本機能］パネル
- ［拡張機能］パネル

● **ファクスドライバーヘルプ**

［プリント］ダイアログの以下のパネルにある［?］をクリックすると表示されます。

- ［基本設定］パネル
- ［特別処理］パネル
- ［カバーシート］パネル

Macintosh には対応していない e- マニュアルの記載について

e- マニュアルに記載されている説明のうち、次の記載は Macintosh には対応しておりません。

● **e- マニュアルのインストールやアンインストール**

e- マニュアル内の参照先	「e- マニュアルのインストール」 「e- マニュアルのアンインストール」

● **付属ソフトウェア**

- 読取革命 Lite
- ファイル管理革命 Lite
- FontGallery
- FontComposer

e- マニュアル内の参照先	「User Software CD-ROM について」

● **WSD ネットワークの使用**

e- マニュアル内の参照先	「WSD ネットワークで MF ドライバーをインストールする」

● **プリント機能の一部**

＜代表例＞

- プリントサーバー環境での使用
- スタンプ印刷（透かし文字印刷）
- PageComposer（複数ページをまとめて印刷）
- 中間調の変更
- ガンマ補正

Macintosh で対応している機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

e- マニュアル内の参照先	「プリントする」

● **スキャン機能の一部**

＜代表例＞

- ネットワーク接続でのスキャン
- サーチャブル PDF の作成

Macintosh で対応している機能については、スキャナードライバーガイドを参照してください。

e- マニュアル内の参照先	「スキャンする」

索引

英数字

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

付録

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

付録

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

め

も

付録

付録

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全 国 共 通 番 号）

050-555-90024

［受付時間］　〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝祭日〉10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-3368 (010)　XXXXXXXXXX　　PRINTED IN KOREA